FUJITSU

FUJITSU Server
PRIMEQUEST 1000 シリーズ
設置マニュアル



C122-H004-08

はじめに

本書は、PRIMEQUEST 1000 シリーズを設置するための仕様や設置場所の要件について説明しています。
本書は、システム管理者を対象に書かれています。
なお、各種基準、規格への適合状況や安全上のご注意などは、『PRIMEQUEST 1000 シリーズ 安全にご使用いただくために』 (C122-E115) を参照してください。

マニュアルに関する訂正および追記事項

マニュアルに関する訂正および追記事項は『PRIMEQUEST 1000 シリーズ 訂正・追記事項』 (C122-E119) に記載しています。マニュアルを参照するさいは、あわせて『PRIMEQUEST 1000 シリーズ 訂正・追記事項』 (C122-E119) をよく読んでください。

安全な使用のために

このマニュアルの取扱いについて

このマニュアルには本製品を安全に使用していただくための重要な情報が記載されています。本製品を使用する前に、このマニュアルを熟読し理解したうえで当製品を使用してください。また、このマニュアルは大切に保管してください。
富士通は、使用者および周囲の方の身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。本製品を使用するさいは、マニュアルの説明に従ってください。

本製品について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではございません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

添付品の保管について

添付品はサーバの運用上必要になりますので、大切に保管してください。

本書の構成と表記

ここでは、以下の項目について説明しています。

- 本書の構成と内容
- PRIMEQUEST 1000 シリーズのマニュアル体系
- 関連するマニュアル
- 略称
- 表記上の規則
- CLI（コマンドラインインターフェース）の表記
- 表記に関する注意事項
- 警告表示
- 製品の使用環境

- 商標一覧

本書の構成と内容

本書の構成は以下のとおりです。

第 1 章 設置資料
本章では、装置構成、装置概観図、設置諸元、レイアウトのための各種図面など、PRIMEQUEST 1000 シリーズを設置するときに使用する各種資料を掲載しています。

第 2 章 接続資料
ケーブルの接続概要と、 PRIMEQUEST 1000 シリーズ で使用するケーブルについて説明しています。

第 3 章 搬入・設置時の留意事項
PRIMEQUEST 1000 シリーズの搬入時および設置時の留意事項について説明しています。

付録 A ラック
PRIMEQUEST 1000 シリーズおよび PCI ボックスを搭載するラックに関する各種資料を掲載しています。

付録 B UPC インターフェース
PRIMEQUEST 1000 シリーズで使用可能な UPC インターフェースについて説明します。

索引
読者が本書から必要事項を探し出せるように、キーワードと参照ページとの対応を示しています。

PRIMEQUEST 1000 シリーズのマニュアル体系

PRIMEQUEST 1000 シリーズをご利用いただくためのマニュアルとして、以下のマニュアルが用意されています。
マニュアルは以下のサイトから閲覧できます。
日本語版マニュアル：http://jp.fujitsu.com/platform/server/primequest/manual/
英語版マニュアル　：http://jp.fujitsu.com/platform/server/primequest/manual-e/

タイトル	説明	マニュアルコード
PRIMEQUEST 1000 シリーズ はじめにお読みください	PRIMEQUEST 1000 シリーズの開梱後、参照すべきマニュアルおよび重要な情報へのアクセス方法について説明しています。(製品添付マニュアル)	C122-E114
PRIMEQUEST 1000 シリーズ 安全にご使用いただくために	PRIMEQUEST 1000 シリーズを安全にご使用いただくための重要な情報について説明しています。	C122-E115
PRIMEQUEST 1000 シリーズ 訂正・追記事項	PRIMEQUEST 1000 シリーズマニュアルに対する訂正・追記事項を説明しています。随時、更新されます。	C122-E119
PRIMEQUEST 1000 シリーズ 製品概説	PRIMEQUEST 1000 シリーズの機能や特長について説明しています。	C122-B022

タイトル	説明	マニュアルコード
SPARC Enterprise/ PRIMEQUEST 共通 設置計画マニュアル	SPARC Enterprise および PRIMEQUEST を設置するための、設置計画および設備計画に必要な事項や考え方を説明しています。	C120-H007
PRIMEQUEST 1000 シリーズ 設置マニュアル	PRIMEQUEST 1000 シリーズを設置するための仕様や設置場所の要件について説明しています。	C122-H004
PRIMEQUEST 1000 シリーズ 導入マニュアル	導入のための準備や初期設定、ソフトウェアのインストールなど、PRIMEQUEST 1000 シリーズのセットアップについて説明しています。	C122-E107
PRIMEQUEST 1000 シリーズ ユーザーインターフェース操作説明書	PRIMEQUEST 1000 シリーズを適切に運用するための Web-UI および UEFI の操作方法について説明しています。	C122-E109
PRIMEQUEST 1000 シリーズ 運用管理マニュアル	システムを運用・管理するさいに必要なツール・ソフトウェアの利用方法、および保守 (コンポーネントの交換、異常通知) の方法について説明しています。	C122-E108
PRIMEQUEST 1000 シリーズ 運用管理ツールリファレンス	MMB、PSA、UEFI の機能の詳細など、運用のさいに必要な操作や設定方法について説明しています。	C122-E110
PRIMEQUEST 1000 シリーズ メッセージリファレンス	運用中にトラブルが発生したときのメッセージとその対処方法について説明しています。	C122-E111
PRIMEQUEST 1000 シリーズ REMCS サービス導入マニュアル	REMCS サービスの導入と操作について説明しています。	C122-E120
PRIMEQUEST 1000 シリーズ 用語集・略語集	PRIMEQUEST 1000 シリーズに関する用語および略語について説明しています。	C122-E116
PRIMEQUEST 1000 シリーズ SAN ブート環境構築マニュアル	『PRIMEQUEST 1000 シリーズ導入マニュアル』(C122-E107) の「付録 D SAN ブート環境の構築」の改版です。SAN ブート環境の導入の手順および設計上の留意事項の最新情報を掲載しています。	C122-E155

関連するマニュアル

PRIMEQUEST 1000 シリーズに関連するマニュアルとして、以下のマニュアルが用意されています。
関連するマニュアルは以下のサイトから閲覧できます。
http://jp.fujitsu.com/platform/server/primequest/
最新の ServerView Suite マニュアルは以下のサイトから閲覧できます。
http://jp.fujitsu.com/platform/server/primequest/catalog/manual/svs/

タイトル	説明	マニュアルコード
Linux ユーザーズマニュアル Red Hat Enterprise Linux 5 編	Red Hat 社から公開されている RHEL5 向けマニュアルを補足するマニュアルです。RHEL5 システムの設計、導入、運用、保守に関する技術情報および参考となる考え方を提供します。	J2UL-1207
Linux ユーザーズマニュアル Red Hat Enterprise Linux 5 編 (SupportDesk サービスご契約者様向け)	『Linux ユーザーズマニュアル Red Hat Enterprise Linux 5 編』に SupportDesk サービスで提供されるツールの導入、運用情報を加えたマニュアルです。SupportDesk サービスを契約されたお客様に提供されます。	J2UL-1206
Linux ユーザーズマニュアル Red Hat Enterprise Linux 6 編	Red Hat 社から公開されている RHEL6 向けマニュアルを補足するマニュアルです。RHEL6 システムの設計、導入、運用、保守に関する技術情報および参考となる考え方を提供します。	J2UL-1337
Linux ユーザーズマニュアル Red Hat Enterprise Linux 6 編 (SupportDesk サービスご契約者様向け)	『Linux ユーザーズマニュアル Red Hat Enterprise Linux 6 編』に SupportDesk サービスで提供されるツールの導入、運用情報を加えたマニュアルです。SupportDesk サービスを契約されたお客様に提供されます。	J2UL-1336
ServerView Suite ServerView Operations Manager Quick Installation (Windows)	Windows 環境での ServerView Operations Manager のインストールと起動方法について説明しています。	なし
ServerView Suite ServerView Operations Manager Quick Installation (Linux)	Linux 環境での ServerView Operations Manager のインストールと起動方法について説明しています。	なし
ServerView Suite ServerView Installation Manager	ServerView Installation Manager を使ったインストールについて説明しています。	なし
ServerView Suite ServerView Operations Manager Server Management	ServerView Operations Manager によるサーバ監視の概要と、ServerView Operations Manager のユーザーインターフェースについて説明しています。	なし
ServerView Suite ServerView RAID Management User Manual	ServerView RAID Manager による RAID 管理について説明しています。	なし
ServerView Suite Basic Concepts	ServerView Suite の基本的な概念について説明しています。	なし

タイトル	説明	マニュアルコード
ServerView Operations Manager Installation ServerView Agents for Linux	ServerView Linux エージェントのインストール、および ServerView Linux エージェントのアップデートインストールについて記載しています。	なし
ServerView Operations Manager Installation ServerView Agents for Windows	ServerView Windows エージェントのインストール、および ServerView Windows エージェントのアップデートインストールについて記載しています。	なし
ServerView Mission Critical Option ユーザマニュアル	PRIMEQUEST 固有に必要な機能（MMB 経由の通報、活性交換コマンド）とそれらの機能をサポートするに当たって、必要な ServerView Mission Critical Option（SVmco）について説明しています。	なし
ServerView RAID Manager VMware vSphere ESXi 5 インストールガイド	VMware vSphere ESXi 5 サーバで、ServerView RAID Manager を使用するためのインストールと設定について説明しています。	なし
MegaRAID SAS ユーザーズガイド	アレイコントローラー （RAID Ctrl SAS 6G 5/6 512MB (D2616) 、RAID Ctrl SAS 6G 0/1 (D2607) 、MegaRAID SAS 9280-8e） を使用するための技術情報を提供します。 PRIMERGY サイト (http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/manual.html)	B7FY-2751

略称

本書では、製品名を以下のように表記しています。

正式名	略 称
Red Hat(R) Enterprise Linux(R) 5 (for Intel64)	Linux RHEL5, RHEL
Red Hat(R) Enterprise Linux(R) 5 (for x86)	
Red Hat(R) Enterprise Linux(R) 6 (for Intel64)	Linux RHEL6, RHEL
Red Hat(R) Enterprise Linux(R) 6 (for x86)	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Standard Edition	Windows Windows Server 2003
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise Edition	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Datacenter Edition	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Standard x64 Edition	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise x64 Edition	

正式名	略 称
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Datacenter x64 Edition	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Standard Edition	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Enterprise Edition	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Datacenter Edition	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Standard x64 Edition	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Enterprise x64 Edition	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Datacenter x64 Edition	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard	Windows Windows Server 2008
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Datacenter	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Standard	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Enterprise	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Datacenter	
VMware vSphere(R) 4	vSphere 4, VMware 4
VMware vSphere(R) 5	vSphere 5, VMware 5
VMware(R) ESX(R) 4	ESX, ESX 4.x
VMware(R) ESXi(TM) 5	ESXi, ESXi 5.x

表記上の規則

本書では、以下のような字体や記号を特別な意味をもつものとして使用しています。

字体または記号	意 味	記述例
『 』	参照するマニュアルの書名を示します。	『PRIMEQUEST 1000 シリーズ 導入マニュアル』(C122-E107) を参照してください。
「 」	参照する章、節、項を示します。	「1.4.1 [User List] 画面」を参照してください。
[ ]	画面名、画面のボタン名、タブ名、ドロップダウンメニューを示すときに使います。	[OK]ボタンをクリックしてください。

CLI（コマンドラインインターフェース）の表記

コマンドの記載形式は以下のとおりです。

■入力形式

コマンドの入力形式は以下のように記載しています。

- 値を入力する変数は < >で囲んで記載
- 省略可能な要素は [ ]で囲んで記載
- 省略可能なキーワードの選択肢は、まとめて [ ]で囲み、|で区切り記載
- 定義が必須なキーワードの選択肢は、まとめて { }で囲み、|で区切り記載

なお、コマンドの入力形式は枠内に記載しています。

備考

PDF 形式のマニュアルでは、コマンド出力（例を含む）において、改行を表す記号（行末の¥）以外の箇所でも改行されている箇所があります。

表記に関する注意事項

- 本書では、「マネジメントボード (Management Board)」および「MMB ファームウェア」を、「MMB」と表記しています。
- 本書では、IOB と GSPB (パーティション内の LIOB/LGSPB) を合わせて「IO ユニット」と表記しています。
- 本書に掲載している画面は、実際の装置の画面と一部異なることがあります。
- 本書の画面の IP アドレス、構成情報等は表示例であり、実際の運用では異なります。

警告表示

このマニュアルでは、使用者や周囲の方の身体や財産に損害を与えないために以下の警告表示をしています。

⚠警告	「警告」とは、正しく使用しない場合、死亡する、または重傷を負うことがあり得ること（潜在的な危険状態）を示しています。
⚠注意	「注意」とは、正しく使用しない場合、軽傷、または中程度の傷害を負うことがあり得ることと、当該製品自身またはその他の使用者などの財産に、損害が生じる危険性があることを示しています。
重　要	「重要」とは、効果的な使い方など、使用者にとって価値のある情報であることを示しています。

■本文中の警告表示の仕方

警告レベルの記号の後ろに警告文が続きます。警告文は、通常の記述と区別するため、行端を変えています。さらに、通常の記述行からは、前後 1 行ずつ空けています。

⚠警告

本製品および当社提供のオプション製品について、以下に示す作業は当社技術員が行います。お客様は絶対に作業しないようお願いします。感電・負傷・発火のおそれがあります。

- 各装置の新規設置と移設
- 前面、後面と側面カバーの取外し
- 内蔵オプション装置の取付け／取外し
- 外部インターフェースケーブルの抜差し

・ メンテナンス（修理と定期的な診断と保守）

また、重要な警告表示は「重要警告事項の一覧」としてまとめて記載しています。

製品の使用環境

本製品は電子計算機室での使用を前提とした電子計算機です。なお、使用環境の詳細については、本マニュアルを参照してください。

■お願い

- 本マニュアルに関するご意見、ご要望または内容に不明瞭な部分がございましたら、下記ウェブサイトに具体的な内容を記入のうえ送付してください。
  http://jp.fujitsu.com/platform/server/primequest/
- 本書は、予告なしに変更されることがあります。
- 本書 PDF は、Adobe(R) Reader(R)で「100%表示」「単一ページ」で表示することを前提として作成しています。
- 本書 PDF では、見出しと本文の間に改ページが入ることがありますが、本書 HTML では正しく表示されます。

商標一覧

- Microsoft、Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。
- Red Hat、RPM および Red Hat をベースとしたすべての商標とロゴは、Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。
- Intel、Xeon は、米国インテル社の登録商標および商標です。
- Ethernet は、富士ゼロックス社、および米国その他の国におけるゼロックス社の登録商標です。
- VMware は VMware, Inc.の米国および各国での登録商標または商標です。
- Xen は米国およびその他の国における Citrix Systems, Inc. またはその子会社の登録商標または商標です。
- その他、会社名と製品名はそれぞれ各社の商標、または登録商標です。
- 本資料に掲載されているシステム名、製品名などには、必ずしも商標表示（TM、（R））を付記しておりません。

安全上の注意事項

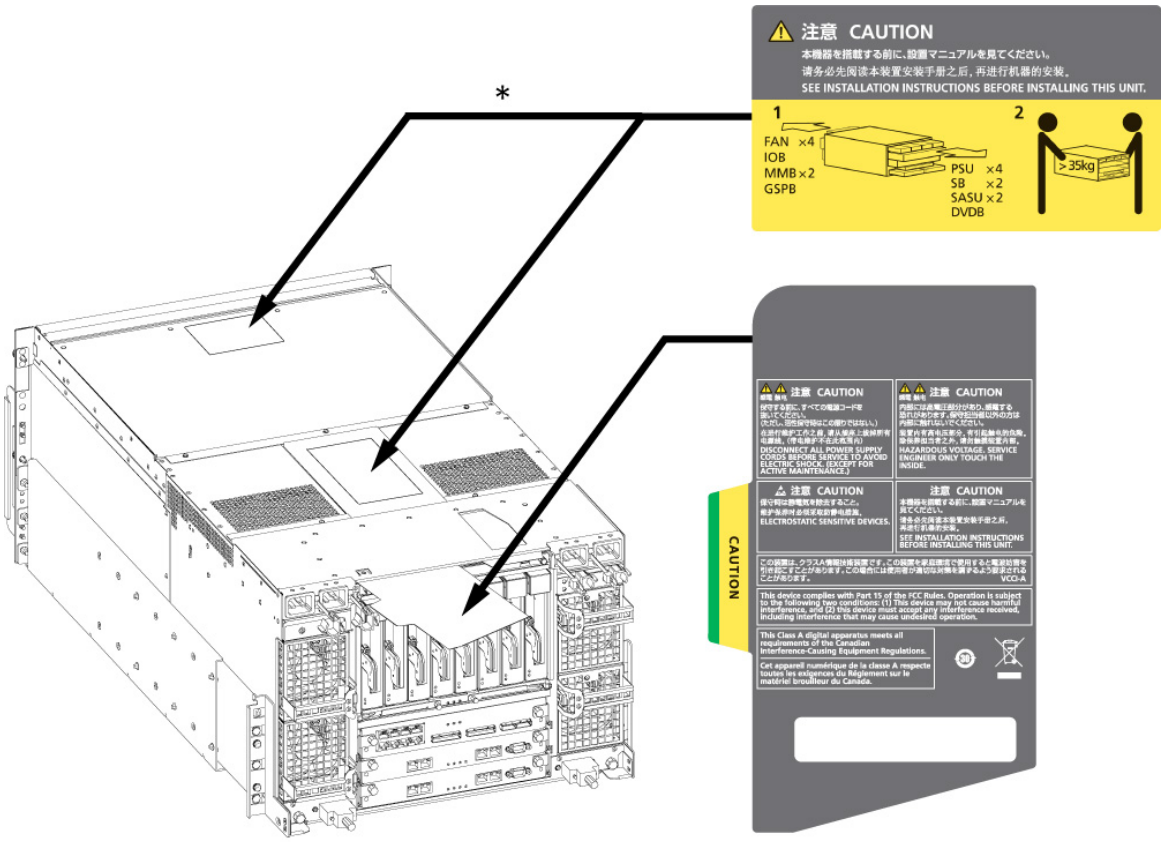
重要警告事項の一覧

本マニュアルには、重要な警告事項は記載されていません。

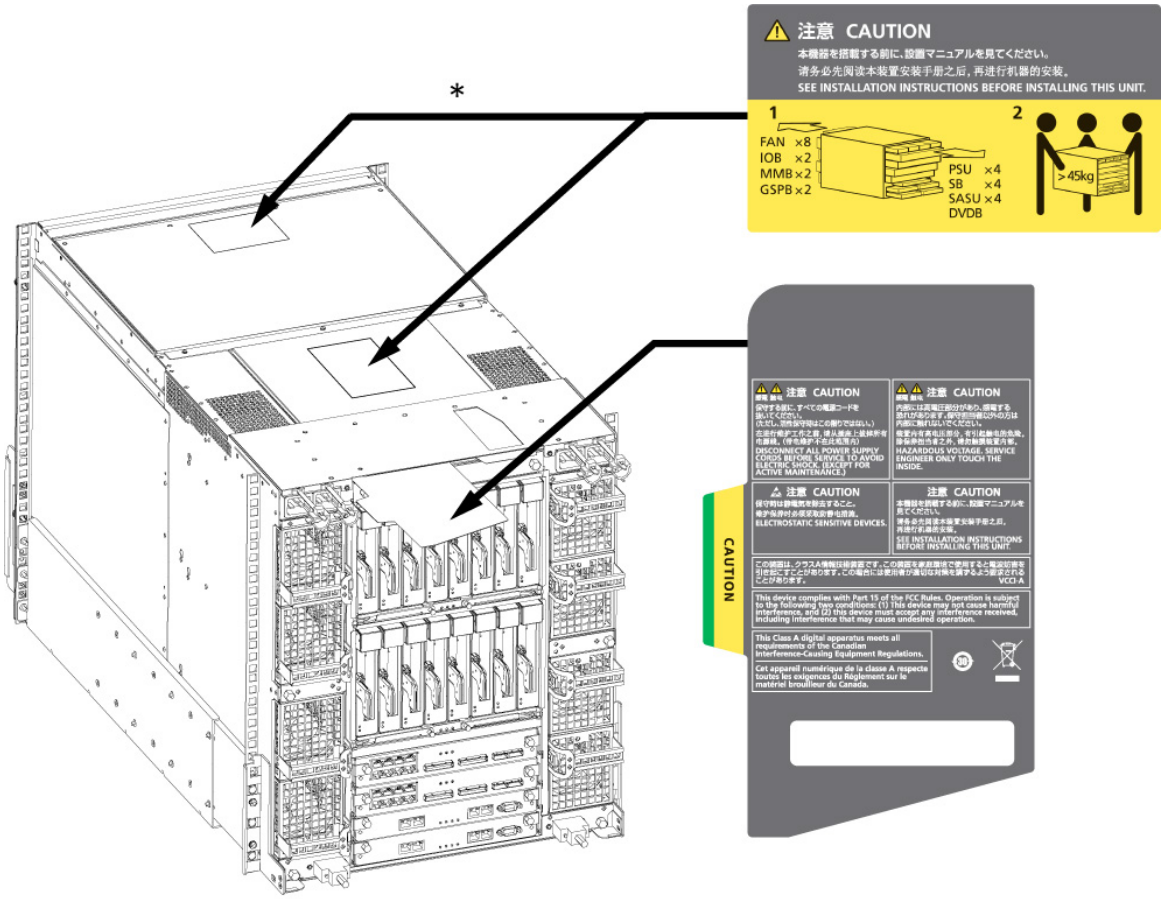
警告ラベル

当製品には以下のようにラベルが貼付してあります。以下のラベルは当製品の使用者を対象としています。

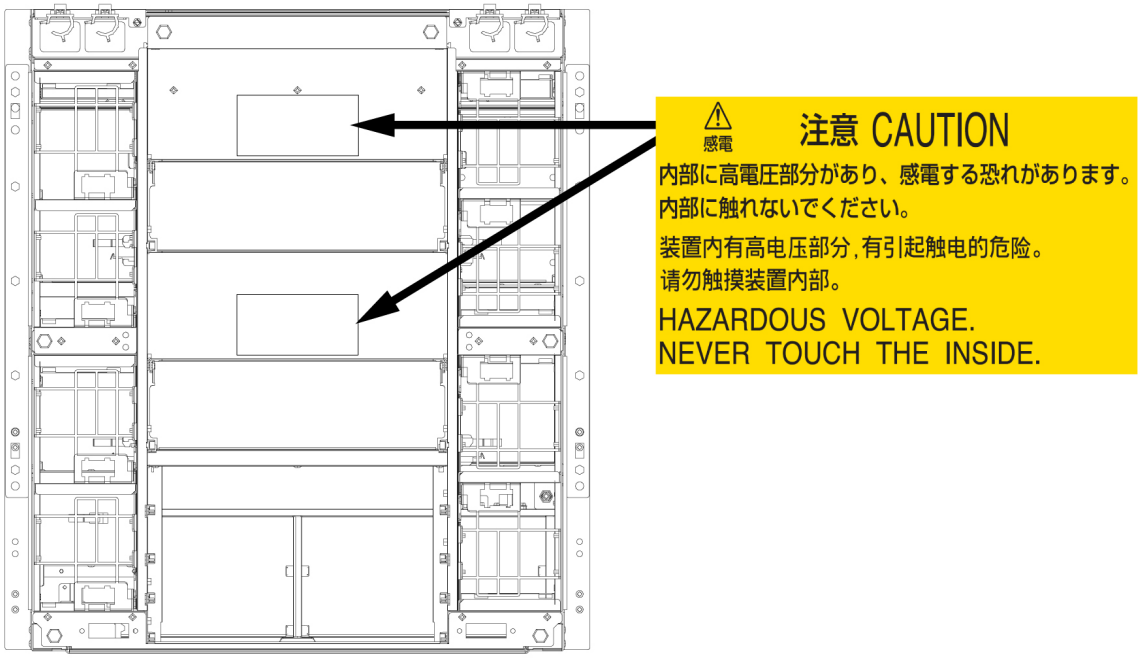
⚠注意 ラベルは絶対にはがさないでください。



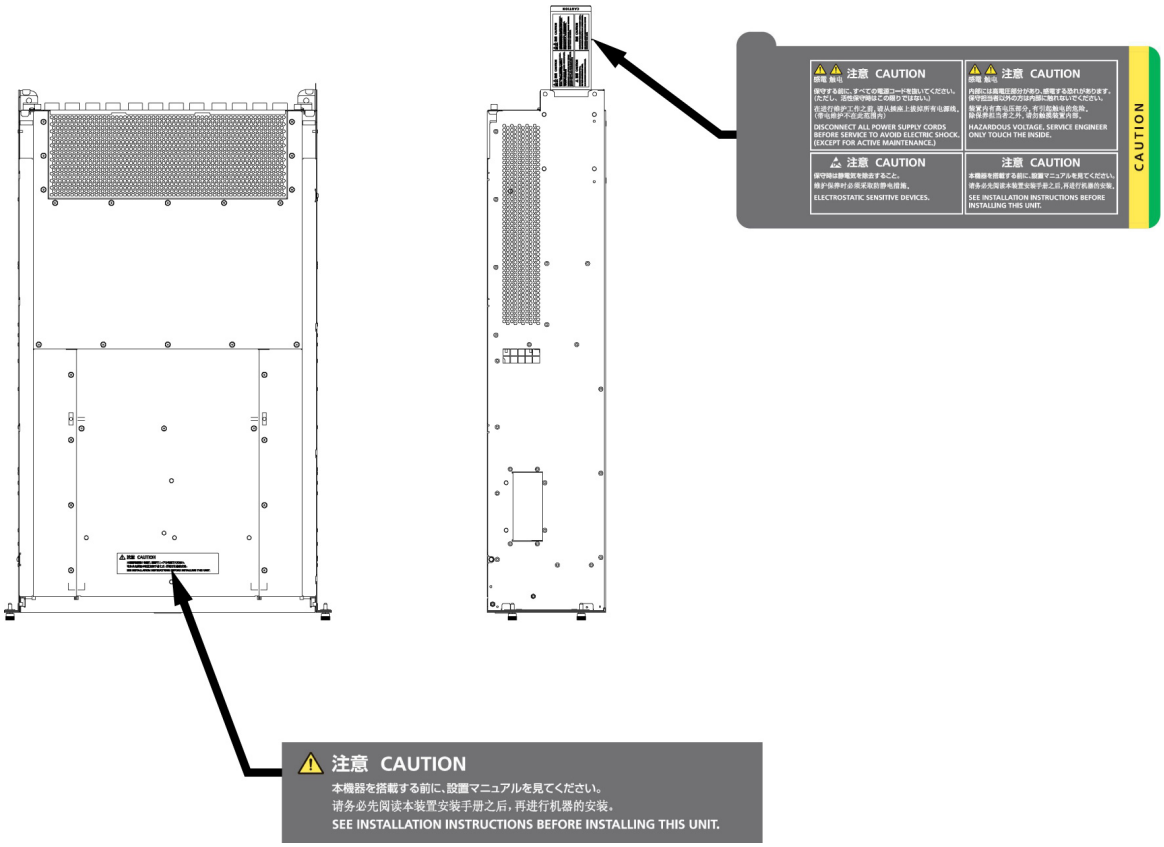
*：いずれか一方に貼付
警告ラベル位置 (PRIMEQUEST 1400S2 / 1400S 背面)



*：いずれか一方に貼付
警告ラベル位置 (PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1800E2/1800L2/1400E/1400L/1800E/1800L 背面)



警告ラベル位置 (PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1800E2/1800L2/1400E/1400L/1800E/1800L 背面 (IOB を抜いた状態))



警告ラベル位置(PCI ボックス)

製品取扱い上の注意事項

オプション製品の増設

PRIMEQUEST 1000 シリーズを安定してご使用いただくために、オプション製品の増設時には 弊社指定のオプション製品をご使用ください。
弊社指定以外のオプション製品をご使用いただく場合、PRIMEQUEST 1000 シリーズの動作保証は一切いたしかねますので、ご注意ください。

メンテナンス

⚠警告 本製品および当社提供のオプション製品について、以下に示す作業は当社技術員が行います。お客様は絶対に作業しないようお願いします。感電・負傷・発火のおそれがあります。

- 各装置の新規設置と移設
- 前面、後面と側面カバーの取外し
- 内蔵オプション装置の取付け／取外し
- 外部インターフェースケーブルの抜差し
- メンテナンス（修理と定期的な診断と保守）



本製品および当社提供のオプション製品について、以下に示す作業は当社技術員が行います。お客様は絶対に作業しないようにお願いします。故障の原因となるおそれがあります。

- お客様のお手元に届いたオプションアダプターなどの開梱

本製品の改造／再生



本製品に改造を加えたり、本製品の中古品を富士通に無断でオーバーホールなどによって再生したりして使用する場合、使用者や周囲の方の身体や財産に予期しない損害が生じるおそれがあります。

ご不要になったときの廃棄・リサイクル

- 法人、企業のお客様へ
  当社では、法人のお客様から排出される富士通製 ICT 製品を回収・リサイクル (有償) し、資源の有効利用に積極的に取り組んでいます。詳細は、当社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」 (http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html) をご覧ください。

廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

本機器を使用していた状態のまま廃棄・譲渡すると、ハードディスク内のデータを第三者に読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。機密情報や重要なデータの流出を防ぐためには、本機器を廃棄・譲渡するさいに、ハードディスク上のすべてのデータを消去することが必要となります。

ところが、ハードディスク上のデータを消去するというのは、それほど容易なことではありません。ハードディスクを初期化（フォーマット）したり、OS 上からファイルを削除したりする操作をしただけでは、一見データが消去されたように見えますが、ただ単に OS 上でそれらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけあり、悪意を持った第三者によってデータが復元されるおそれがあります。

従って、お客様の機密情報や重要なデータをハードディスク上に保存していた場合には、上に挙げるような操作をするだけでなく、データ消去のサービスを利用するなどして、これらのデータを完全に消去し、復元されないようにすることをお勧めします。

お客様が、廃棄・譲渡等を行うさいに、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。

なお、ソフトウェア使用許諾（ライセンス）契約により、ソフトウェア（OS やアプリケーション・ソフトウェア）の第三者への譲渡が制限されている場合、ハードディスク上のソフトウェアを削除することなくサーバなどを譲渡すると、契約違反となる可能性があるため、そうした観点からも十分な確認を行う必要があります。

弊社では、お客様の機密情報や重要なデータの漏洩を防止するため、お客様が本機器を廃棄・譲渡するさいにハードディスク上のデータやソフトウェアを消去するサービスを提供しておりますので、是非ご利用ください。

- データ消去サービス
  弊社の専門スタッフがお客様のもとにお伺いし、短時間で、磁気ディスクおよび磁気テープ媒体上のデータなどを消去するサービスです。

詳しくは、データ消去サービス（http://fenics.fujitsu.com/outsourcingservice/lcm/h_elimination/）をご覧ください。

サポート&サービス

■SupportDesk について（有償）

システムの安定稼動に向け、保守・運用支援サービス「SupportDesk」のご契約をお勧めします。ご契約により、ハードウェア障害時の当日訪問修理対応、定期点検、障害予兆／異常情報のリモート通報、電話によるハードウェア／ ソフトウェアの問題解決支援、お客様専用ホームページでの運用支援情報提供などのサービスが利用できます。詳しくは、SupportDesk 紹介ページ「製品サポート」 (http://jp.fujitsu.com/solutions/support/sdk/index.html) を参照してください。

■製品・サービスに関するお問い合わせ

製品の使用方法や技術的なお問い合わせ、ご相談については、製品を購入されたさいの販売会社、または弊社担当営業員・システムエンジニア（SE） にご連絡ください。PRIMEQUEST 1000 シリーズに関するお問い合わせ先がご不明なときやお困りのときには、「富士通コンタクトライン」にご相談ください。

■富士通コンタクトライン

- 電話によるお問い合わせ
  電話： 0120-933-200 （通話料無料）
  ご利用時間： 9:00 ～ 17:30 （土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）
  富士通コンタクトラインでは、お問い合わせ内容の正確な把握、およびお客様サービス向上のため、お客様との会話を記録・録音させていただいておりますので、あらかじめご了承ください。

- Web によるお問い合わせ
  Web によるお問い合わせも承っております。詳細については、富士通ホームページをご覧ください。
  http://jp.fujitsu.com/platform/server/primequest/contact/

■保証について

保証期間中に故障が発生した場合には、保証書に記載の内容に基づき無償修理いたします。詳細については、保証書をご覧ください。

■修理ご依頼の前に

本装置に異常が発生した場合は、『PRIMEQUEST 1000 シリーズ 運用管理マニュアル』(C122-E108) の「11.2 トラブル対応」を参照して、内容をご確認ください。それでも解決できない異常については、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。ご連絡のさいは、本装置前面部右側にある貼付ラベルに記載の型名、および製造番号を確認し、お伝えください。また、事前に『PRIMEQUEST 1000 シリーズ 運用管理マニュアル』(C122-E108) の「11.2 トラブル対応」をご覧いただき、必要事項を確認してください。お客様が退避したシステム設定情報は、保守時に使用します。

改版履歴表

版数	日付	変更箇所 (変更種別) (注)	変更内容
01	2010-02-09	―	―
02	2010-03-12	全体	訂正・追記事項 (C122-E119-01) の差分取込み
03	2010-08-20	全体	訂正・追記事項 (C122-E119-02 ～ 10) の差分取込み
04	2011-04-28	全体	・ PRIMEQUEST 1400S2/1400E2/1400L2/1800E2/1800L2 の記事を追加 ・ 訂正・追記事項 (C122-E119-11 ～ 18) の差分取込み
05	2011-05-31	全体	訂正・追記事項 (C122-E119-19) の差分取込み
06	2011-12-20	全体	訂正・追記事項 (C122-E119-20 ～ 24) の差分取込み
07	2012-06-05	「1 章」および「付録 A」	19 インチラック （モデル 2742/2737/2724/2642/2624/2616）の記事を追加
08	2013-11-19	「1 章」	「1.6.2 腐食性ガス」の記事を更新

注： 変更箇所は、最新版の項番を示している。ただし、アスタリスク (*) の付いている項番は、旧版の項番を示す。

本書を無断で複製・転載しないようにお願いします。
Copyright 2010 - 2013 FUJITSU LIMITED

目　次

第 1 章 設置資料 1
1.1 装置の構成内容 2
1.2 装置外観図 3
1.2.1 装置外観図 (PRIMEQUEST 1400S2/1400S) 3
1.2.2 装置外観図 (PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1400E/1400L) 4
1.2.3 装置外観図 (PRIMEQUEST 1800E2/1800L2/1800E/1800L) 6
1.2.4 装置外観図 (PCI ボックス) 8
1.3 設置諸元 10
1.3.1 設置諸元 (PRIMEQUEST 1400S2) 10
1.3.2 設置諸元 (PRIMEQUEST 1400E2/1400L2) 12
1.3.3 設置諸元 (PRIMEQUEST 1800E2/1800L2) 13
1.3.4 設置諸元 (PRIMEQUEST 1400S) 15
1.3.5 設置諸元 (PRIMEQUEST 1400E/1400L) 17
1.3.6 設置諸元 (PRIMEQUEST 1800E/1800L) 19
1.3.7 設置諸元 (PCI ボックス) 20
1.4 設置エリア 22
1.5 装置の冷却風および排気の流れ 25
1.5.1 装置の冷却風および排気の流れ (PRIMEQUEST 1400S2/1400S) 25
1.5.2 装置の冷却風および排気の流れ (PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1400E/1400L) 26
1.5.3 装置の冷却風および排気の流れ (PRIMEQUEST 1800E2/1800L2/1800E/1800L) 27
1.5.4 装置の冷却風および排気の流れ (PCI ボックス) 28
1.6 設置環境 29
1.6.1 塵埃 29
1.6.2 腐食性ガス 29
1.6.3 海水 (塩害) 30
1.7 安全対策 31

第 2 章 接続資料 32
2.1 接続概要 33
2.1.1 接続概要 (PRIMEQUEST 1400S2/1400E2/1400L2/1800E2/1800L2) 33
2.1.2 接続概要 (PRIMEQUEST 1400S/1400E/1400L/1800E/1800L) 35
2.2 信号ケーブルの接続 37
2.2.1 基本インターフェースおよび周辺装置 (PRIMEQUEST 1400S2/1400E2/1400L2/1800E2/1800L2) 37
2.2.2 基本インターフェースおよび周辺装置 (PRIMEQUEST 1400S/1400E/1400L/1800E/1800L) 40
2.2.3 外部インターフェース接続部の詳細 43
2.3 電源ケーブルの接続 50
2.3.1 電源ケーブルの接続 (PRIMEQUEST 1400S2/1400S) 50
2.3.2 電源ケーブルの接続 (PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1400E/1400L) 55
2.3.3 電源ケーブルの接続 (PRIMEQUEST 1800E2/1800L2/1800E/1800L) 61
2.3.4 電源ケーブルの接続 (PCI ボックス) 64
2.4 入力電源の接続仕様 72
2.4.1 PRIMEQUEST 1000 シリーズ本体装置 72
2.4.2 PCI ボックス 73
2.4.3 コンセントボックスと分電盤間 74
2.5 電源ケーブルのフリーアクセス床下での接続 (日本国内／一般海外のみ) 75
2.6 顧客分電盤の遮断特性 (コンセントボックス接続時のみ) 76

第 3 章 搬入・設置時の留意事項 78
3.1 エレベーターへの積載条件 79
3.2 地震対策 80

付録 A ラック 81
A.1 ラック搭載について 82
A.1.1 設置工事の手配 82
A.2 ラック搭載条件 85

A.2.1 富士通製 19 インチラックへの搭載条件 86
A.2.2 他社製ラックへの搭載条件 93
A.3 富士通製 19 インチラック 97
A.3.1 19 インチラックの種類 97
A.3.2 19 インチラックの外観図 99
A.3.3 19 インチラックの底面図 112

付録 B UPC インターフェース 118
B.1 UPC インターフェースの概要 119
B.2 信号ケーブル 121
B.3 本体装置と CVCF の接続と信号線の定義 122
B.4 ケーブルコネクター 124

索引 125

図　目　次

警告ラベル位置 (PRIMEQUEST 1400S2 / 1400S 背面) ix
警告ラベル位置 (PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1800E2/1800L2/1400E/1400L/1800E/1800L 背面) x
警告ラベル位置 (PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1800E2/1800L2/1400E/1400L/1800E/1800L 背面 (IOB を抜いた状態)) x
警告ラベル位置(PCI ボックス) xi
図 1.1 PRIMEQUEST 1400S2/1400S 前面 3
図 1.2 PRIMEQUEST 1400S2/1400S 背面 3
図 1.3 PRIMEQUEST 1400S2/1400S 上面 4
図 1.4 PRIMEQUEST 1400S2/1400S 右側面 4
図 1.5 PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1400E/1400L 前面 5
図 1.6 PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1400E/1400L 背面 5
図 1.7 PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1400E/1400L 上面 6
図 1.8 PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1400E/1400L 右側面 6
図 1.9 PRIMEQUEST 1800E2/1800L2/1800E/1800L 前面 7
図 1.10 PRIMEQUEST 1800E2/1800L2/1800E/1800L 背面 7
図 1.11 PRIMEQUEST 1800E2/1800L2/1800E/1800L 上面 8
図 1.12 PRIMEQUEST 1800E2/1800L2/1800E/1800L 右側面 8
図 1.13 PCI ボックス 前面 9
図 1.14 PCI ボックス 背面 9
図 1.15 PCI ボックス 上面 9
図 1.16 PCI ボックス 右側面 9
図 1.17 19 インチラックモデル 1740 (19R-174xx) 搭載時のサービスエリア 22
図 1.18 19 インチラックモデル 1640 (19R-164xx) 搭載時のサービスエリア 23
図 1.19 19 インチラックモデル 1624 (19R-162xx) 搭載時のサービスエリア 24
図 1.20 PRIMEQUEST 1400S2/1400S の冷却風および排気の流れ 25
図 1.21 PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1400E/1400L の冷却風および排気の流れ 26
図 1.22 PRIMEQUEST 1800E2/1800L2/1800E/1800L の冷却風および排気の流れ 27
図 1.23 PCI ボックスの冷却風および排気の流れ 28
図 2.1 装置接続の概要 (PRIMEQUEST 1400S2/1400E2/1400L2/1800E2/1800L2) 33
図 2.2 装置接続の概要 (PRIMEQUEST 1400S/1400E/1400L/1800E/1800L) 35
図 2.3 インターフェースケーブル接続図 (基本インターフェースおよび周辺装置) (PRIMEQUEST 1400S2/1400E2/1400L2/1800E2/1800L2) 38
図 2.4 インターフェースケーブル接続図 (基本インターフェースおよび周辺装置) (PRIMEQUEST 1400S/1400E/1400L/1800E/1800L) 41
図 2.5 PRIMEQUEST 1400S2/1400S 本体装置内の外部インターフェース接続図 (前面) 44
図 2.6 PRIMEQUEST 1400S2/1400S 本体装置内の外部インターフェース接続部 (背面) 45
図 2.7 PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1800E2/1800L2/1400E/1400L/1800E/1800L 本体装置内の外部インターフェース接続図 (前面) 46
図 2.8 PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1800E2/1800L2/1400E/1400L/1800E/1800L 本体装置内の外部インターフェース接続部 (背面) 47
図 2.9 MMB の外部インターフェース詳細 48
図 2.10 IOB の外部インターフェース詳細 48
図 2.11 GSPB の外部インターフェース詳細 49
図 2.12 PCI ボックスの外部インターフェース詳細 49
図 2.13 日本国内向け 200V 標準構成の場合 (一系統受電、冗長なし) 50
図 2.14 日本国内向け 200V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり) 51
図 2.15 日本国内向け 200V 二系統受電構成の場合 51
図 2.16 日本国内向け 100V 構成の場合 (一系統受電、冗長なし) 52
図 2.17 日本国内向け 100V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり) 52
図 2.18 一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 標準構成の場合 (一系統受電、冗長なし) 53
図 2.19 一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり) 53
図 2.20 一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 二系統受電構成の場合 54
図 2.21 一般海外向け 100 ～ 120V 構成の場合 (一系統受電、冗長なし) 54
図 2.22 一般海外向け 100 ～ 120V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり) 55
図 2.23 日本国内向け 200V 標準構成の場合 (一系統受電、冗長なし) 56

図 2.24 日本国内向け 200V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり) 56
図 2.25 日本国内向け 200V 二系統受電構成の場合 57
図 2.26 日本国内向け 100V 構成の場合 (一系統受電、冗長なし) 57
図 2.27 日本国内向け 100V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり) 58
図 2.28 一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 標準構成の場合 (一系統受電、冗長なし) 58
図 2.29 一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり) 59
図 2.30 一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 二系統受電構成の場合 59
図 2.31 一般海外向け 100 ～ 120V 構成の場合 (一系統受電、冗長なし) 60
図 2.32 一般海外向け 100 ～ 120V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり) 60
図 2.33 日本国内向け標準構成の場合 (一系統受電、冗長なし) 61
図 2.34 日本国内向け冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり) 62
図 2.35 日本国内向け二系統受電構成の場合 62
図 2.36 一般海外／欧州向け標準構成の場合 (一系統受電、冗長なし) 63
図 2.37 一般海外／欧州向け冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり) 63
図 2.38 一般海外／欧州向け二系統受電構成の場合 64
図 2.39 日本国内向け 200V 標準構成の場合 (一系統受電、冗長なし) 65
図 2.40 日本国内向け 200V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり) 65
図 2.41 日本国内向け 200V 二系統受電構成の場合 66
図 2.42 日本国内向け 100V 構成の場合 (一系統受電、冗長なし) 67
図 2.43 日本国内向け 100V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり) 67
図 2.44 一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 標準構成の場合 (一系統受電、冗長なし) 68
図 2.45 一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり) 68
図 2.46 一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 二系統受電構成の場合 69
図 2.47 一般海外向け 100 ～ 120V 構成の場合 (一系統受電、冗長なし) 70
図 2.48 一般海外向け 100 ～ 120V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり) 70
図 2.49 電源ケーブルをフリーアクセス床の下で接続する場合 (日本国内／一般海外のみ) 75
図 2.50 分電盤のブレーカ特性 77
図 A.1 ラック搭載時の注意 85
図 A.2 ラック搭載条件 (PRIMEQUEST 1400S2/1400S) 88
図 A.3 ラック搭載条件 (PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1800E2/1800L2/1400E/1400L/1800E/1800L) 90
図 A.4 ケーブルホルダーの位置 92
図 A.5 ケーブルホルダーの取外し (モデル 1740) 92
図 A.6 ケーブルホルダーの取外し (モデル 1640／モデル 1624) 93
図 A.7 ラックの奥行条件 94
図 A.8 ラック柱の条件 95
図 A.9 19 インチラック　モデル 1740 (基本／スタビライザーあり) の外観図 100
図 A.10 19 インチラック　モデル 1740 (基本／スタビライザーなし) の外観図 101
図 A.11 19 インチラック　モデル 1740 (増設／スタビライザーあり) の外観図 103
図 A.12 19 インチラック　モデル 1740 (増設／スタビライザーなし) の外観図 104
図 A.13 19 インチラック　モデル 1640 (基本／スタビライザーあり) の外観図 105
図 A.14 19 インチラック　モデル 1640 (基本／スタビライザーなし) の外観図 106
図 A.15 19 インチラック　モデル 1640 (増設／スタビライザーあり) の外観図 108
図 A.16 19 インチラック　モデル 1640 (増設／スタビライザーなし) の外観図 109
図 A.17 19 インチラック　モデル 1624 (基本／スタビライザーあり) の外観図 110
図 A.18 19 インチラック　モデル 1624 (基本／スタビライザーなし) の外観図 110
図 A.19 19 インチラック　モデル 1624 (増設／スタビライザーあり) の外観図 112
図 A.20 19 インチラック　モデル 1624 (増設／スタビライザーなし) の外観図 112
図 A.21 19 インチラックの底面図 (スタンダード) 114
図 A.22 19 インチラックの底面図 (スリム) 115
図 A.23 引き出し式スタビライザーを搭載した場合の底面図 (スタンダードのみ) 116
図 A.24 連結時の 19 インチラックの底面図 (スタンダード) 117
図 A.25 連結時の 19 インチラックの底面図 (スリム) 117
図 B.1 UPC ポートの位置 (PRIMEQUEST 1400S2/1400S) 119
図 B.2 UPC ポートの位置 (PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1800E2/1800L2/1400E/1400L/1800E/1800L) 120
図 B.3 本体装置と CVCF の接続 122

図 B.4 UPC インターフェースと信号ケーブル端子対応図 124

表　目　次

表 1.1 各装置の名称および構成内容 2
表 1.2 PRIMEQUEST 1400S2 の設置諸元 10
表 1.3 PRIMEQUEST 1400E2/1400L2 の設置諸元 12
表 1.4 PRIMEQUEST 1800E2/1800L2 の設置諸元 13
表 1.5 PRIMEQUEST 1400S の設置諸元 15
表 1.6 PRIMEQUEST 1400E/1400L の設置諸元 17
表 1.7 PRIMEQUEST 1800E/1800L の設置諸元 19
表 1.8 PCI ボックスの設置諸元 20
表 1.9 腐食性ガスの許容基準 29
表 2.1 装置接続の注記一覧 (PRIMEQUEST 1400S2/1400E2/1400L2/1800E2/1800L2) 33
表 2.2 装置接続の注記一覧 (PRIMEQUEST 1400S/1400E/1400L/1800E/1800L) 35
表 2.3 ケーブル一覧 (基本インターフェースおよび周辺装置) (PRIMEQUEST 1400S2/1400E2/1400L2/1800E2/1800L2) 39
表 2.4 ケーブル一覧 (基本インターフェースおよび周辺装置) (PRIMEQUEST 1400S/1400E/1400L/1800E/1800L) 41
表 2.5 PRIMEQUEST 1000 シリーズ本体装置の電源ケーブル仕様 72
表 2.6 PCI ボックスの電源ケーブル仕様 73
表 2.7 コンセントボックスと分電盤間の電源ケーブル仕様 74
表 2.8 顧客分電盤ブレーカの特性条件 76
表 3.1 エレベーターへの積載条件 79
表 A.1 設置工事の手配 82
表 A.2 搭載推奨ラック 86
表 A.3 PRIMEQUEST 1000 シリーズの外形寸法* 86
表 A.4 ラック搭載条件 87
表 A.5 19 インチラックの種類 97
表 B.1 信号線の定義 122

第 1 章　設置資料

本章では、装置構成、装置概観図、設置諸元、レイアウトのための各種図面など、PRIMEQUEST 1000 シリーズを設置するときに使用する各種資料を掲載しています。

1.1 装置の構成内容 2
1.2 装置外観図 3
1.3 設置諸元 10
1.4 設置エリア 22
1.5 装置の冷却風および排気の流れ 25
1.6 設置環境 29
1.7 安全対策 31

1.1 装置の構成内容

各装置の名称と構成内容を「表 1.1 各装置の名称および構成内容」に示します。

表 1.1 各装置の名称および構成内容

装置名称	構成内容	サイズ (高さ)
PRIMEQUEST 1400S2/1400S	システムボード最大 2 枚 (最大 4CPU) 、IO ボード最大 1 枚を搭載可能な装置。	7U
PRIMEQUEST 1400E2/1400E	システムボード最大 2 枚 (最大 4CPU) 、IO ボード最大 2 枚を搭載可能な装置。	12U
PRIMEQUEST 1400L2/1400L		
PRIMEQUEST 1800E2/1800E	システムボード最大 4 枚 (最大 8CPU) 、IO ボード最大 2 枚を搭載可能な装置。	12U
PRIMEQUEST 1800L2/1800L		
PCI ボックス	PCI Express スロットを拡張するための装置。 PRIMEQUEST 1400S2/1400S には、最大 1 台接続可能。 PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1800E2/1800L2/1400E/1400L/1800E/1800L には、最大 2 台接続可能。 PCI Express スロットを 12 スロット持つ。	4U

備考

「表 1.1 各装置の名称および構成内容」に示す各装置は EIA 準拠の 19 インチラックに搭載されます。19 インチラックについて詳しくは、「付録 A ラック」および、以下の URL を参照してください。

PRIMEQUEST 周辺装置（オプション）「ラック関連 」:

http://jp.fujitsu.com/platform/server/primequest/peripheral/rack/

1.2 装置外観図

ここでは、各装置の外観図を掲載しています。

- 1.2.1 装置外観図 (PRIMEQUEST 1400S2/1400S)
- 1.2.2 装置外観図 (PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1400E/1400L)
- 1.2.3 装置外観図 (PRIMEQUEST 1800E2/1800L2/1800E/1800L)
- 1.2.4 装置外観図 (PCI ボックス)

1.2.1 装置外観図 (PRIMEQUEST 1400S2/1400S)

以下に PRIMEQUEST 1400S2/1400S の装置外観図 (前面、背面、上面、右側面)を示します。

■PRIMEQUEST 1400S2/1400S 前面

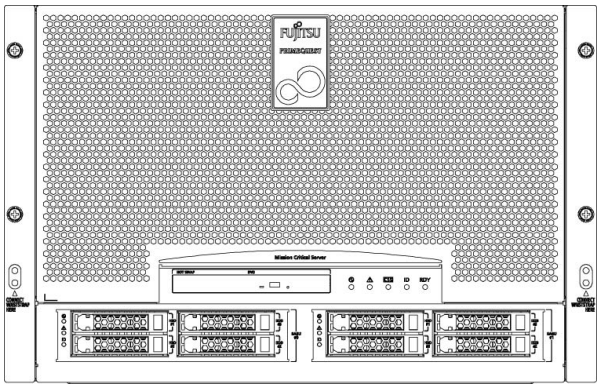


図 1.1 PRIMEQUEST 1400S2/1400S 前面

■PRIMEQUEST 1400S2/1400S 背面

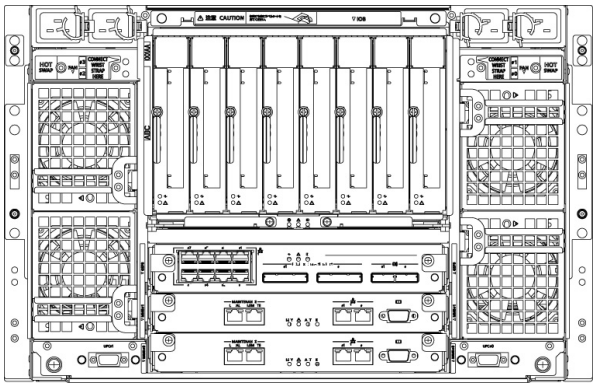


図 1.2 PRIMEQUEST 1400S2/1400S 背面

■PRIMEQUEST 1400S2/1400S 上面

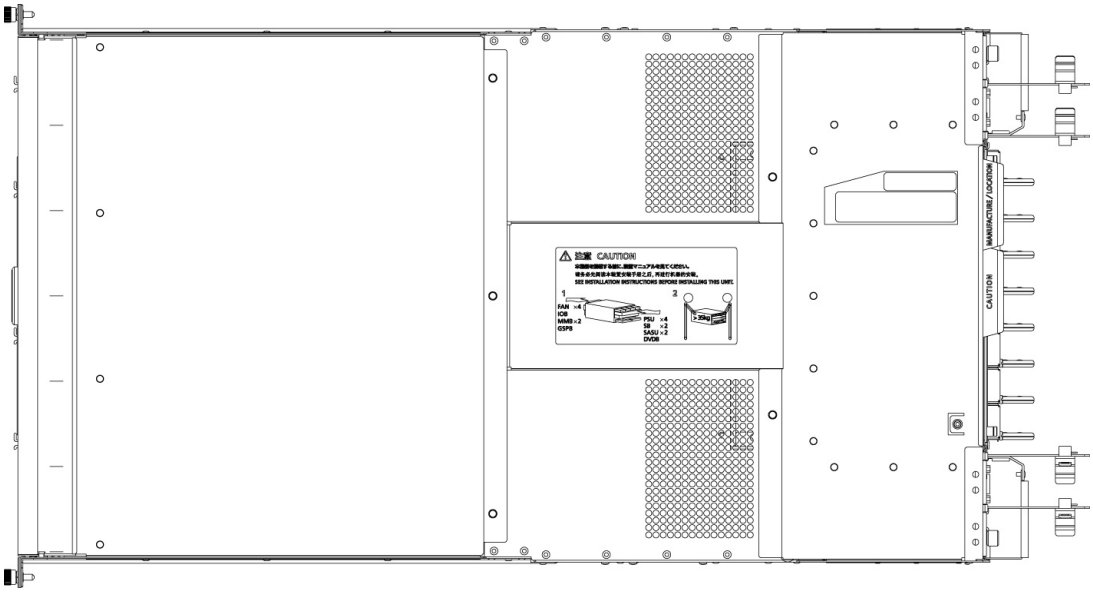


図 1.3 PRIMEQUEST 1400S2/1400S 上面

■PRIMEQUEST 1400S2/1400S 右側面

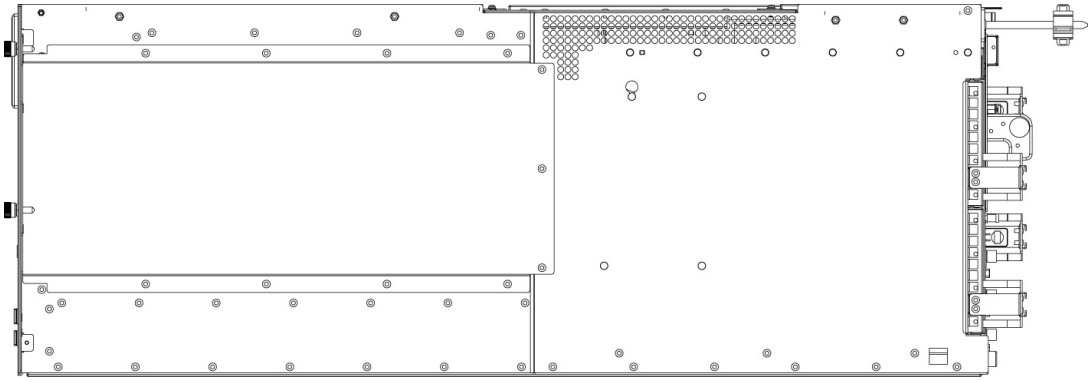


図 1.4 PRIMEQUEST 1400S2/1400S 右側面

1.2.2 装置外観図 (PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1400E/1400L)

以下に PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1400E/1400L の装置外観図 (前面、背面、上面、右側面)を示します。

■PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1400E/1400L 前面

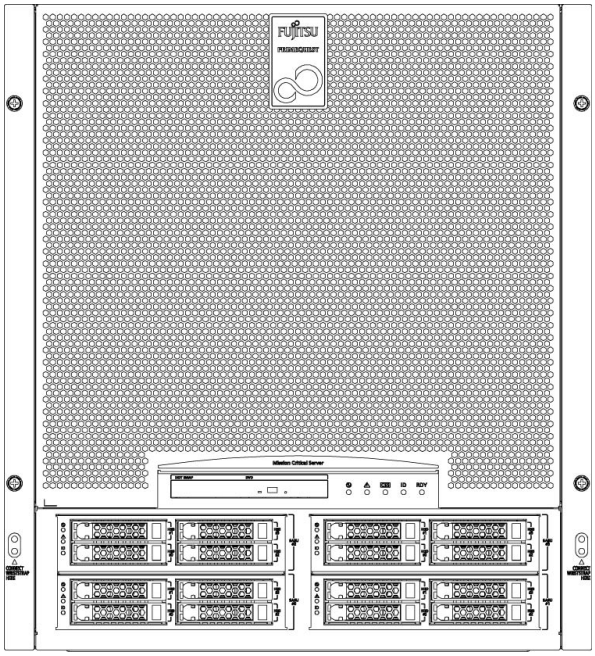


図 1.5 PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1400E/1400L 前面

■PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1400E/1400L 背面

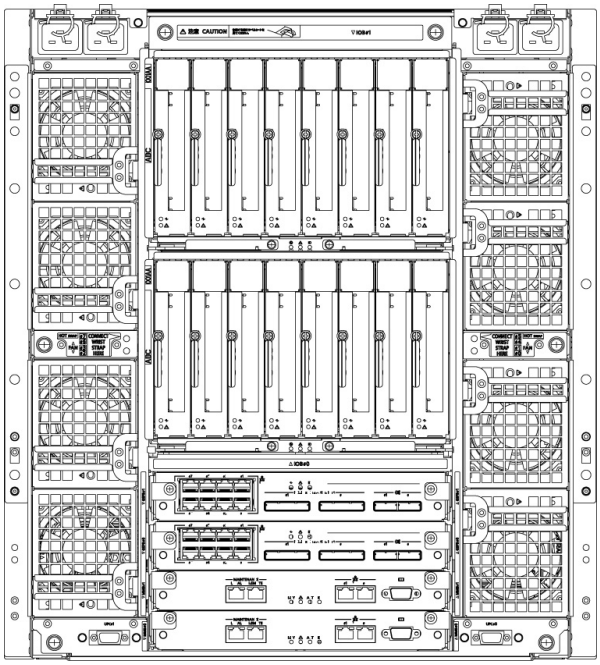


図 1.6 PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1400E/1400L 背面

■PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1400E/1400L 上面

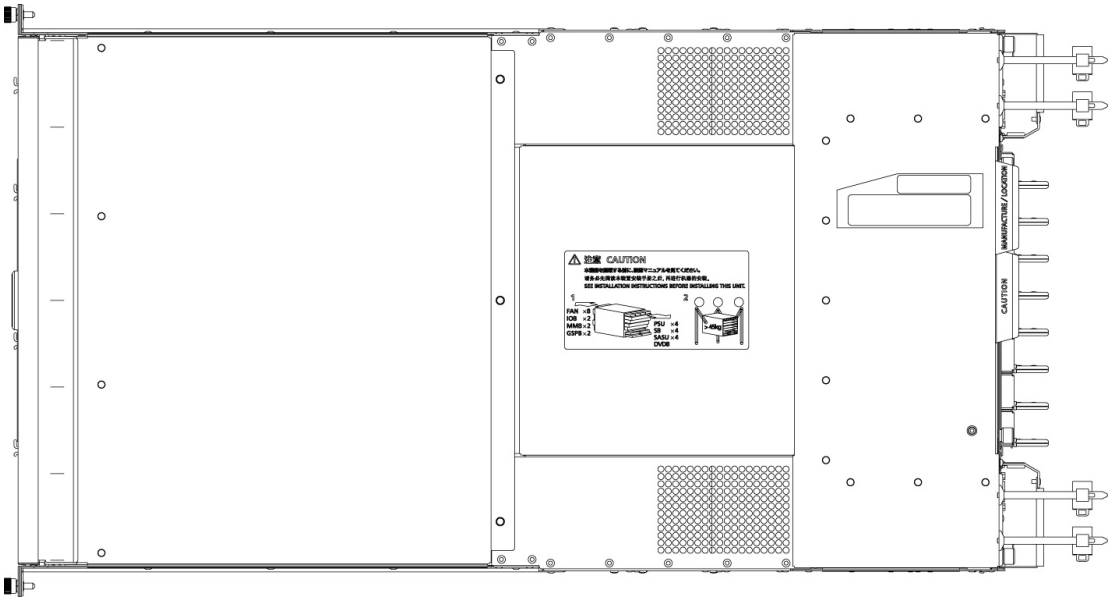


図 1.7 PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1400E/1400L 上面

■PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1400E/1400L 右側面

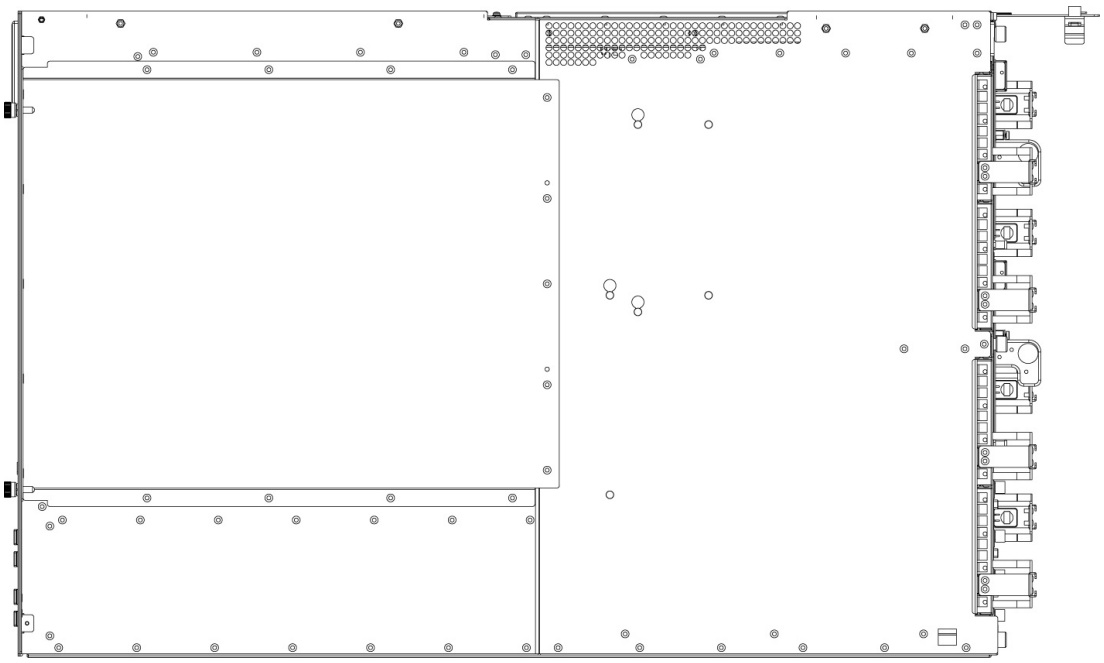


図 1.8 PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1400E/1400L 右側面

1.2.3 装置外観図 (PRIMEQUEST 1800E2/1800L2/1800E/1800L)

以下に PRIMEQUEST 1800E2/1800L2/1800E/1800L の装置外観図 (前面、背面、上面、右側面)を示します。

■PRIMEQUEST 1800E2/1800L2/1800E/1800L 前面

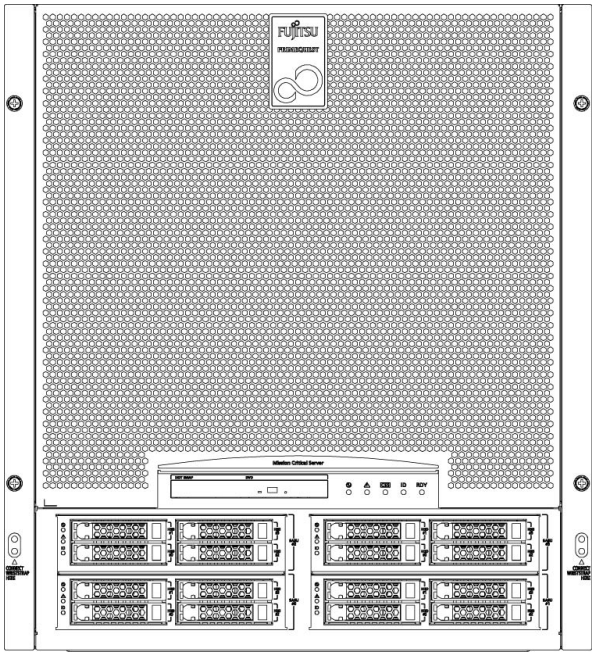


図 1.9 PRIMEQUEST 1800E2/1800L2/1800E/1800L 前面

■PRIMEQUEST 1800E2/1800L2/1800E/1800L 背面

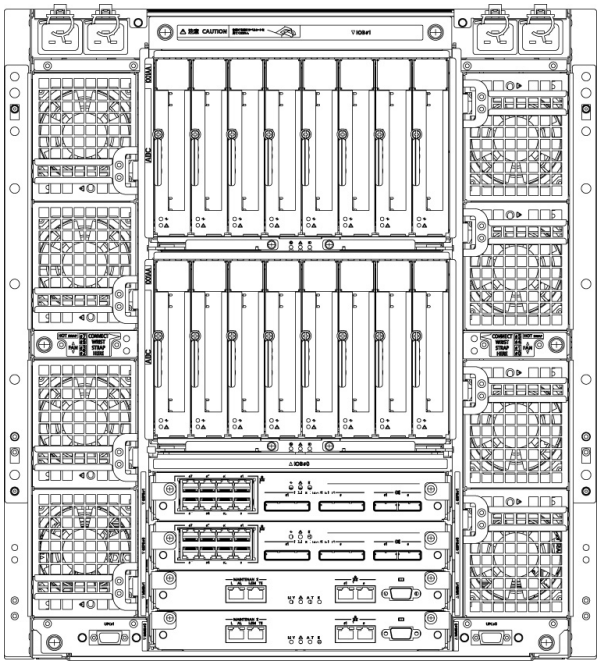


図 1.10 PRIMEQUEST 1800E2/1800L2/1800E/1800L 背面

■PRIMEQUEST 1800E2/1800L2/1800E/1800L 上面

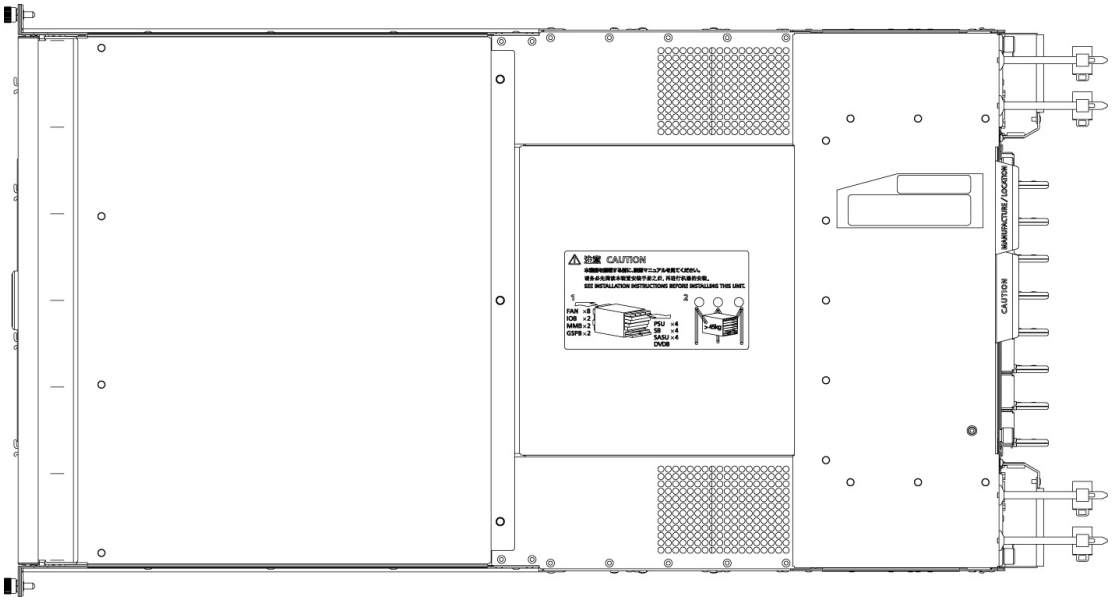


図 1.11 PRIMEQUEST 1800E2/1800L2/1800E/1800L 上面

■PRIMEQUEST 1800E2/1800L2/1800E/1800L 右側面

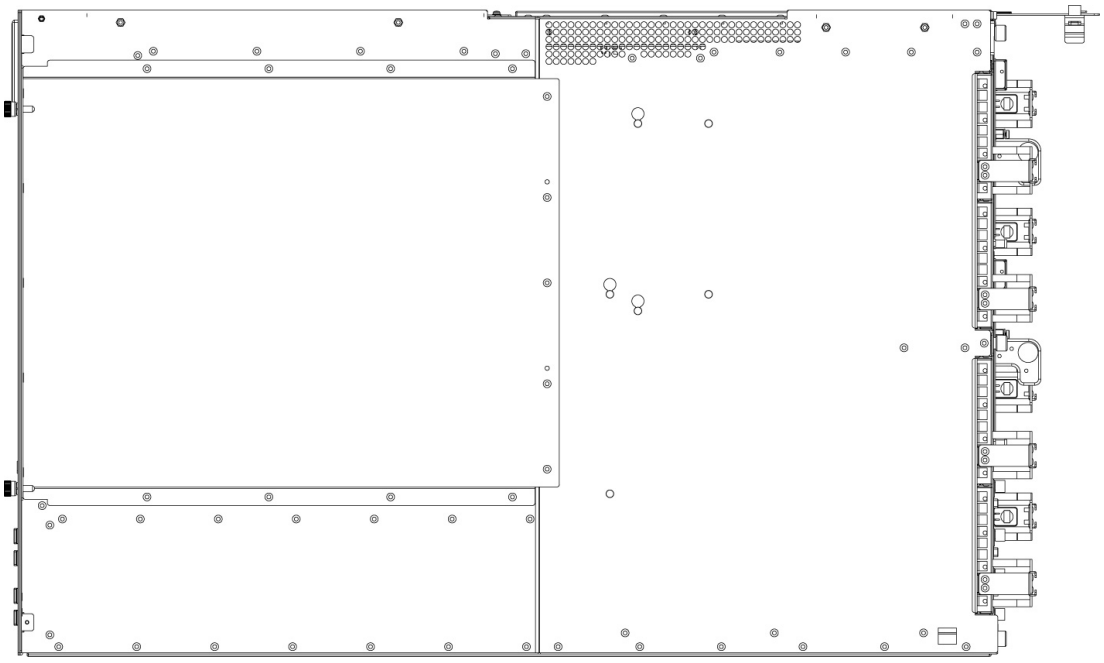


図 1.12 PRIMEQUEST 1800E2/1800L2/1800E/1800L 右側面

1.2.4 装置外観図 (PCI ボックス)

以下に PCI ボックスの装置外観図 (前面、背面、上面、右側面)を示します。

■PCI ボックス 前面

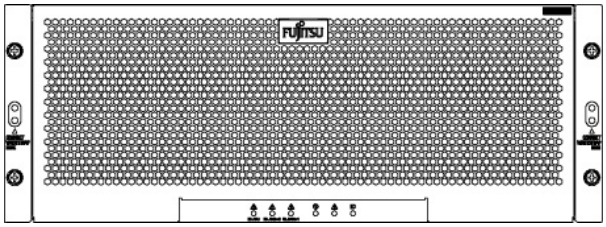


図 1.13 PCI ボックス 前面

■PCI ボックス 背面

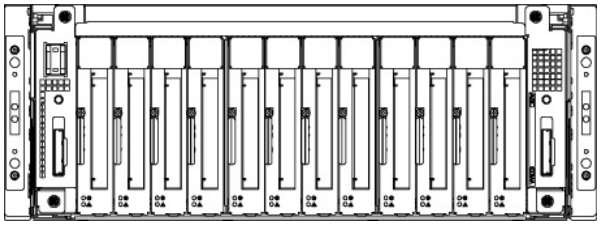


図 1.14 PCI ボックス 背面

■PCI ボックス 上面

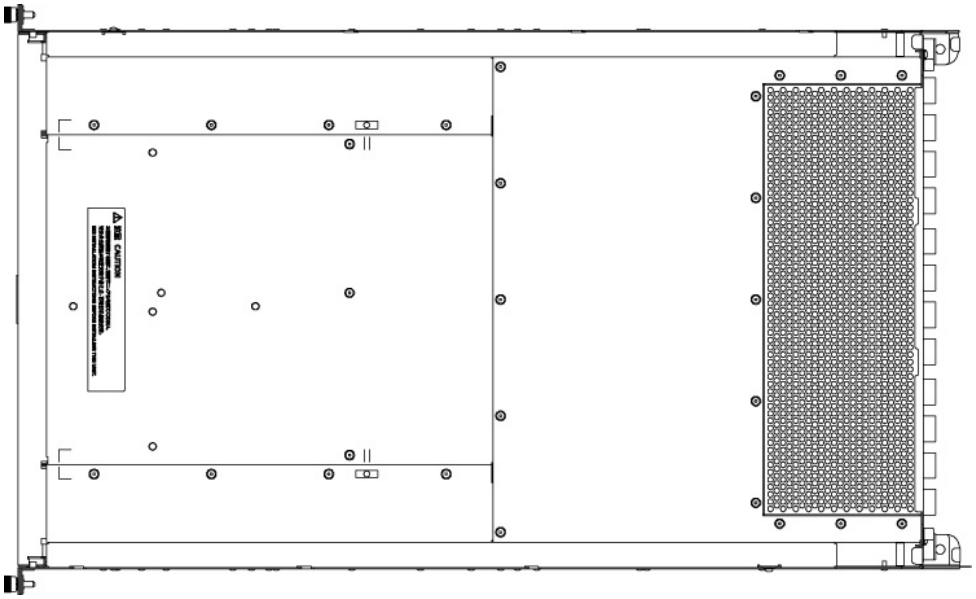


図 1.15 PCI ボックス 上面

■PCI ボックス 右側面

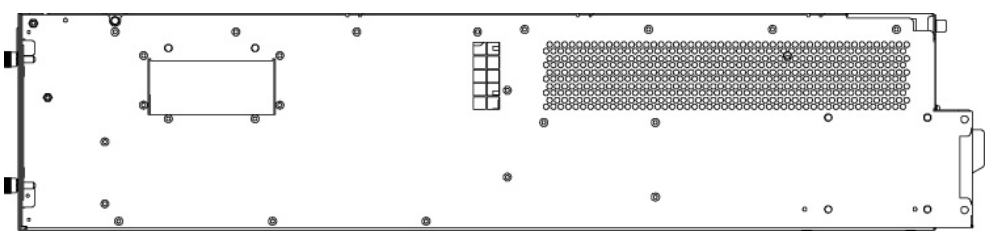


図 1.16 PCI ボックス 右側面

1.3 設置諸元

ここでは、各装置の設置諸元を掲載しています。

- 1.3.1 設置諸元 (PRIMEQUEST 1400S2)
- 1.3.2 設置諸元 (PRIMEQUEST 1400E2/1400L2)
- 1.3.3 設置諸元 (PRIMEQUEST 1800E2/1800L2)
- 1.3.4 設置諸元 (PRIMEQUEST 1400S)
- 1.3.5 設置諸元 (PRIMEQUEST 1400E/1400L)
- 1.3.6 設置諸元 (PRIMEQUEST 1800E/1800L)
- 1.3.7 設置諸元 (PCI ボックス)

1.3.1 設置諸元 (PRIMEQUEST 1400S2)

表 1.2 PRIMEQUEST 1400S2 の設置諸元

項目				内容
外形寸法 [mm (in.)]	幅			482 (18.98)
	奥行 (*1)			800 (31.50)
	高さ			308 (12.13)
質量 [kg (lb)] (*2)				95 (209)
空調条件	最大発熱量 [kJ/h (BTU/h)]		入力電圧：200 V	7,200 (6,824)
			入力電圧：100 V	7,452 (7,063)
	排気量[m^3/min (ft^3/min)] (*3)	FAN 低速 (Low)		7 (247)
		FAN 中速 (Normal)		11 (388)
		FAN 高速 (High)		12 (424)
	温湿度条件 (*4)	稼動時	温度 [℃ (°F)]	(*5)
			湿度 [%RH]	20 ～ 80
			最高湿球温度 [℃ (°F)]	29 (84.2)
		休止時 (*6)	温度 [℃ (°F)]	0 ～ 50 (32 ～ 122)
			湿度 [%RH]	8 ～ 80
			最高湿球温度 [℃ (°F)]	29 (84.2)
	騒音 [dB] (*7, *8)			57
	音響パワーレベル [B] (*8)			7.6
	許容振動 [m/s2 (gal)]	稼動時 (待機時を含む)		4.0 (400) (合成地震波)
		休止時 (*9)		10.0 (1000) (合成地震波)

項目				内容
	許容塵埃量 [mg/m³]			0.15
電源条件	入力電圧および相数			200 ～ 240 VAC ±10 % 100 ～ 120 VAC ±10 % 1φ
	周波数および変動幅			50/60 Hz +2/ -4 %
	最大消費電力／皮相電力	稼動時	入力電圧：200 V	2.00 kW / 2.11 kVA
			入力電圧：100 V	2.07 kW / 2.18 kVA
		待機時	入力電圧：200 V	95 W / 126 VA
			入力電圧：100 V	193 W / 216 VA
	力率 (*10)			0.95 以上
	突入電流 [A] [ラッシュ時間] (*11)			20 以下
	漏洩電流 [mA] (*12)			3.5 以下

*1： 突起物は含まない寸法です。

*2： 各オプション装置を最大搭載した場合の数値です。
ただし、ラック搭載用レール (7kg) およびケーブル類は含みません。
装置構成に応じた質量は、以下の計算式で算出できます。
装置質量 = 59 ＋ (11 × A) + (8 × B) + (2 × C) [kg]
- A = SB 搭載数 (最小 1 ～最大 2)
- B = IO ユニット搭載数 (最小 1 ～最大 1)
- C = 増設電源ユニット搭載数 (最小 0 ～最大 3)

*3： 正常動作時でも、吸気温度が高温の場合（正常温度範囲内）、FAN が高速回転します。

*4： 結露させないでください。

*5： 温度条件は、設置場所の海抜によって異なります。
- 海抜 0 ～ 500 m (0 ～ 1640 ft.) 設置時：5 ～ 35 ℃ (41 ～ 95.0 °F)
- 海抜 500 ～ 1000 m (1640 ～ 3281 ft.) 設置時：5 ～ 34 ℃ (41 ～ 93.2 °F)
- 海抜 1000 ～ 1500 m (3281 ～ 4921 ft.) 設置時：5 ～ 33 ℃ (41 ～ 91.4 °F)
- 海抜 1500 ～ 3000 m (4921 ～ 9843 ft.) 設置時：5 ～ 30 ℃ (41 ～ 86.0 °F)

設置場所の海抜設定は± 100 m の誤差を許容しています。

*6： 休止時とは、装置が梱包されて保管されている状態のことです。

*7： 実際に耳にする騒音レベルは、聞く位置やラックへの搭載状況によって異なります。

*8： 騒音および音響パワーレベルは、環境温度により変化します。

*9： 休止時とは、装置が設置されているが、電源は入っていない状態のことです。

*10： 稼動時の値です。

*11： 入力ケーブル 1 本あたりの値です。

*12： 装置 1 台あたりの値です。

1.3.2 設置諸元 (PRIMEQUEST 1400E2/1400L2)

表 1.3 PRIMEQUEST 1400E2/1400L2 の設置諸元

項目				内容
外形寸法 [mm (in.)]	幅			482 (18.98)
	奥行 (*1)			800 (31.50)
	高さ			530 (20.87)
質量 [kg (lb)] (*2)				130 (286)
空調条件	最大発熱量 [kJ/h (BTU/h)]		入力電圧：200 V	8,568 (8,121)
			入力電圧：100 V	8,928 (8,462)
	排気量[m^3/min (ft^3/min)] (*3)	FAN 低速 (Low)		14 (494)
		FAN 中速 (Normal)		21 (742)
		FAN 高速 (High)		24 (848)
	温湿度条件 (*4)	稼動時	温度 [℃ (°F)]	(*5)
			湿度 [%RH]	20 ～ 80
			最高湿球温度 [℃ (°F)]	29 (84.2)
		休止時 (*6)	温度 [℃ (°F)]	0 ～ 50 (32 ～ 122)
			湿度 [%RH]	8 ～ 80
			最高湿球温度 [℃ (°F)]	29 (84.2)
	騒音 [dB] (*7, *8)			61
	音響パワーレベル [B] (*8)			7.8
	許容振動 [m/s^2 (gal)]	稼動時 (待機時を含む)		4.0 (400) (合成地震波)
		休止時 (*9)		10.0 (1000) (合成地震波)
	許容塵埃量 [mg/m^3]			0.15
電源条件	入力電圧および相数			200 ～ 240 VAC ±10 % 100 ～ 120 VAC ±10 % 1φ
	周波数および変動幅			50/60 Hz +2/ -4 %
	最大消費電力／皮相電力	稼動時	入力電圧：200 V	2.38 kW / 2.51 kVA
			入力電圧：100 V	2.48 kW / 2.61 kVA

項目				内容
		待機時	入力電圧：200 V	95 W / 126 VA
			入力電圧：100 V	193 W / 216 VA
	力率 (*10)			0.95 以上
	突入電流 [A] [ラッシュ時間] (*11)			20 以下
	漏洩電流 [mA] (*12)			3.5 以下

*1： 突起物は含まない寸法です。

*2： 各オプション装置を最大搭載した場合の数値です。
ただし、ラック搭載用レール (7 kg) およびケーブル類は含みません。
装置構成に応じた質量は、以下の計算式で算出できます。
装置質量 = 88 ＋ (11 × A) + (8 × B) + (2 × C) [kg]
- A = SB 搭載数 (最小 1 ～最大 2)
- B = IO ユニット搭載数 (最小 1 ～最大 2)
- C = 増設電源ユニット搭載数 (最小 0 ～最大 2)

*3： 正常動作時でも、吸気温度が高温の場合（正常温度範囲内）、FAN が高速回転します。

*4： 結露させないでください。

*5： 温度条件は、設置場所の海抜によって異なります。
- 海抜 0 ～ 500 m (0 ～ 1640 ft.) 設置時：5 ～ 35 ℃ (41 ～ 95.0 °F)
- 海抜 500 ～ 1000 m (1640 ～ 3281 ft.) 設置時：5 ～ 34 ℃ (41 ～ 93.2 °F)
- 海抜 1000 ～ 1500 m (3281 ～ 4921 ft.) 設置時：5 ～ 33 ℃ (41 ～ 91.4 °F)
- 海抜 1500 ～ 3000 m (4921 ～ 9843 ft.) 設置時：5 ～ 30 ℃ (41 ～ 86.0 °F)

設置場所の海抜設定は±100 m の誤差を許容しています。

*6： 休止時とは、装置が梱包されて保管されている状態のことです。

*7： 実際に耳にする騒音レベルは、聞く位置やラックへの搭載状況によって異なります。

*8： 騒音および音響パワーレベルは、環境温度により変化します。

*9： 休止時とは、装置が設置されているが、電源は入っていない状態のことです。

*10： 稼動時の値です。

*11： 入力ケーブル 1 本あたりの値です。

*12： 装置 1 台あたりの値です。

1.3.3 設置諸元 (PRIMEQUEST 1800E2/1800L2)

表 1.4 PRIMEQUEST 1800E2/1800L2 の設置諸元

項目		内容
外形寸法 [mm (in.)]	幅	482 (18.98)
	奥行 (*1)	800 (31.50)
	高さ	530 (20.87)

項目				内容
質量[kg (lb)] (*2)				150 (330)
空調条件	最大発熱量[kJ/h (BTU/h)]			14,400 (13,649)
	排気量[m^3/min (ft^3/min)] (*3)	FAN 低速 (Low)		14 (494)
		FAN 中速 (Normal)		21 (742)
		FAN 高速 (High)		24 (848)
	温湿度条件 (*4)	稼動時	温度 [℃ (°F)]	(*5)
			湿度 [%RH]	20 ～ 80
			最高湿球温度 [℃ (°F)]	29 (84.2)
		休止時 (*6)	温度 [℃ (°F)]	0 ～ 50 (32 ～ 122)
			湿度 [%RH]	8 ～ 80
			最高湿球温度 [℃ (°F)]	29 (84.2)
	騒音 [dB] (*7, *8)			61
	音響パワーレベル [B] (*8)			7.8
	許容振動[m/s^2 (gal)]	稼動時 (待機時を含む)		4.0 (400) (合成地震波)
		休止時 (*9)		10.0 (1000) (合成地震波)
	許容塵埃量 [mg/m^3]			0.15
電源条件	入力電圧および相数			200 ～ 240 VAC ±10 % 1φ
	周波数および変動幅			50/60 Hz +2/ -4 %
	最大消費電力／皮相電力	稼動時	入力電圧：200 V	4.00 kW / 4.21 kVA
		待機時	入力電圧：200 V	95 W / 126 VA
	力率 (*10)			0.95 以上
	突入電流 [A] [ラッシュ時間] (*11)			20 以下
	漏洩電流 [mA] (*12)			3.5 以下

*1： 突起物は含まない寸法です。

*2： 各オプション装置を最大搭載した場合の数値です。
ただし、ラック搭載用レール (7kg) およびケーブル類は含みません。
装置構成に応じた質量は、以下の計算式で算出できます。
装置質量 = 86 + (11 × A) + (8 × B) + (2 × C) [kg]
- A = SB 搭載数 (最小 1 ～最大 4)
- B = IO ユニット搭載数 (最小 1 ～最大 2)
- C = 増設電源ユニット搭載数 (最小 0 ～最大 2)

*3： 正常動作時でも、吸気温度が高温の場合（正常温度範囲内）、FAN が高速回転します。

*4： 結露させないでください。

*5： 温度条件は、設置場所の海抜によって異なります。
- 海抜 0 ～ 500 m (0 ～ 1640 ft.) 設置時：5 ～ 35 ℃ (41 ～ 95.0 °F)
- 海抜 500 ～ 1000 m (1640 ～ 3281 ft.) 設置時：5 ～ 34 ℃ (41 ～ 93.2 °F)
- 海抜 1000 ～ 1500 m (3281 ～ 4921 ft.) 設置時：5 ～ 33 ℃ (41 ～ 91.4 °F)
- 海抜 1500 ～ 3000 m (4921 ～ 9843 ft.) 設置時：5 ～ 30 ℃ (41 ～ 86.0 °F)

設置場所の海抜設定は±100 m の誤差を許容しています。

*6： 休止時とは、装置が梱包されて保管されている状態のことです。

*7： 実際に耳にする騒音レベルは、聞く位置やラックへの搭載状況によって異なります。

*8： 騒音および音響パワーレベルは、環境温度により変化します。

*9： 休止時とは、装置が設置されているが、電源は入っていない状態のことです。

*10： 稼動時の値です。

*11： 入力ケーブル 1 本あたりの値です。

*12： 装置 1 台あたりの値です。

1.3.4 設置諸元 (PRIMEQUEST 1400S)

表 1.5 PRIMEQUEST 1400S の設置諸元

<table>
<tr><th colspan="5">項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td rowspan="3">外形寸法
[mm (in.)]</td><td colspan="4">幅</td><td>482 (18.98)</td></tr>
<tr><td colspan="4">奥行 (*1)</td><td>800 (31.50)</td></tr>
<tr><td colspan="4">高さ</td><td>308 (12.13)</td></tr>
<tr><td colspan="5">質量 [kg (lb)] (*2)</td><td>95 (209)</td></tr>
<tr><td rowspan="11">空調条件</td><td rowspan="2" colspan="2">最大発熱量 [kJ/h (BTU/h)]</td><td colspan="2">入力電圧：200 V</td><td>7,200 (6,824)</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力電圧：100 V</td><td>7,452 (7,063)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">排気量[m³/min (ft³/min)] (*3)</td><td colspan="3">FAN 低速 (Low)</td><td>7 (247)</td></tr>
<tr><td colspan="3">FAN 中速 (Normal)</td><td>11 (388)</td></tr>
<tr><td colspan="3">FAN 高速 (High)</td><td>12 (424)</td></tr>
<tr><td rowspan="6">温湿度条件 (*4)</td><td rowspan="3">稼動時</td><td>温度 [℃ (°F)]</td><td>(*5)</td></tr>
<tr><td>湿度 [%RH]</td><td>20 ～ 80</td></tr>
<tr><td>最高湿球温度 [℃ (°F)]</td><td>29 (84.2)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">休止時 (*6)</td><td>温度 [℃ (°F)]</td><td>0 ～ 50 (32 ～ 122)</td></tr>
<tr><td>湿度 [%RH]</td><td>8 ～ 80</td></tr>
<tr><td>最高湿球温度 [℃ (°F)]</td><td>29 (84.2)</td></tr>
<tr><td colspan="4">騒音 [dB] (*7, *8)</td><td>57</td></tr>
</table>

項目				内容
	音響パワーレベル [B] (*8)			7.6
	許容振動 [m/s²(gal)]	稼動時 (待機時を含む)		4.0 (400) (合成地震波)
		休止時 (*9)		10.0 (1000) (合成地震波)
	許容塵埃量 [mg/m³]			0.15
電源条件	入力電圧および相数			200 ～ 240 VAC ±10 % 100 ～ 120 VAC ±10 % 1φ
	周波数および変動幅			50/60 Hz +2/ -4 %
	最大消費電力／皮相電力	稼動時	入力電圧：200 V	2.00 kW / 2.11 kVA
			入力電圧：100 V	2.07 kW / 2.18 kVA
		待機時	入力電圧：200 V	95 W / 126 VA
			入力電圧：100 V	193 W / 216 VA
	力率 (*10)			0.95 以上
	突入電流 [A] [ラッシュ時間] (*11)			20 以下
	漏洩電流 [mA] (*12)			3.5 以下

*1： 突起物は含まない寸法です。

*2： 各オプション装置を最大搭載した場合の数値です。
ただし、ラック搭載用レール (7kg) およびケーブル類は含みません。
装置構成に応じた質量は、以下の計算式で算出できます。
装置質量 = 59 ＋ (11 × A) + (8 × B) + (2 × C)
- A = SB 搭載数 (最小 1 ～最大 2)
- B = IO ユニット搭載数 (最小 1 ～最大 1)
- C = 増設電源ユニット搭載数 (最小 0 ～最大 3)

*3： 正常動作時でも、吸気温度が高温の場合（正常温度範囲内）、FAN が高速回転します。

*4： 結露させないでください。

*5： 温度条件は、設置場所の海抜によって異なります。
- 海抜 0 ～ 500 m (0 ～ 1640 ft.) 設置時：5 ～ 35 ℃ (41 ～ 95.0 °F)
- 海抜 500 ～ 1000 m (1640 ～ 3281 ft.) 設置時：5 ～ 34 ℃ (41 ～ 93.2 °F)
- 海抜 1000 ～ 1500 m (3281 ～ 4921 ft.) 設置時：5 ～ 33 ℃ (41 ～ 91.4 °F)
- 海抜 1500 ～ 3000 m (4921 ～ 9843 ft.) 設置時：5 ～ 30 ℃ (41 ～ 86.0 °F)

設置場所の海抜設定は± 100 m の誤差を許容しています。

*6： 休止時とは、装置が梱包されて保管されている状態のことです。

*7： 実際に耳にする騒音レベルは、聞く位置やラックへの搭載状況によって異なります。

*8： 騒音および音響パワーレベルは、環境温度により変化します。

*9： 休止時とは、装置が設置されているが、電源は入っていない状態のことです。

*10： 稼動時の値です。

*11： 入力ケーブル 1 本あたりの値です。

*12： 装置 1 台あたりの値です。

1.3.5 設置諸元 (PRIMEQUEST 1400E/1400L)

表 1.6 PRIMEQUEST 1400E/1400L の設置諸元

項目				内容
外形寸法 [mm (in.)]	幅			482 (18.98)
	奥行 (*1)			800 (31.50)
	高さ			530 (20.87)
質量 [kg (lb)] (*2)				130 (286)
空調条件	最大発熱量 [kJ/h (BTU/h)]		入力電圧：200 V	8,568 (8,121)
			入力電圧：100 V	8,928 (8,462)
	排気量[m^3/min (ft^3/min)] (*3)	FAN 低速 (Low)		14 (494)
		FAN 中速 (Normal)		21 (742)
		FAN 高速 (High)		24 (848)
	温湿度条件 (*4)	稼動時	温度 [℃ (°F)]	(*5)
			湿度 [%RH]	20 ～ 80
			最高湿球温度 [℃ (°F)]	29 (84.2)
		休止時 (*6)	温度 [℃ (°F)]	0 ～ 50 (32 ～ 122)
			湿度 [%RH]	8 ～ 80
			最高湿球温度 [℃ (°F)]	29 (84.2)
	騒音 [dB] (*7, *8)			61
	音響パワーレベル [B] (*8)			7.8
	許容振動 [m/s^2 (gal)]	稼動時 (待機時を含む)		4.0 (400) (合成地震波)
		休止時 (*9)		10.0 (1000) (合成地震波)
	許容塵埃量 [mg/m^3]			0.15

項目				内容
電源条件	入力電圧および相数			200 ～ 240 VAC ±10 % 100 ～ 120 VAC ±10 % 1φ
	周波数および変動幅			50/60 Hz +2/ -4 %
	最大消費電力／皮相電力	稼動時	入力電圧：200 V	2.38 kW / 2.51 kVA
			入力電圧：100 V	2.48 kW / 2.61 kVA
		待機時	入力電圧：200 V	95 W / 126 VA
			入力電圧：100 V	193 W / 216 VA
	力率 (*10)			0.95 以上
	突入電流 [A] [ラッシュ時間] (*11)			20 以下
	漏洩電流 [mA] (*12)			3.5 以下

*1： 突起物は含まない寸法です。

*2： 各オプション装置を最大搭載した場合の数値です。
ただし、ラック搭載用レール (7 kg) およびケーブル類は含みません。
装置構成に応じた質量は、以下の計算式で算出できます。
装置質量 = 88 ＋ (11 × A) + (8 × B) + (2 × C)
- A = SB 搭載数 (最小 1 ～最大 2)
- B = IO ユニット搭載数 (最小 1 ～最大 2)
- C = 増設電源ユニット搭載数 (最小 0 ～最大 2)

*3： 正常動作時でも、吸気温度が高温の場合（正常温度範囲内）、FAN が高速回転します。

*4： 結露させないでください。

*5： 温度条件は、設置場所の海抜によって異なります。
- 海抜 0 ～ 500 m (0 ～ 1640 ft.) 設置時：5 ～ 35 ℃ (41 ～ 95.0 °F)
- 海抜 500 ～ 1000 m (1640 ～ 3281 ft.) 設置時：5 ～ 34 ℃ (41 ～ 93.2 °F)
- 海抜 1000 ～ 1500 m (3281 ～ 4921 ft.) 設置時：5 ～ 33 ℃ (41 ～ 91.4 °F)
- 海抜 1500 ～ 3000 m (4921 ～ 9843 ft.) 設置時：5 ～ 30 ℃ (41 ～ 86.0 °F)

設置場所の海抜設定は±100 m の誤差を許容しています。

*6： 休止時とは、装置が梱包されて保管されている状態のことです。

*7： 実際に耳にする騒音レベルは、聞く位置やラックへの搭載状況によって異なります。

*8： 騒音および音響パワーレベルは、環境温度により変化します。

*9： 休止時とは、装置が設置されているが、電源は入っていない状態のことです。

*10： 稼動時の値です。

*11： 入力ケーブル 1 本あたりの値です。

*12： 装置 1 台あたりの値です。

1.3.6 設置諸元 (PRIMEQUEST 1800E/1800L)

表 1.7 PRIMEQUEST 1800E/1800L の設置諸元

項目				内容
外形寸法 [mm (in.)]	幅			482 (18.98)
	奥行 (*1)			800 (31.50)
	高さ			530 (20.87)
質量[kg (lb)] (*2)				150 (330)
空調条件	最大発熱量[kJ/h (BTU/h)]			14,400 (13,649)
	排気量[m^3/min (ft^3/min)] (*3)	FAN 低速 (Low)		14 (494)
		FAN 中速 (Normal)		21 (742)
		FAN 高速 (High)		24 (848)
	温湿度条件 (*4)	稼動時	温度 [℃ (°F)]	(*5)
			湿度 [%RH]	20 ～ 80
			最高湿球温度 [℃ (°F)]	29 (84.2)
		休止時 (*6)	温度 [℃ (°F)]	0 ～ 50 (32 ～ 122)
			湿度 [%RH]	8 ～ 80
			最高湿球温度 [℃ (°F)]	29 (84.2)
	騒音 [dB] (*7, *8)			61
	音響パワーレベル [B] (*8)			7.8
	許容振動[m/s^2 (gal)]	稼動時 (待機時を含む)		4.0 (400) (合成地震波)
		休止時 (*9)		10.0 (1000) (合成地震波)
	許容塵埃量 [mg/m^3]			0.15
電源条件	入力電圧および相数			200 ～ 240 VAC ±10 % 1φ
	周波数および変動幅			50/60 Hz +2/ -4 %
	最大消費電力／皮相電力	稼動時	入力電圧：200 V	4.00 kW / 4.21 kVA
		待機時	入力電圧：200 V	95 W / 126 VA
	力率 (*10)			0.95 以上
	突入電流 [A] [ラッシュ時間] (*11)			20 以下
	漏洩電流 [mA] (*12)			3.5 以下

*1： 突起物は含まない寸法です。

*2： 各オプション装置を最大搭載した場合の数値です。
ただし、ラック搭載用レール (7kg) およびケーブル類は含みません。
装置構成に応じた質量は、以下の計算式で算出できます。

装置質量 = 86 + (11 × A) + (8 × B) + (2 × C)

- A = SB 搭載数 (最小 1 ～最大 4)
- B = IO ユニット搭載数 (最小 1 ～最大 2)
- C = 増設電源ユニット搭載数 (最小 0 ～最大 2)

*3： 正常動作時でも、吸気温度が高温の場合（正常温度範囲内)、FAN が高速回転します。

*4： 結露させないでください。

*5： 温度条件は、設置場所の海抜によって異なります。

- 海抜 0 ～ 500 m (0 ～ 1640 ft.) 設置時：5 ～ 35 ℃ (41 ～ 95.0 °F)
- 海抜 500 ～ 1000 m (1640 ～ 3281 ft.) 設置時：5 ～ 34 ℃ (41 ～ 93.2 °F)
- 海抜 1000 ～ 1500 m (3281 ～ 4921 ft.) 設置時：5 ～ 33 ℃ (41 ～ 91.4 °F)
- 海抜 1500 ～ 3000 m (4921 ～ 9843 ft.) 設置時：5 ～ 30 ℃ (41 ～ 86.0 °F)

設置場所の海抜設定は±100 m の誤差を許容しています。

*6： 休止時とは、装置が梱包されて保管されている状態のことです。

*7： 実際に耳にする騒音レベルは、聞く位置やラックへの搭載状況によって異なります。

*8： 騒音および音響パワーレベルは、環境温度により変化します。

*9： 休止時とは、装置が設置されているが、電源は入っていない状態のことです。

*10： 稼動時の値です。

*11： 入力ケーブル 1 本あたりの値です。

*12： 装置 1 台あたりの値です。

1.3.7 設置諸元 (PCI ボックス)

表 1.8 PCI ボックスの設置諸元

項目				内容
外形寸法 [mm (in.)]	幅			482 (18.98)
	奥行 (*1)			740 (29.13)
	高さ			175 (6.89)
質量 [kg (lb)] (*2)				35 (77)
空調条件	最大発熱量 [kJ/h (BTU/h)]			1,656 (1,570)
	排気量[m^3/min (ft^3/min)] (*3)	FAN 低速(Low)		3 (106)
		FAN 中速 (Normal)		4 (141)
		FAN 高速 (High)		5 (177)
	温湿度条件 (*4)	稼動時	温度 [℃ (°F)]	(*5)
			湿度 [%RH]	20 ～ 80
			最高湿球温度[℃ (°F)]	29 (84.2)
		休止時 (*6)	温度 [℃ (°F)]	0 ～ 50 (32 ～ 122)
			湿度 [%RH]	8 ～ 80

項目				内容
			最高湿球温度[℃ (°F)]	29 (84.2)
	騒音 [dB]			(本体装置に含まれる)
	音響パワーレベル [B]			(本体装置に含まれる)
	許容振動 [m/s² (gal)]	稼動時 (待機時を含む)		4.0 (400) (合成地震波)
		休止時 (*6)		10.0 (1000) (合成地震波)
	許容塵埃量 [mg/m³]			0.15
電源条件	入力電圧および相数			200 〜 240 VAC ±10 % 100 〜 120 VAC ±10 % 1φ
	周波数および変動幅			50/60 Hz +2/ -4 %
	最大消費電力／ 皮相電力	稼動時	入力電圧：200 V	450 W / 475 VA
			入力電圧：100 V	460 W / 485 VA
		待機時	入力電圧：200 V	10 W / 40 VA
			入力電圧：100 V	10 W / 35 VA
	力率 (*7)			0.95 以上
	突入電流 [A] [ラッシュ時間] (*8)			25 以下
	漏洩電流 [mA] (*9)			3.5 以下

*1： 突起物は含まない寸法です。

*2： 各オプション装置を最大搭載した場合の数値です。
ただし、ラック搭載用レール (7 kg) およびケーブル類は含みません。

*3： 正常動作時でも、吸気温度が高温の場合（正常温度範囲内）、FAN が高速回転します。

*4： 結露させないでください。

*5： 温度条件は、設置場所の海抜によって異なります。
- 海抜 0 〜 500 m (0 〜 1640 ft.) 設置時：5 〜 35 ℃ (41 〜 95.0 °F)
- 海抜 500 〜 1000 m (1640 〜 3281 ft.) 設置時：5 〜 34 ℃ (41 〜 93.2 °F)
- 海抜 1000 〜 1500 m (3281 〜 4921 ft.) 設置時：5 〜 33 ℃ (41 〜 91.4 °F)
- 海抜 1500 〜 3000 m (4921 〜 9843 ft.) 設置時：5 〜 30 ℃ (41 〜 86.0 °F)

設置場所の海抜設定は±100 m の誤差を許容しています。

*6： 休止時とは、装置が梱包されて保管されている状態のことです。

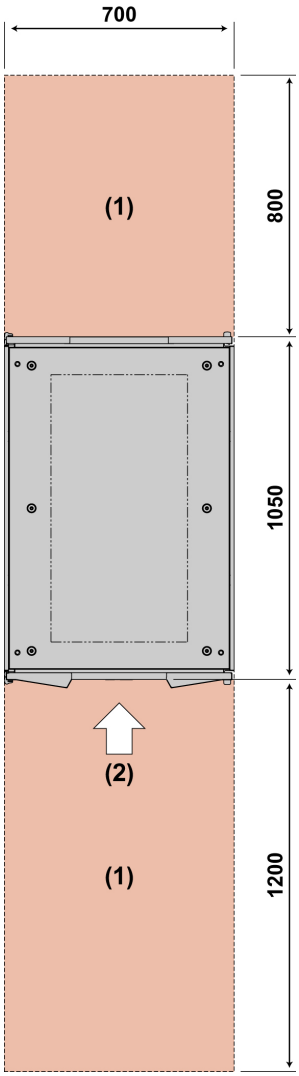
*7： 稼動時の値です。

*8： 入力ケーブル 1 本あたりの値です。

*9： 装置 1 台あたりの値です。

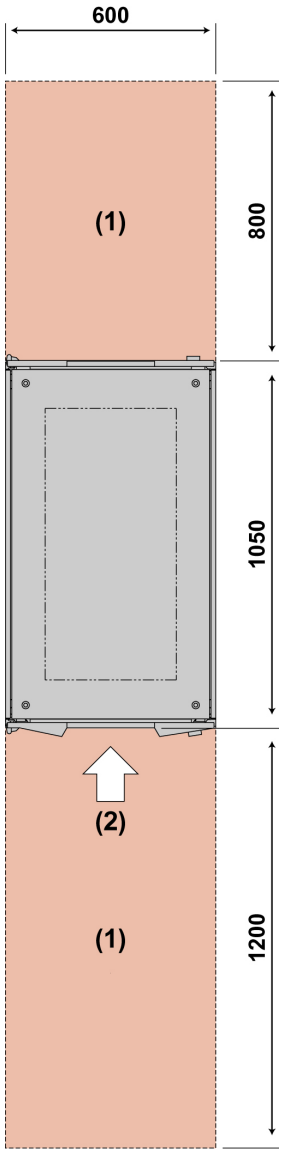
1.4 設置エリア

ここでは、 PRIMEQUEST 1000 シリーズまたは PCI ボックスを、富士通製 19 インチラックに搭載した場合の設置エリアとサービスエリアを掲載しています。
設置エリアおよびサービスエリアは、搭載する 19 インチラックにより異なります。19 インチラックについて詳しくは、「付録 A ラック」および、以下の URL を参照してください。
PC サーバ PRIMERGY ラックシステム構築ガイド：
http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/rack/
PRIMEQUEST 周辺装置（オプション）「ラック関連 」：
http://jp.fujitsu.com/platform/server/primequest/peripheral/rack/



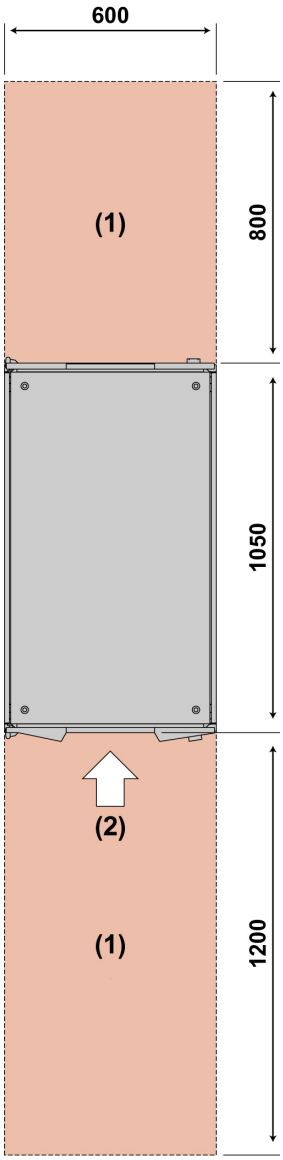
番号	説　明
(1)	サービスエリア
(2)	装置正面

図 1.17 19 インチラックモデル 1740 (19R-174xx) 搭載時のサービスエリア



番号	説　明
(1)	サービスエリア
(2)	装置正面

図 1.18 19 インチラックモデル 1640 (19R-164xx) 搭載時のサービスエリア



番号	説　明
(1)	サービスエリア
(2)	装置正面

図 1.19 19 インチラックモデル 1624 (19R-162xx) 搭載時のサービスエリア

1.5 装置の冷却風および排気の流れ

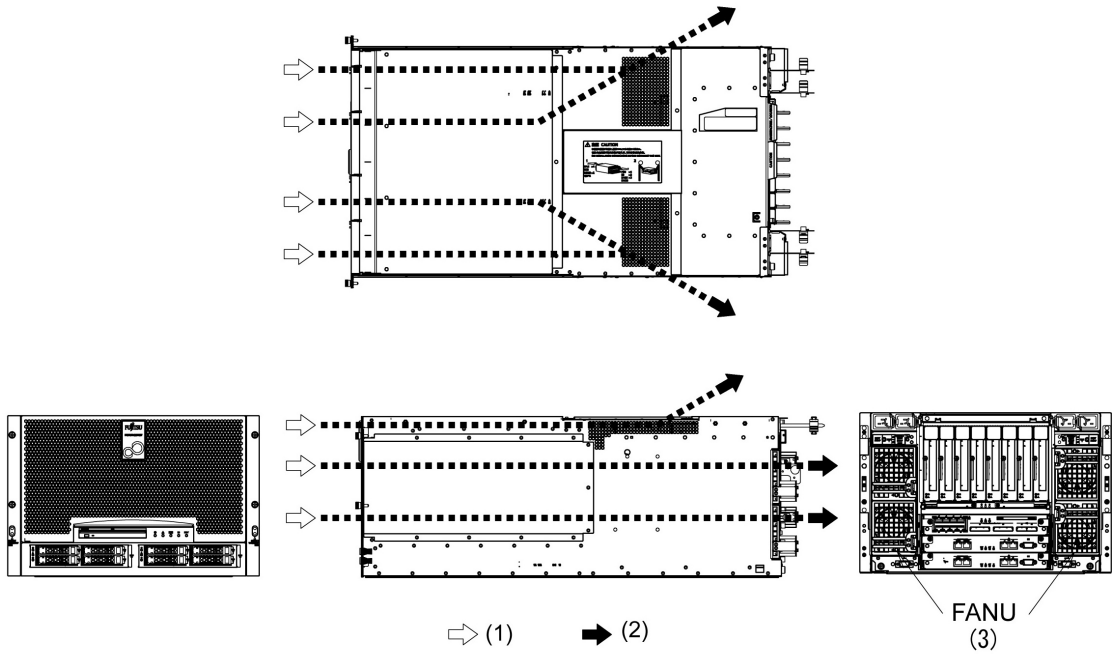
ここでは、各装置の冷却風および排気の流れを掲載します。

- 1.5.1 装置の冷却風および排気の流れ (PRIMEQUEST 1400S2/1400S)
- 1.5.2 装置の冷却風および排気の流れ (PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1400E/1400L)
- 1.5.3 装置の冷却風および排気の流れ (PRIMEQUEST 1800E2/1800L2/1800E/1800L)
- 1.5.4 装置の冷却風および排気の流れ (PCI ボックス)

注意

装置の設置を検討するときには、冷却風および排気の流れを考慮することが重要です。考慮せずに設置すると、装置によっては、ほかの装置の排気を吸い込むことによって影響を受ける場合があります。特に、吸気温度を監視している装置などは、吸気温度異常のアラームを出し続けるおそれがあります。

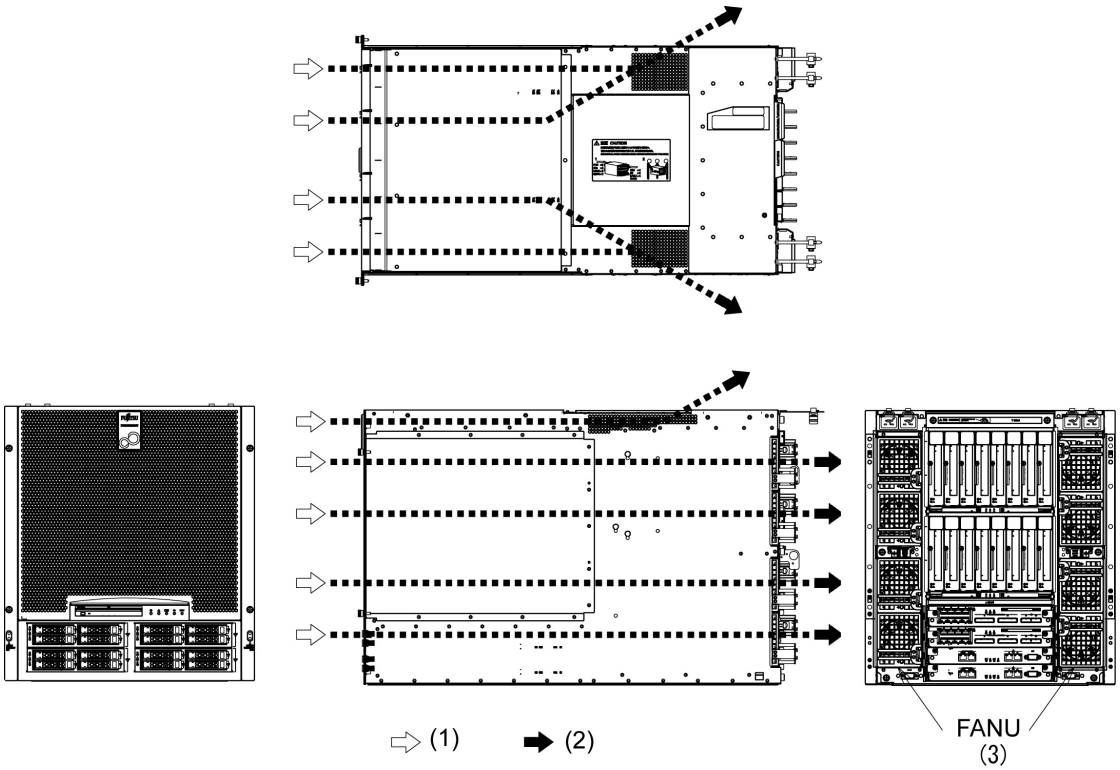
1.5.1 装置の冷却風および排気の流れ (PRIMEQUEST 1400S2/1400S)



番号	説　明
(1)	吸気
(2)	排気
(3)	排気場所

図 1.20 PRIMEQUEST 1400S2/1400S の冷却風および排気の流れ

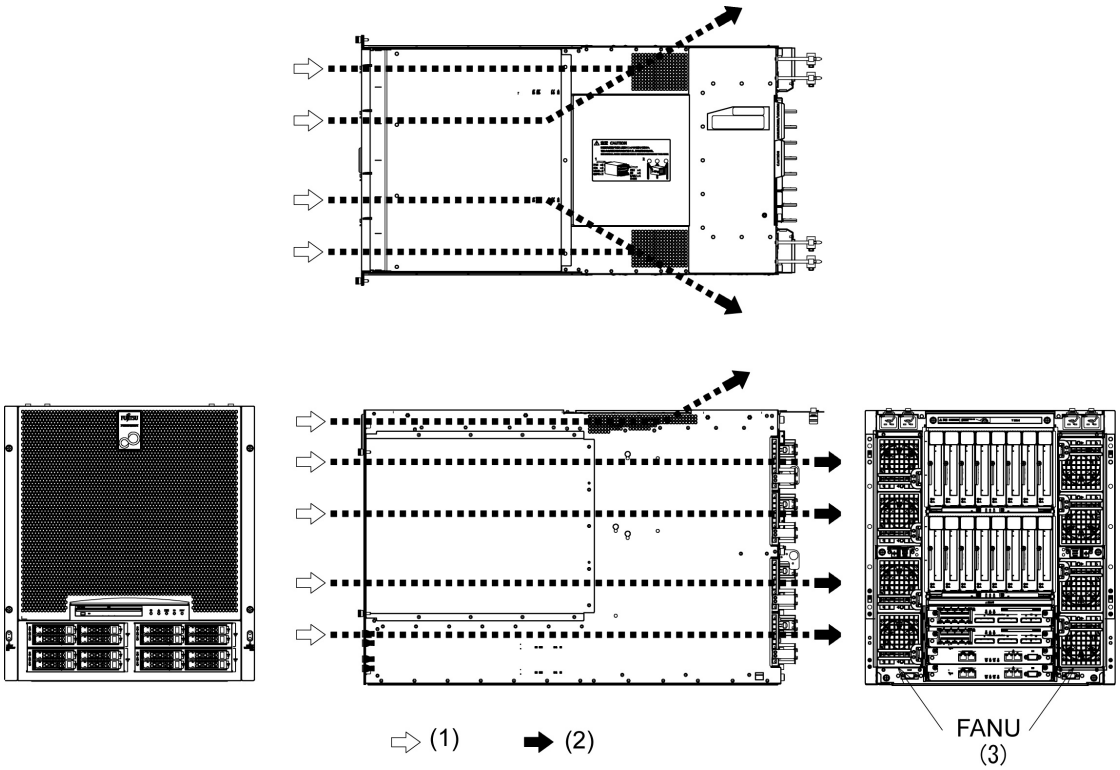
1.5.2 装置の冷却風および排気の流れ (PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1400E/1400L)



番号	説　明
(1)	吸気
(2)	排気
(3)	排気場所

図 1.21 PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1400E/1400L の冷却風および排気の流れ

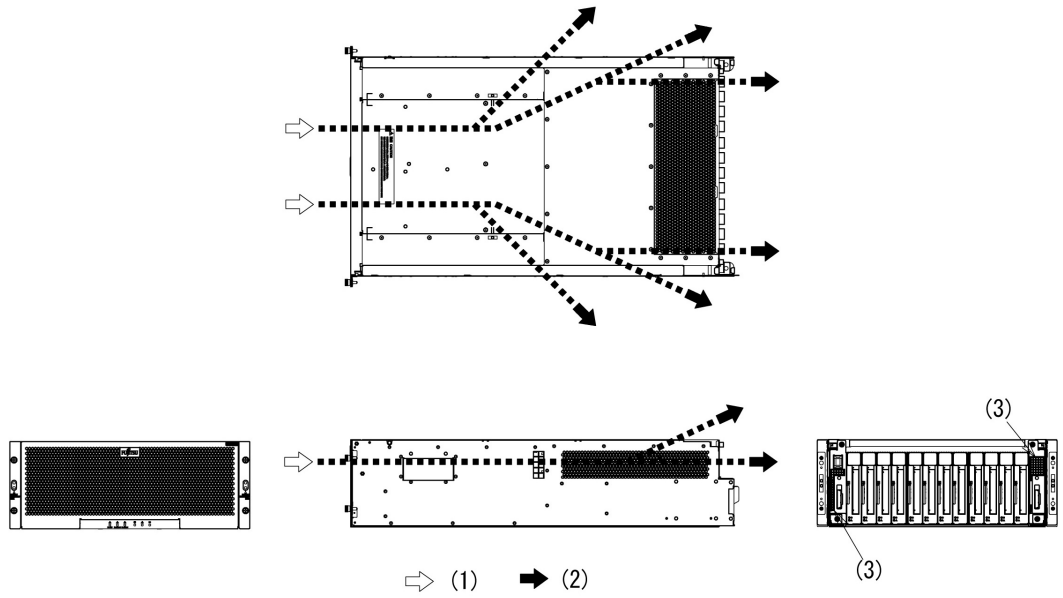
1.5.3 装置の冷却風および排気の流れ (PRIMEQUEST 1800E2/1800L2/1800E/1800L)



番号	説　明
(1)	吸気
(2)	排気
(3)	排気場所

図 1.22 PRIMEQUEST 1800E2/1800L2/1800E/1800L の冷却風および排気の流れ

1.5.4 装置の冷却風および排気の流れ (PCI ボックス)



番号	説　明
(1)	吸気
(2)	排気
(3)	排気場所

図 1.23 PCI ボックスの冷却風および排気の流れ

1.6 設置環境

ここでは、装置の設置環境について説明します。

- 1.6.1 塵埃
- 1.6.2 腐食性ガス
- 1.6.3 海水 (塩害)

1.6.1 塵埃

■浮遊塵埃

電子計算機室の浮遊塵埃は、0.15mg/m³ を超えないようにします。電子計算機はこの浮遊塵埃に耐えるよう設計されています。この値は、一般事務室での浮遊塵埃の許容値であり、通常の電子計算機室では、ほこりなどの浮遊塵埃を含んだ外気の侵入が少なく、煙草の煙などがなければ達成できます。

■塵埃の除去

ほこりなどの浮遊塵埃は空調設備のエアフィルターで捕集します。電子計算機室は、定期的な清掃で、床表面や床下の塵埃を除去しなければなりません。以下の場合は必ず清掃を実施してください。

- 電子計算機室が完成し、機器を搬入する前
- 電子計算機室を改修したとき
- 電子計算機の入替えなど、装置の配置を変更したとき

1.6.2 腐食性ガス

腐食性ガスや潮風は、装置を腐食させ、誤動作、破損および、装置寿命を著しく短くする原因となり、適切な空気清浄設備を設けて除去する必要があります。さらに、清浄な空気で室内を陽圧にすることにより、外からの腐食性ガスの侵入防止に効果があります。腐食性ガスの発生源としては、化学工場地域、温泉／火山地帯などが考えられます。

表 1.9 腐食性ガスの許容基準

ガス名称	許容基準
硫化水素 (H_2S)	7.1 ppb 以下
亜硫酸ガス (硫黄酸化物) (SO_2)	37 ppb 以下
塩化水素 (HCI)	6.6 ppb 以下
塩素 (CI_2)	3.4 ppb 以下
フッ化水素 (HF)	3.6 ppb 以下
二酸化窒素 (窒素酸化物) (NO_2)	52 ppb 以下
アンモニア (NH_3)	420 ppb 以下
オゾン (O_3)	5 ppb 以下
油蒸気	0.2 mg/m³ 以下

1.6.3 海水 (塩害)

海岸の近傍では潮風により空気中に多量の海塩粒子が浮遊しています。この海塩粒子が電子計算機内に留まると湿気と化学凝縮した物質により絶縁不良や部材の腐食劣化の原因となりますので、電子計算機は海岸から離れたところへの設置が必要です。

海塩粒子による塩害を防止するための設置基準を以下に示します。

基準：洋上または海岸から 0.5 km 以内に設置しないこと (ただし、外気を取り入れない空調設備を保有の場合は除く)

1.7 安全対策

安全対策について詳しくは、『SPARC Enterprise/PRIMEQUEST 共通設置計画マニュアル』 (C120-H007) の「第 8 章 安全対策」を参照してください。

第 2 章　接続資料

本章では、ケーブルの接続概要と、PRIMEQUEST 1000 シリーズで使用するケーブルについて説明します。

2.1 接続概要 33
2.2 信号ケーブルの接続 37
2.3 電源ケーブルの接続 50
2.4 入力電源の接続仕様 72
2.5 電源ケーブルのフリーアクセス床下での接続 (日本国内／一般海外のみ) 75
2.6 顧客分電盤の遮断特性 (コンセントボックス接続時のみ) 76

2.1 接続概要

PRIMEQUEST 1000 シリーズの接続概要について説明します。

2.1.1 接続概要 (PRIMEQUEST 1400S2/1400E2/1400L2/1800E2/1800L2)

PRIMEQUEST 1400S2/1400E2/1400L2/1800E2/1800L2 装置接続の概要を、「図 2.1 装置接続の概要 (PRIMEQUEST 1400S2/1400E2/1400L2/1800E2/1800L2)」に示します。

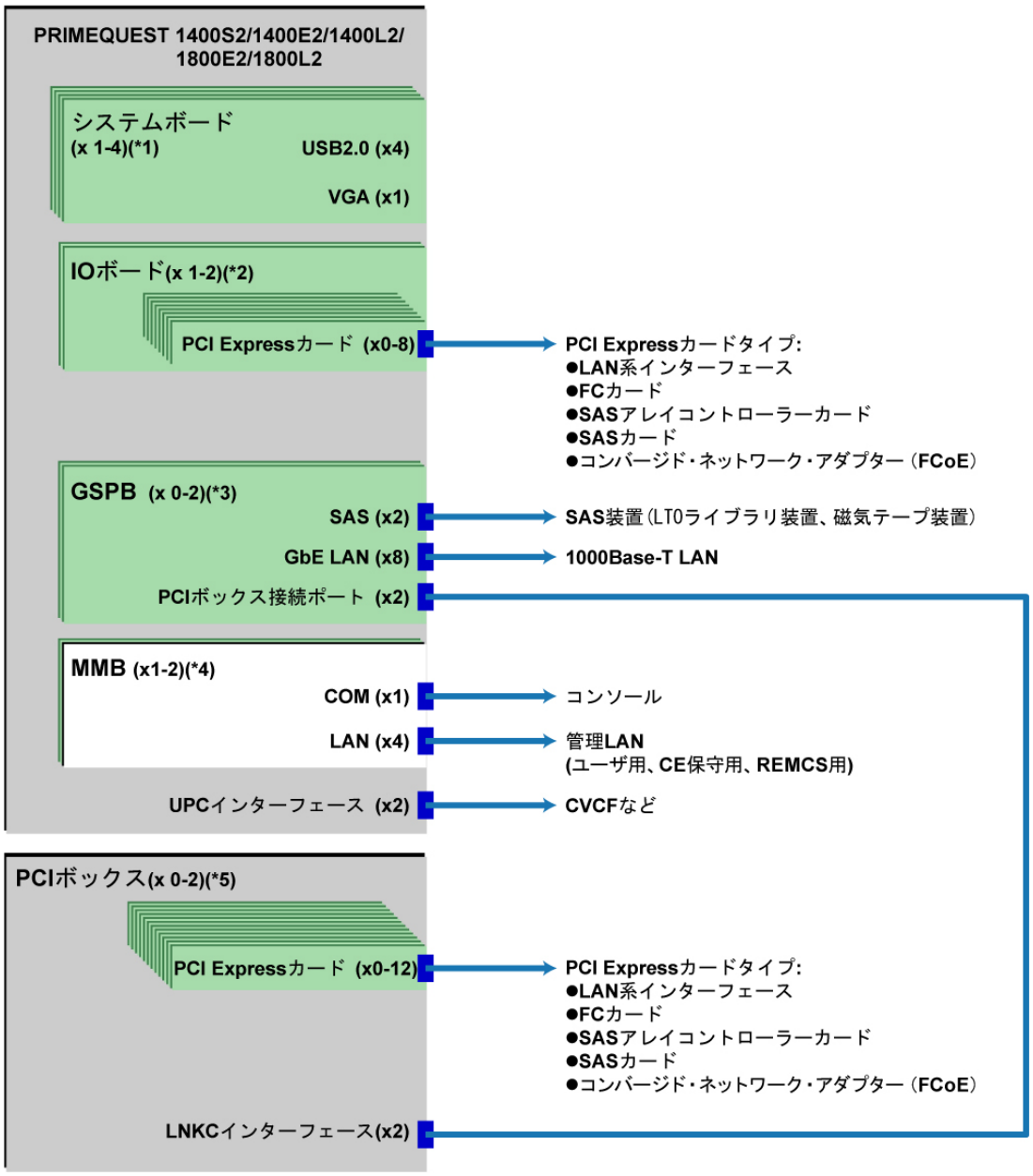


図 2.1 装置接続の概要 (PRIMEQUEST 1400S2/1400E2/1400L2/1800E2/1800L2)

表 2.1 装置接続の注記一覧 (PRIMEQUEST 1400S2/1400E2/1400L2/1800E2/1800L2)

図 2.1 内の番号	構成品	説明	
*1	システムボード	PRIMEQUEST 1400S2	最大 2 台搭載できます。

図 2.1 内の番号	構成品		説明	
			PRIMEQUEST 1400E2 PRIMEQUEST 1400L2	
			PRIMEQUEST 1800E2 PRIMEQUEST 1800L2	最大 4 台搭載できます。
*2	IO ユニット	IO ボード	PRIMEQUEST 1400S2	最大 1 台搭載できます。
			PRIMEQUEST 1400E2 PRIMEQUEST 1400L2 PRIMEQUEST 1800E2 PRIMEQUEST 1800L2	最大 2 台搭載できます。
*3		GSPB	PRIMEQUEST 1400S2	最大 1 台搭載できます。
			PRIMEQUEST 1400E2 PRIMEQUEST 1400L2 PRIMEQUEST 1800E2 PRIMEQUEST 1800L2	最大 2 台搭載できます。
*4	MMB		PRIMEQUEST 1400S2/1400E2/1400L2/1800E2/1800L2	最大 2 台搭載できます。
*5	PCI ボックス		PRIMEQUEST 1400S2	最大 1 台接続できます。
			PRIMEQUEST 1400E2 PRIMEQUEST 1400L2 PRIMEQUEST 1800E2 PRIMEQUEST 1800L2	最大 2 台接続できます。

2.1.2 接続概要 (PRIMEQUEST 1400S/1400E/1400L/1800E/1800L)

PRIMEQUEST 1400S/1400E/1400L/1800E/1800L の装置接続の概要を、「図 2.2 装置接続の概要 (PRIMEQUEST 1400S/1400E/1400L/1800E/1800L)」に示します。

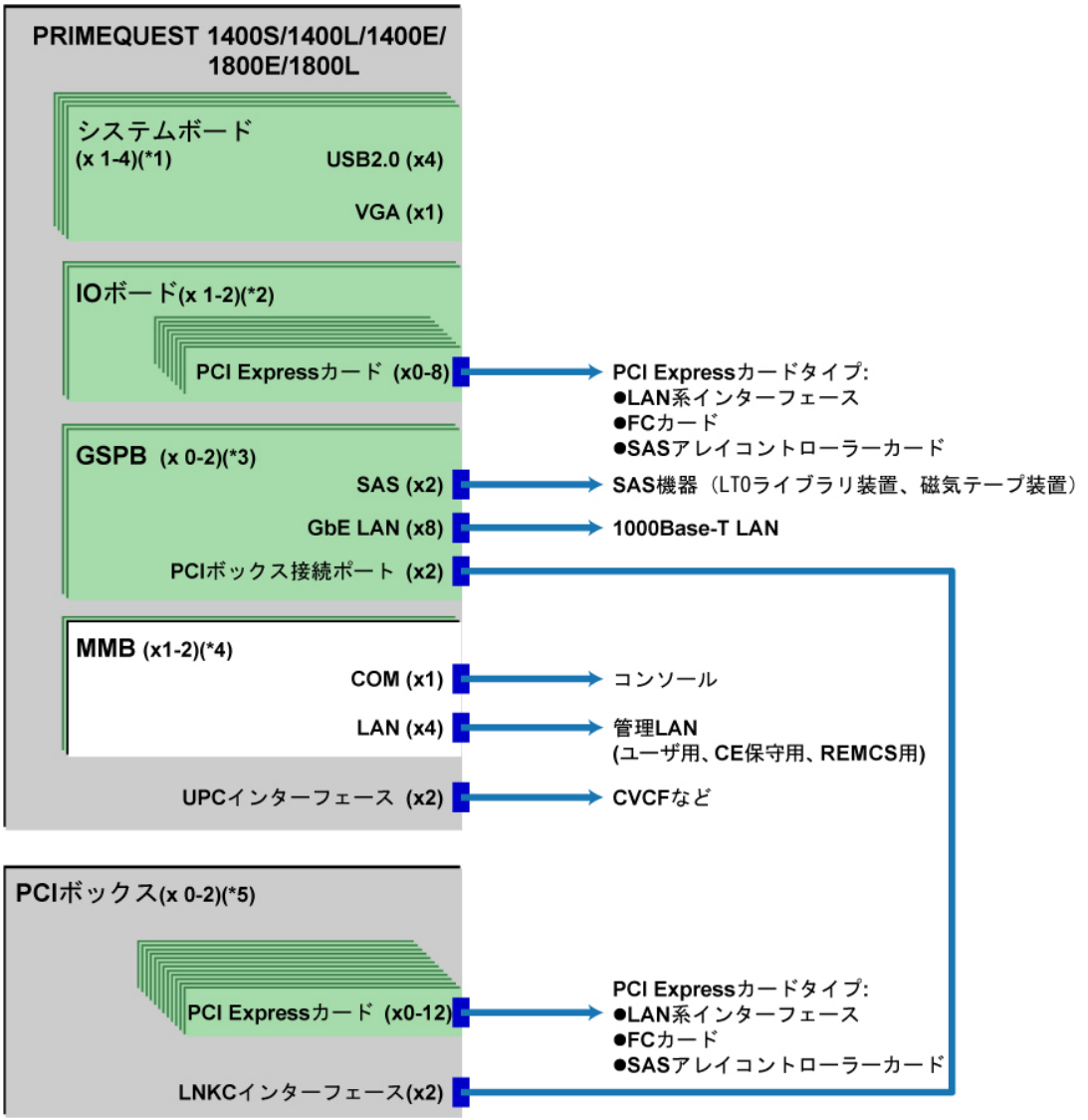


図 2.2 装置接続の概要 (PRIMEQUEST 1400S/1400E/1400L/1800E/1800L)

表 2.2 装置接続の注記一覧 (PRIMEQUEST 1400S/1400E/1400L/1800E/1800L)

図 2.2 内の番号	構成品	説明	
*1	システムボード	PRIMEQUEST 1400S PRIMEQUEST 1400E PRIMEQUEST 1400L	最大 2 台搭載できます。

図 2.2 内の番号	構成品		説明	
			PRIMEQUEST 1800E PRIMEQUEST 1800L	最大 4 台搭載できます。
*2	IO ユニット	IO ボード	PRIMEQUEST 1400S	最大 1 台搭載できます。
			PRIMEQUEST 1400E PRIMEQUEST 1400L PRIMEQUEST 1800E PRIMEQUEST 1800L	最大 2 台搭載できます。
*3		GSPB	PRIMEQUEST 1400S	最大 1 台搭載できます。
			PRIMEQUEST 1400E PRIMEQUEST 1400L PRIMEQUEST 1800E PRIMEQUEST 1800L	最大 2 台搭載できます。
*4	MMB		PRIMEQUEST 1400S/1400E/ 1400L/1800E/ 1800L	最大 2 台搭載できます。
*5	PCI ボックス		PRIMEQUEST 1400S	最大 1 台接続できます。
			PRIMEQUEST 1400E PRIMEQUEST 1400L PRIMEQUEST 1800E PRIMEQUEST 1800L	最大 2 台接続できます。

2.2 信号ケーブルの接続

ここでは、信号系ケーブルの接続図、およびケーブル一覧を掲載します。また、ケーブル手配時の注意事項についても説明します。

- 2.2.1 基本インターフェースおよび周辺装置 (PRIMEQUEST 1400S2/1400E2/1400L2/1800E2/1800L2)
- 2.2.2 基本インターフェースおよび周辺装置 (PRIMEQUEST 1400S/1400E/1400L/1800E/1800L)
- 2.2.3 外部インターフェース接続部の詳細

2.2.1 基本インターフェースおよび周辺装置 (PRIMEQUEST 1400S2/1400E2/1400L2/1800E2/1800L2)

PRIMEQUEST 1400S2/1400E2/1400L2/1800E2/1800L2 の基本インターフェースおよび周辺装置のケーブル接続図を「図 2.3 インターフェースケーブル接続図 (基本インターフェースおよび周辺装置) (PRIMEQUEST 1400S2/1400E2/1400L2/1800E2/1800L2)」に示し、ケーブル一覧を「表 2.3 ケーブル一覧 (基本インターフェースおよび周辺装置) (PRIMEQUEST 1400S2/1400E2/1400L2/1800E2/1800L2)」に示します。

■ケーブル接続図

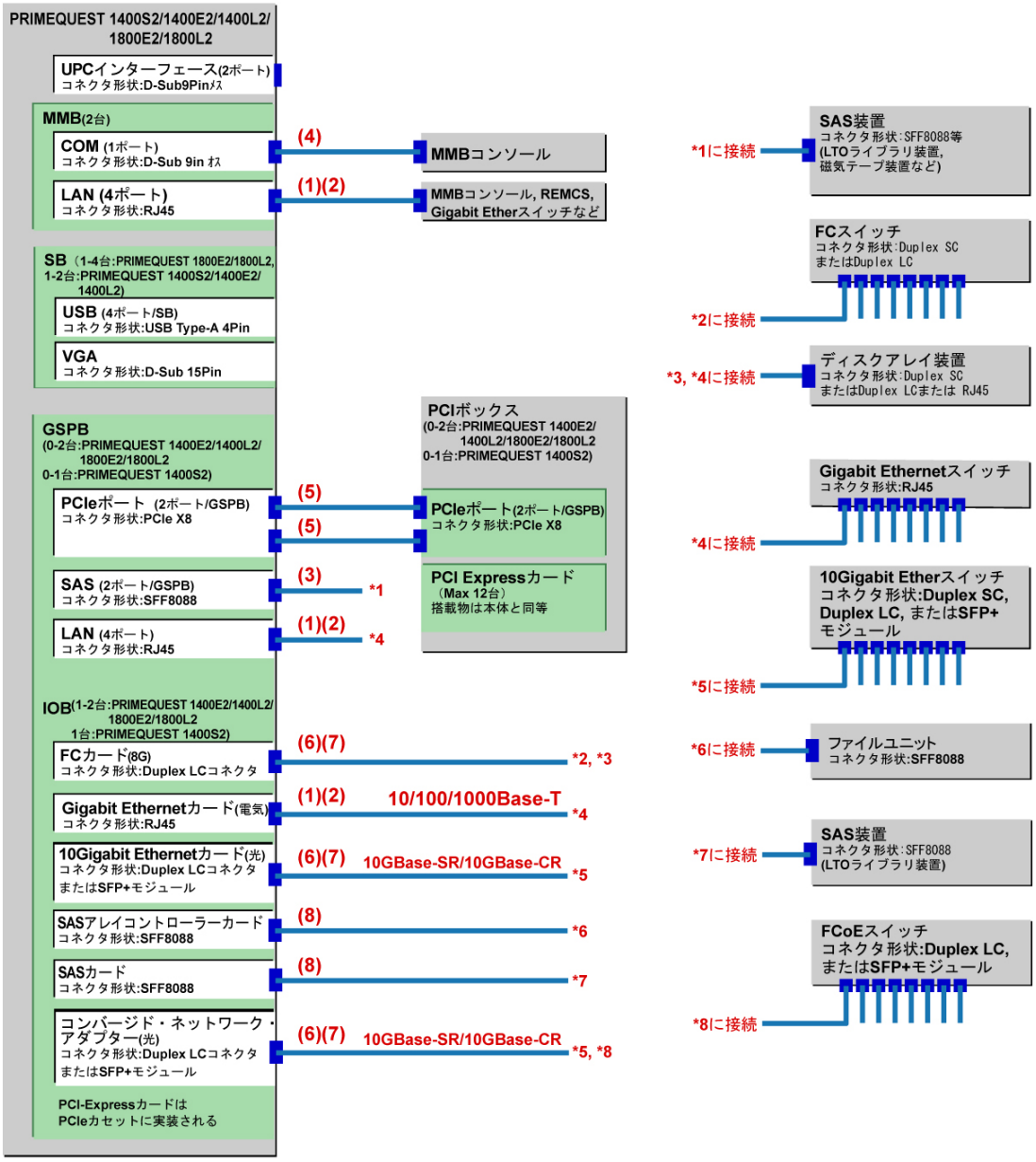


図 2.3 インターフェースケーブル接続図 (基本インターフェースおよび周辺装置) (PRIMEQUEST 1400S2/1400E2/1400L2/1800E2/1800L2)

備考

- ( ) 内の数字は「表 2.3 ケーブル一覧 (基本インターフェースおよび周辺装置) (PRIMEQUEST 1400S2/1400E2/1400L2/1800E2/1800L2) 」のケーブル No.に該当します。
- 10GBASE-CR ケーブルは、接続先スイッチ製品で指定される 10GBASE-CR (TWINAX) ケーブルをご利用ください。

■ケーブル一覧

外部インターフェースケーブルの長さは、筐体内を配線するために必要な余長を考慮して決定してください。

表 2.3 ケーブル一覧 (基本インターフェースおよび周辺装置) (PRIMEQUEST 1400S2/1400E2/1400L2/1800E2/1800L2)

No.	名称	手配型名	販売形態	線長
(1)	ツイストペアケーブル (カテゴリ 5 UTP ケーブル)	TPCBL-B005	別手配：5、10、15、30、50、100m から選択。 100BASE-TX、および 10BASE-T 接続用ケーブル (カテゴリ 5)。 RJ45 8Pin ～ RJ45 8Pin	5m
		TPCBL-B010		10m
		TPCBL-B015		15m
		TPCBL-B030		30m
		TPCBL-B050		50m
		TPCBL-B100		100m
(2)	エンハンスド・カテゴリ 5UTP ケーブル	TPCBL-C005	別手配：5、10、15、30、50、100m から選択。 1000BASE-T、100BASE-TX、および 10BASE-T 接続用ケーブル (カテゴリ 5e)。 RJ45 8Pin ～ RJ45 8Pin	5m
		TPCBL-C010		10m
		TPCBL-C015		15m
		TPCBL-C030		30m
		TPCBL-C050		50m
		TPCBL-C100		100m
(3)	SAS ケーブル	CBL-SASM01	別手配：1.5、3m から選択。 miniSAS (SFF-8088)-miniSAS(SFF-8088) 日本国内向け	1.5m
		CBL-SASM03		3m
		CBL-SASM1U	別手配：1.5、3m から選択。 miniSAS (SFF-8088)-miniSAS(SFF-8088) 海外向け	1.5m
		CBL-SASM3U		3m
(4)	RS232C ケーブル (Dsub9Pin-9Pin、クロスケーブル)	FMV-CBL501		1.5m
(5)	PCI Express ケーブル	PCI ボックスに添付		2m
(6)	マルチモード ファイバーチャネル ケーブル	CBL-MLLB02	別手配：2、5、15m から選択。 Dual LC コネクター - Dual LC コネクター ケーブル被覆なし	2m
		CBL-MLLB05		5m
		CBL-MLLB15		15m
		CBL-MLLC05	別手配：5、10、20、30、40、50m から選択。 Dual LC コネクター - Dual LC コネクター ケーブル被覆あり	5m
		CBL-MLLC10		10m
		CBL-MLLC20		20m
		CBL-MLLC30		30m
		CBL-MLLC40		40m
		CBL-MLLC50		50m
		CBL-MLLD1A	別手配：100m (ケーブル被覆あり) Dual LC コネクター - Dual LC コネクター	100m

No.	名称	手配型名	販売形態	線長
(7)	マルチモード ファイバーチャネル ケーブル	CBL-MLSB02	別手配：2、5、15m から選択。 Dual LC コネクター - Dual SC コネクター ケーブル被覆なし	2m
		CBL-MLSB05		5m
		CBL-MLSB15		15m
		CBL-MLSC05	別手配：5、10、20、30、40、50m から選択。 Dual LC コネクター - Dual SC コネクター ケーブル被覆あり	5m
		CBL-MLSC10		10m
		CBL-MLSC20		20m
		CBL-MLSC30		30m
		CBL-MLSC40		40m
		CBL-MLSC50		50m
		CBL-MLSA1A	別手配：100m (ケーブル被覆あり) Dual LC コネクター - Dual SC コネクター	100m
(8)	SAS ケーブル	PG-CBLA014/ PG-CBLA015/ PG-CBLA016	別手配：2、4、6m から選択。 miniSAS (SFF-8088) - miniSAS (SFF-8088)	2m
				4m
				6m

10GBASE-CR ケーブルは、接続先スイッチ製品で指定される 10GBASE-CR (TWINAX) ケーブルをご利用ください。

2.2.2 基本インターフェースおよび周辺装置 (PRIMEQUEST 1400S/1400E/1400L/1800E/1800L)

PRIMEQUEST 1400S/1400E/1400L/1800E/1800L の基本インターフェースおよび周辺装置のケーブル接続図を「図 2.4 インターフェースケーブル接続図 (基本インターフェースおよび周辺装置) (PRIMEQUEST 1400S/1400E/1400L/1800E/1800L)」に示し、ケーブル一覧を「表 2.4 ケーブル一覧 (基本インターフェースおよび周辺装置) (PRIMEQUEST 1400S/1400E/1400L/1800E/1800L)」に示します。

■ケーブル接続図

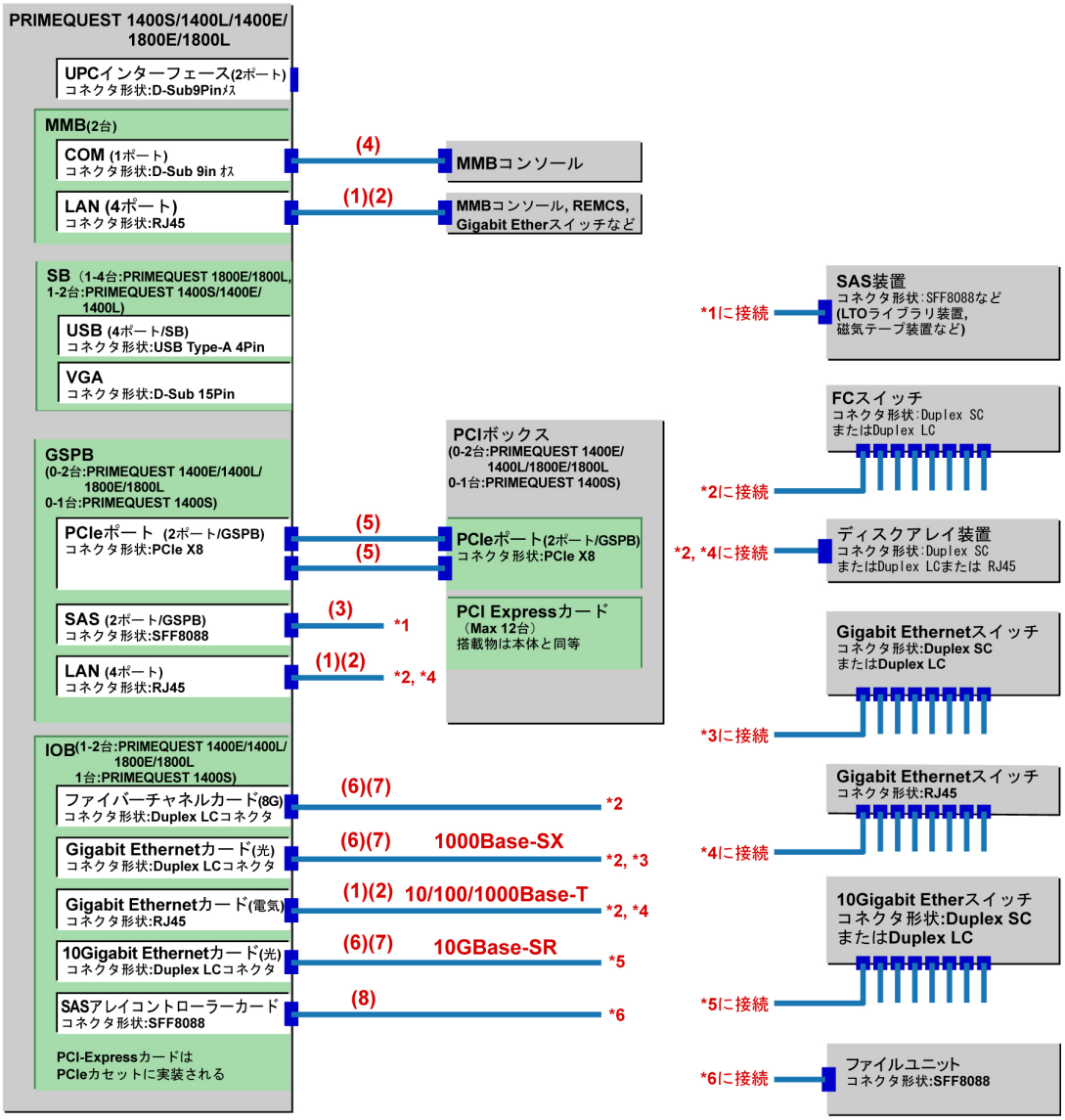


図 2.4 インターフェースケーブル接続図 (基本インターフェースおよび周辺装置) (PRIMEQUEST 1400S/1400E/1400L/1800E/1800L)

備考

( ) 内の数字は「表 2.4 ケーブル一覧 (基本インターフェースおよび周辺装置) (PRIMEQUEST 1400S/1400E/1400L/1800E/1800L)」のケーブル No.に該当します。

■ケーブル一覧

外部インターフェースケーブルの長さは、筐体内を配線するために必要な余長を考慮して決定してください。

表 2.4 ケーブル一覧 (基本インターフェースおよび周辺装置) (PRIMEQUEST 1400S/1400E/1400L/1800E/1800L)

No.	名称	手配型名	販売形態	線長
(1)	ツイストペアケーブル	TPCBL-B005	別手配：5、10、15、30、50、100m から選択。	5m
		TPCBL-B010		10m

No.	名称	手配型名	販売形態	線長
	(カテゴリ 5 UTP ケーブル)	TPCBL-B015	100BASE-TX、および 10BASE-T 接続用ケーブル (カテゴリ 5)。 RJ45 8Pin ～ RJ45 8Pin	15m
		TPCBL-B030		30m
		TPCBL-B050		50m
		TPCBL-B100		100m
(2)	エンハンスド・カテゴリ 5UTP ケーブル	TPCBL-C005	別手配：5、10、15、30、50、100m から選択。 1000BASE-T、100BASE-TX、および 10BASE-T 接続用ケーブル (カテゴリ 5e)。 RJ45 8Pin ～ RJ45 8Pin	5m
		TPCBL-C010		10m
		TPCBL-C015		15m
		TPCBL-C030		30m
		TPCBL-C050		50m
		TPCBL-C100		100m
(3)	SAS ケーブル	CBL-SASM01	別手配：1.5、3m から選択。 miniSAS (SFF-8088)-miniSAS(SFF-8088) 日本国内向け	1.5m
		CBL-SASM03		3m
		CBL-SASM1U	別手配：1.5、3m から選択。 miniSAS (SFF-8088)-miniSAS(SFF-8088) 海外向け	1.5m
		CBL-SASM3U		3m
(4)	RS232C ケーブル (Dsub9Pin-9Pin、クロスケーブル)	FMV-CBL501		1.5m
(5)	PCI Express ケーブル	PCI ボックスに添付		2m
(6)	マルチモード ファイバーチャネル ケーブル	CBL-MLLB02	別手配：2、5、15m から選択。 Dual LC コネクター - Dual LC コネクター ケーブル被覆なし	2m
		CBL-MLLB05		5m
		CBL-MLLB15		15m
		CBL-MLLC05	別手配：5、10、20、30、40、50m から選択。 Dual LC コネクター - Dual LC コネクター ケーブル被覆あり	5m
		CBL-MLLC10		10m
		CBL-MLLC20		20m
		CBL-MLLC30		30m
		CBL-MLLC40		40m
		CBL-MLLC50		50m
		CBL-MLLD1A	別手配：100m (ケーブル被覆あり) Dual LC コネクター - Dual LC コネクター	100m
(7)	マルチモード ファイバーチャネル ケーブル	CBL-MLSB02	別手配：2、5、15m から選択。 Dual LC コネクター - Dual SC コネクター ケーブル被覆なし	2m
		CBL-MLSB05		5m
		CBL-MLSB15		15m

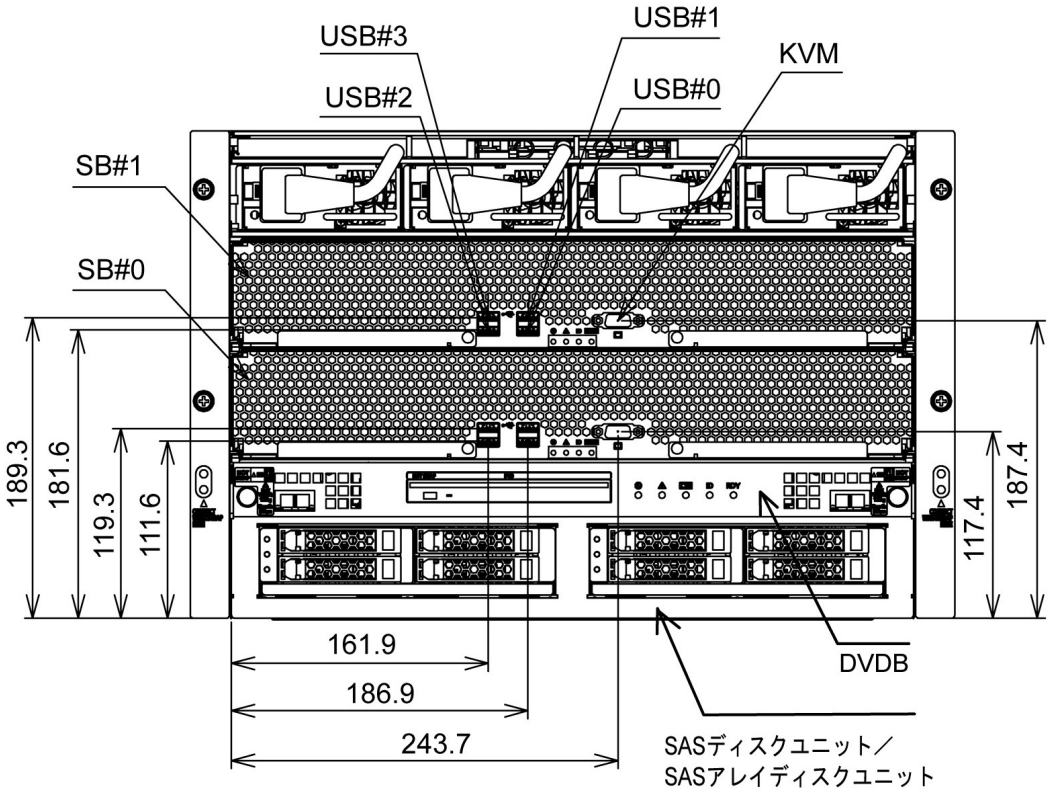
No.	名称	手配型名	販売形態	線長
		CBL-MLSC05	別手配：5、10、20、30、40、50m から選択。 Dual LC コネクター - Dual SC コネクター ケーブル被覆あり	5m
		CBL-MLSC10		10m
		CBL-MLSC20		20m
		CBL-MLSC30		30m
		CBL-MLSC40		40m
		CBL-MLSC50		50m
		CBL-MLSA1A	別手配：100m (ケーブル被覆あり) Dual LC コネクター - Dual SC コネクター	100m
(8)	SAS ケーブル	PG-CBLA014/ PG-CBLA015/ PG-CBLA016	別手配：2、4、6m から選択。 miniSAS (SFF-8088) - miniSAS (SFF-8088)	2m
				4m
				6m

2.2.3 外部インターフェース接続部の詳細

PRIMEQUEST 1000 シリーズの外部インターフェース接続部の搭載位置を以下に示します。接続ケーブルの長さを算出するときの余長は、この搭載位置を考慮して算出してください。

■外部インターフェース接続部 (PRIMEQUEST 1400S2/1400S 本体装置内)
■外部インターフェース接続部 (PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1800E2/1800L2/1400E/1400L/1800E/1800L 本体装置内)
■外部インターフェース詳細 (MMB)
■外部インターフェース詳細 (IOB)
■外部インターフェース詳細 (GSPB)
■外部インターフェース詳細 (PCI ボックス)

■外部インターフェース接続部 (PRIMEQUEST 1400S2/1400S 本体装置内)



単位：mm

図 2.5 PRIMEQUEST 1400S2/1400S 本体装置内の外部インターフェース接続図 (前面)

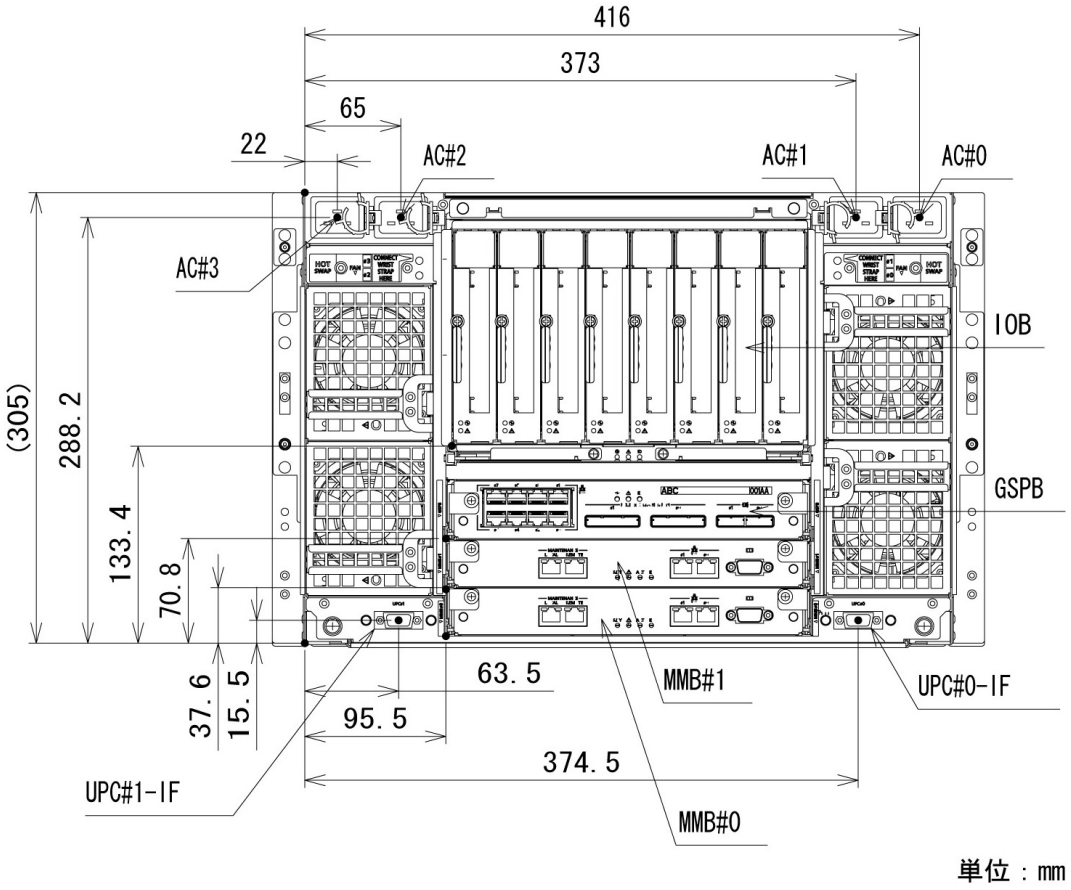


図 2.6 PRIMEQUEST 1400S2/1400S 本体装置内の外部インターフェース接続部 (背面)

■外部インターフェース接続部 (PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1800E2/1800L2/1400E/1400L/1800E/1800L 本体装置内)

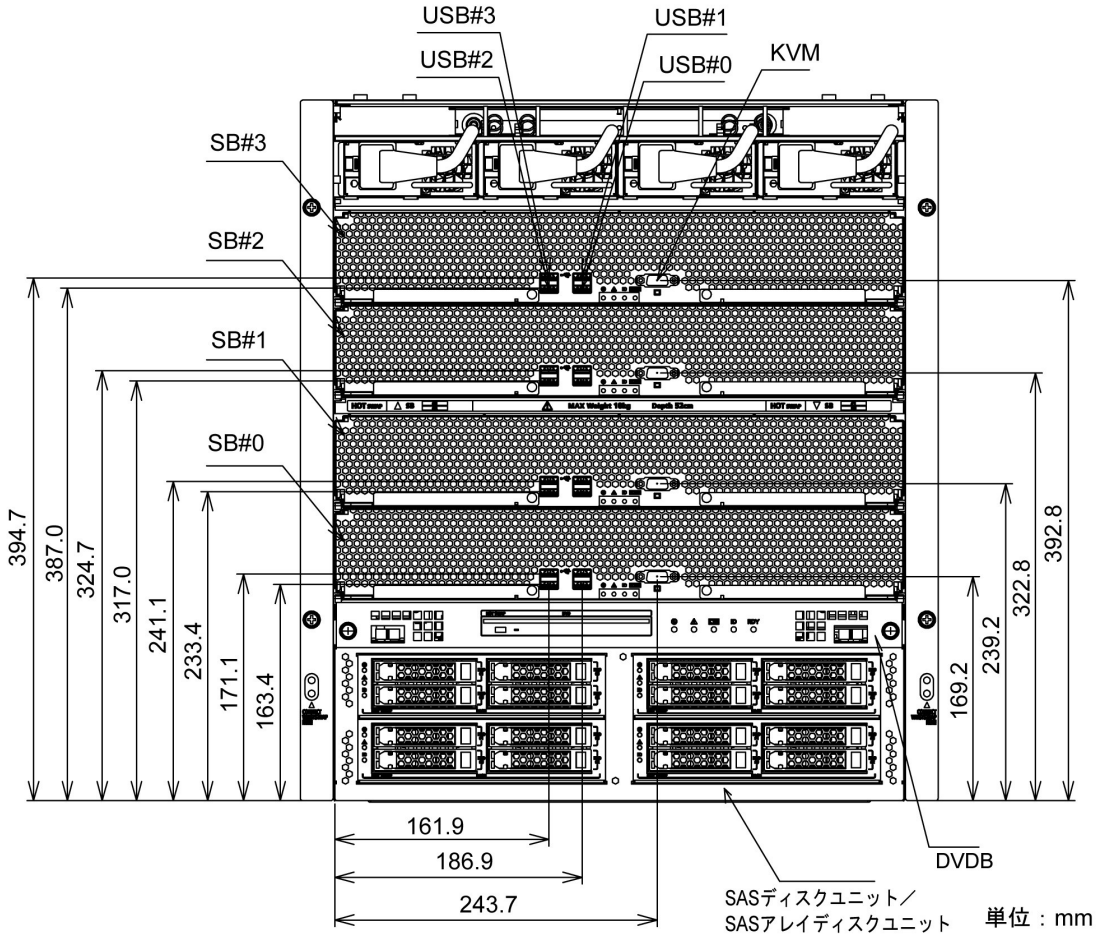


図 2.7 PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1800E2/1800L2/1400E/1400L/1800E/1800L 本体装置内の外部インターフェース接続図 (前面)

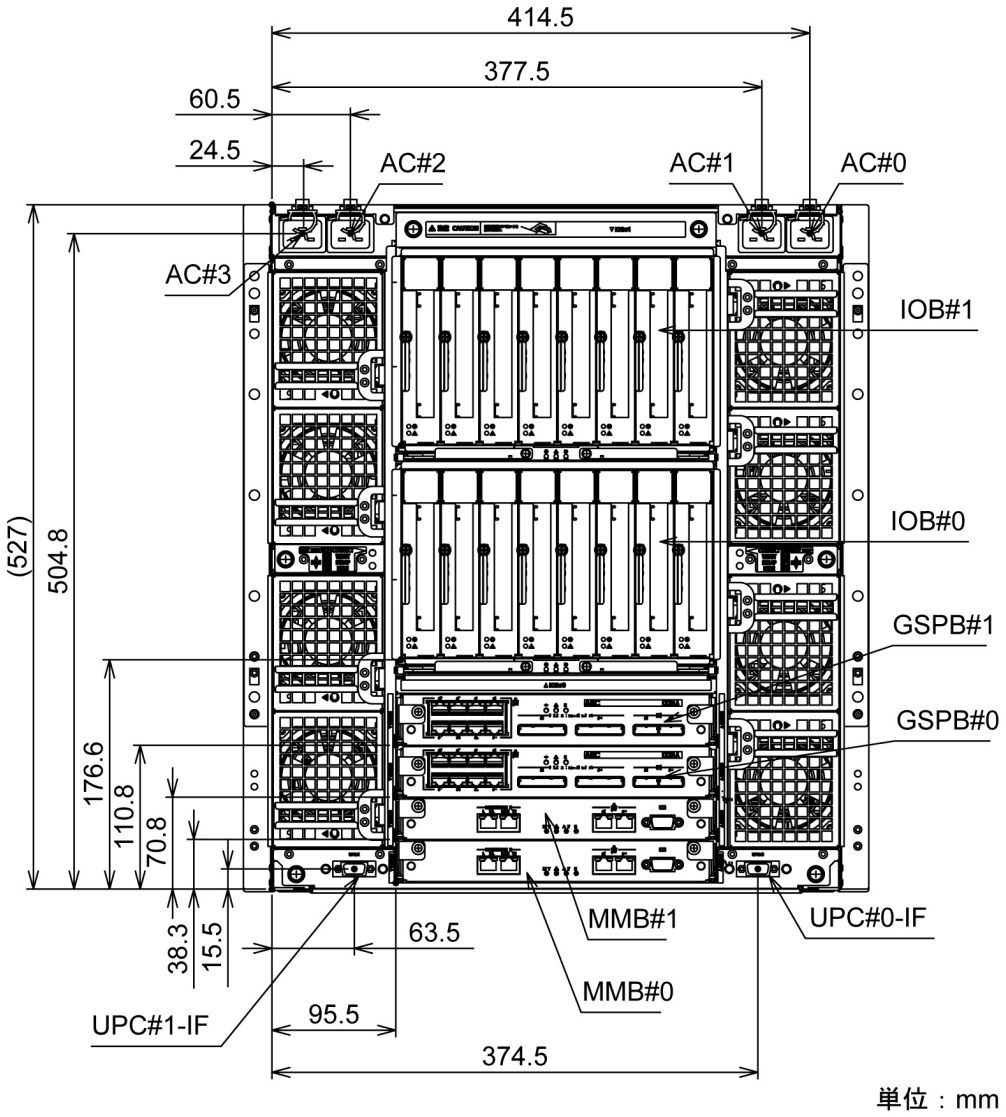


図 2.8 PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1800E2/1800L2/1400E/1400L/1800E/1800L 本体装置内の外部インターフェース接続部 (背面)

■外部インターフェース詳細 (MMB)

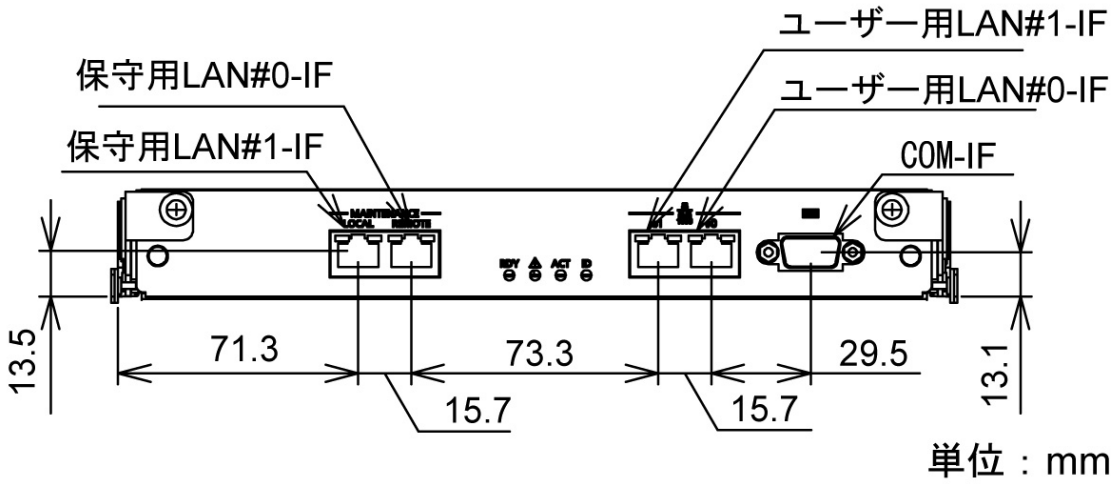


図 2.9 MMB の外部インターフェース詳細

■外部インターフェース詳細 (IOB)

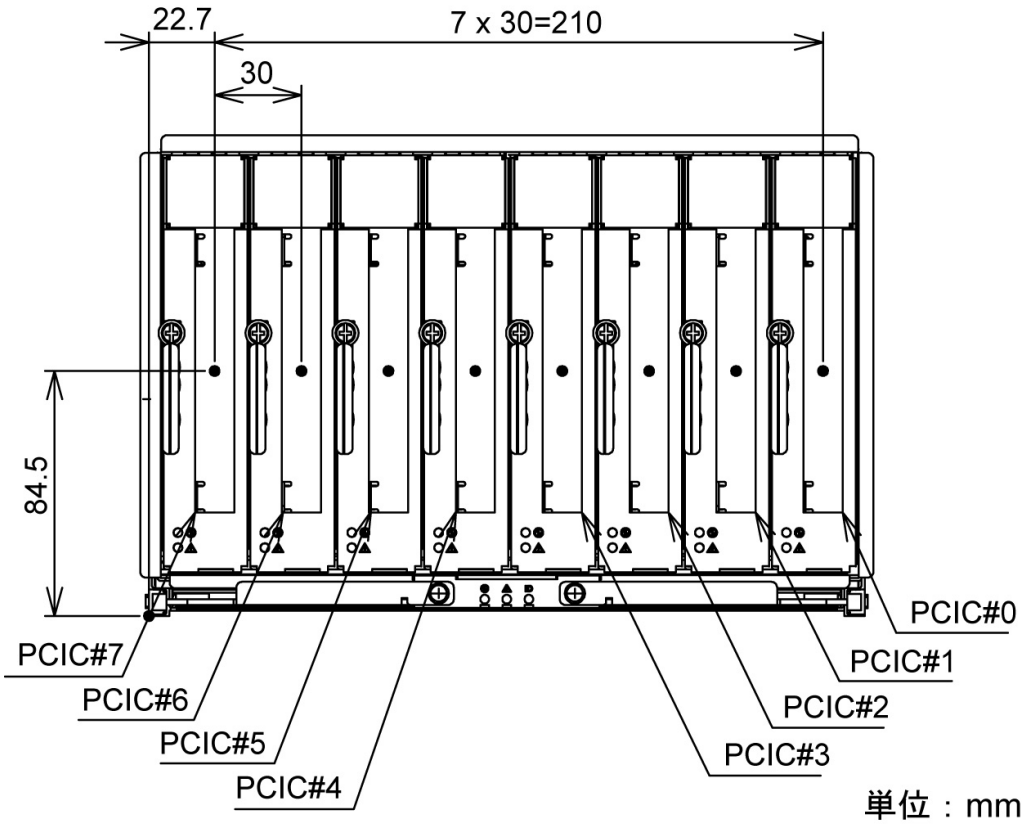


図 2.10 IOB の外部インターフェース詳細

■外部インターフェース詳細 (GSPB)

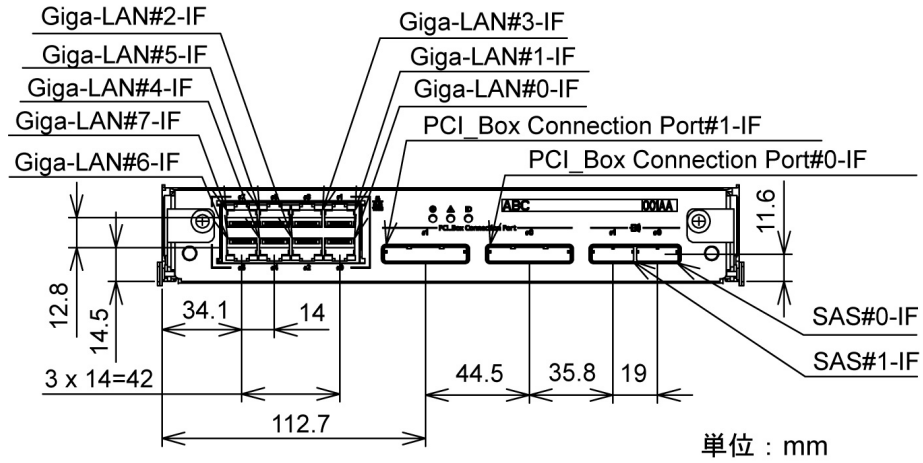
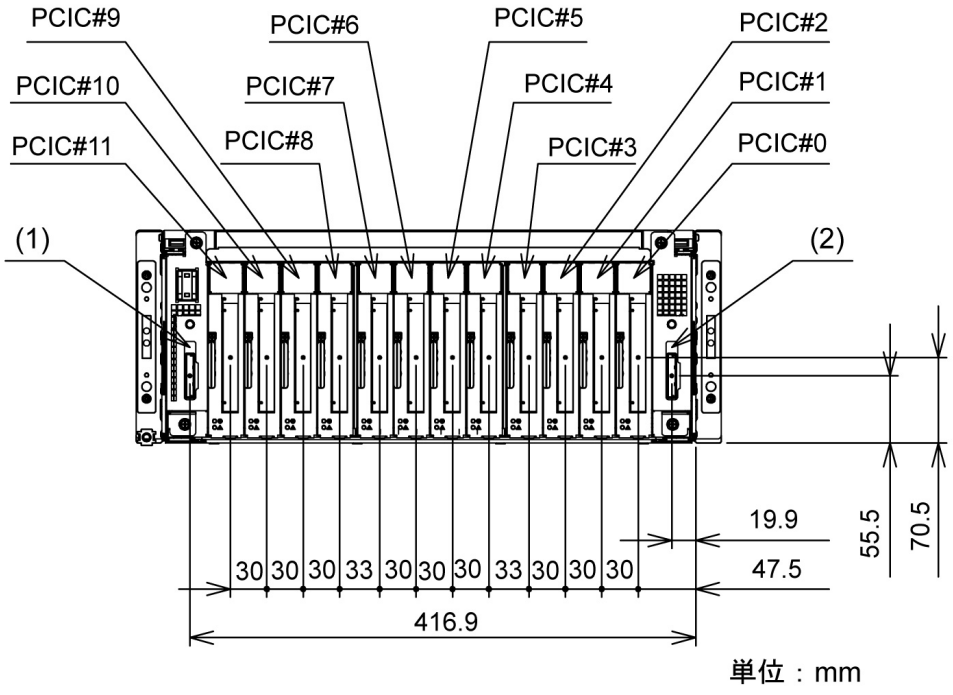


図 2.11 GSPB の外部インターフェース詳細

■外部インターフェース詳細 (PCI ボックス)



番号	説 明
(1)	PCI Express インターフェース #1
(2)	PCI Express インターフェース #0

図 2.12 PCI ボックスの外部インターフェース詳細

2.3 電源ケーブルの接続

ここでは、PRIMEQUEST 1000 シリーズ本体および PCI ボックスの入力電源系統図を示します。

- 2.3.1 電源ケーブルの接続 (PRIMEQUEST 1400S2/1400S)
- 2.3.2 電源ケーブルの接続 (PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1400E/1400L)
- 2.3.3 電源ケーブルの接続 (PRIMEQUEST 1800E2/1800L2/1800E/1800L)
- 2.3.4 電源ケーブルの接続 (PCI ボックス)

2.3.1 電源ケーブルの接続 (PRIMEQUEST 1400S2/1400S)

PRIMEQUEST 1400S2/1400S の入力電源系統図を、以下に示します。

■日本国内向け 200V 標準構成の場合 (一系統受電、冗長なし)
■日本国内向け 200V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)
■日本国内向け 200V 二系統受電構成の場合
■日本国内向け 100V 構成の場合 (一系統受電、冗長なし)
■日本国内向け 100V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)
■一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 標準構成の場合 (一系統受電、冗長なし)
■一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)
■一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 二系統受電構成の場合
■一般海外向け 100 ～ 120V 構成の場合 (一系統受電、冗長なし)
■一般海外向け 100 ～ 120V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)

■日本国内向け 200V 標準構成の場合 (一系統受電、冗長なし)

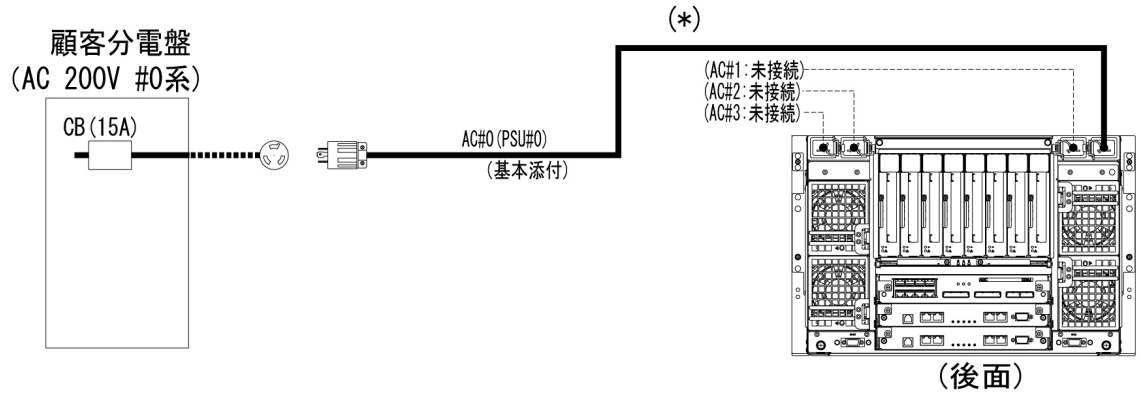


図 2.13 日本国内向け 200V 標準構成の場合 (一系統受電、冗長なし)

＊： 電源ケーブル (AC#0) と PSU (PSU #0) は 1:1 で接続されています。

■日本国内向け 200V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)

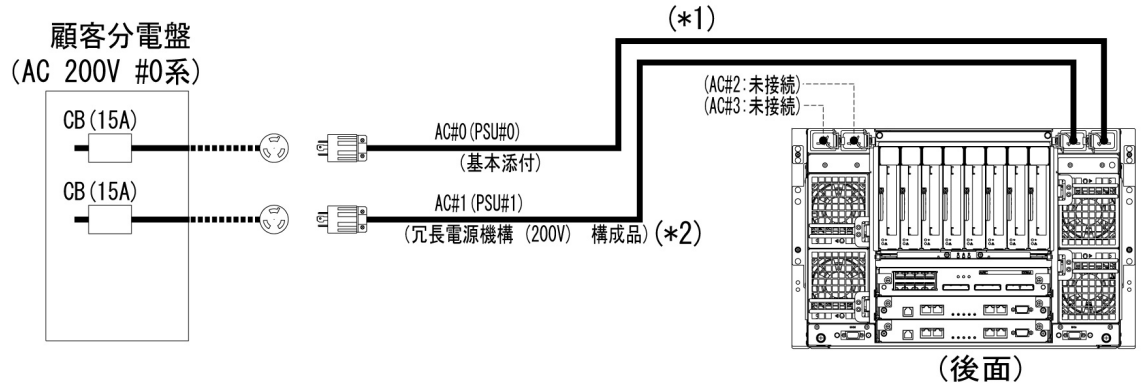


図 2.14 日本国内向け 200V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)

*1： 電源ケーブル (AC#0 ～ AC#1) と PSU (PSU #0 ～ PSU#1) は 1:1 で接続されています。

*2： 本電源構成に変更するには、冗長電源機構 (200V) の手配が必要です。

■日本国内向け 200V 二系統受電構成の場合

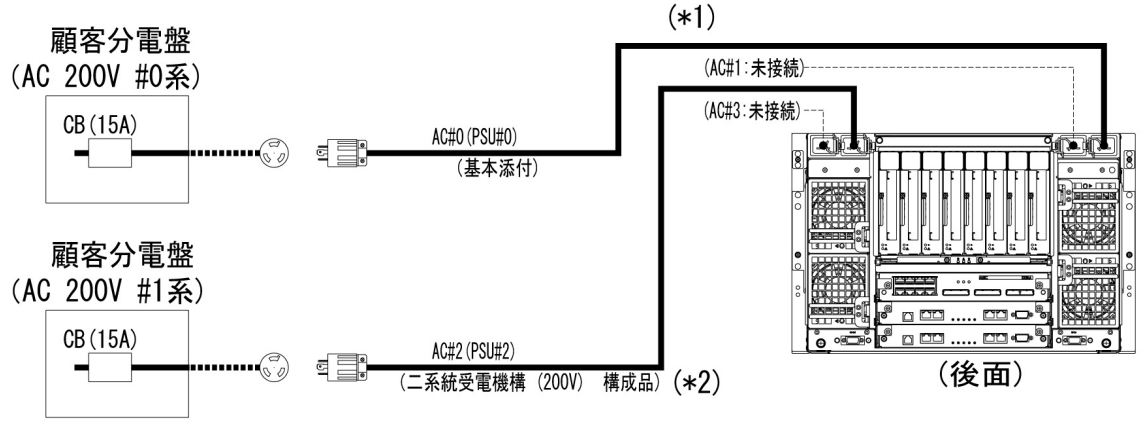


図 2.15 日本国内向け 200V 二系統受電構成の場合

*1： 電源ケーブル (AC#0、AC#2) と PSU (PSU #0、PSU#2) は 1:1 で接続されています。

*2： 本電源構成に変更するには、二系統受電機構 (200V) の手配が必要です。

■日本国内向け 100V 構成の場合 (一系統受電、冗長なし)

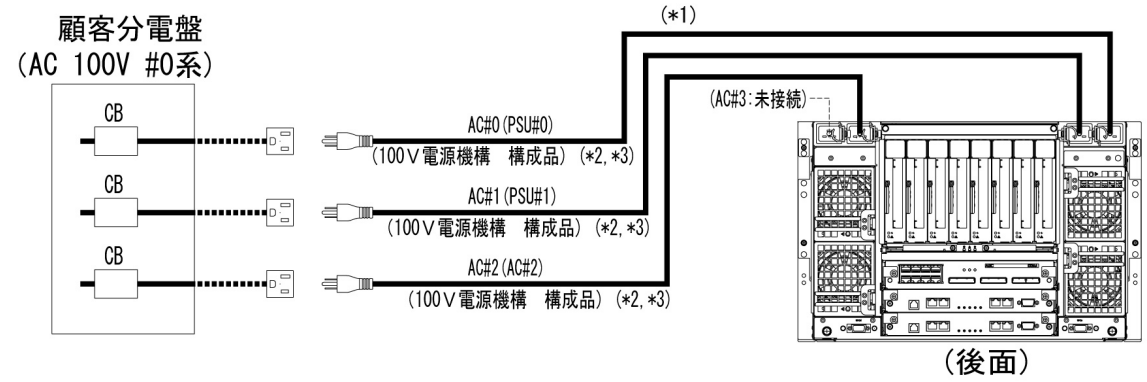


図 2.16 日本国内向け 100V 構成の場合 (一系統受電、冗長なし)

*1： 電源ケーブル (AC#0 ～ AC#2) と PSU (PSU #0 ～ PSU#2) は 1:1 で接続されています。

*2： 本電源構成に変更するには、100V 電源機構の手配が必要です。

*3： 装置基本添付の電源ケーブルは使用せず、100V 電源機構に含まれる電源ケーブルを使用します。

■日本国内向け 100V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)

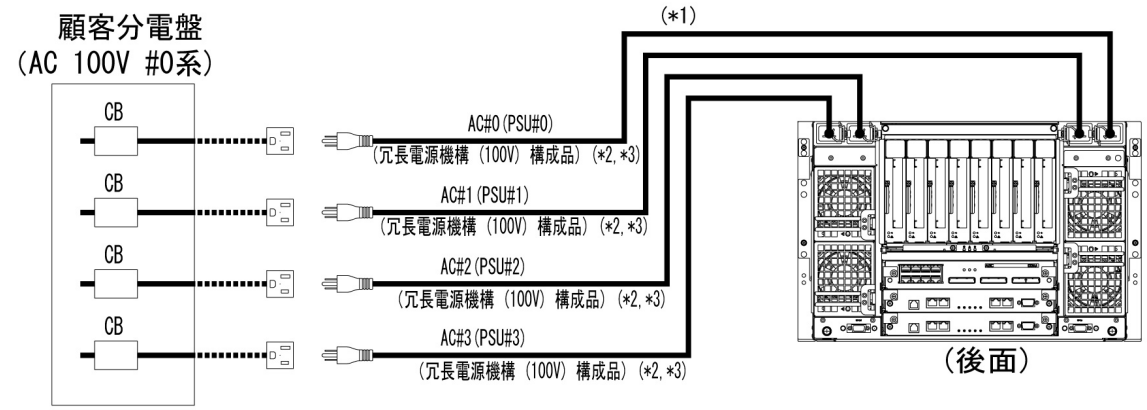


図 2.17 日本国内向け 100V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)

*1： 電源ケーブル (AC#0 ～ AC#3) と PSU (PSU #0 ～ PSU#3) は 1:1 で接続されています。

*2： 本電源構成に変更するには、冗長電源機構 (100V) の手配が必要です。

*3： 装置基本添付の電源ケーブルは使用せず、冗長電源機構 (100V) に含まれる電源ケーブルを使用します。

■一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 標準構成の場合 (一系統受電、冗長なし)

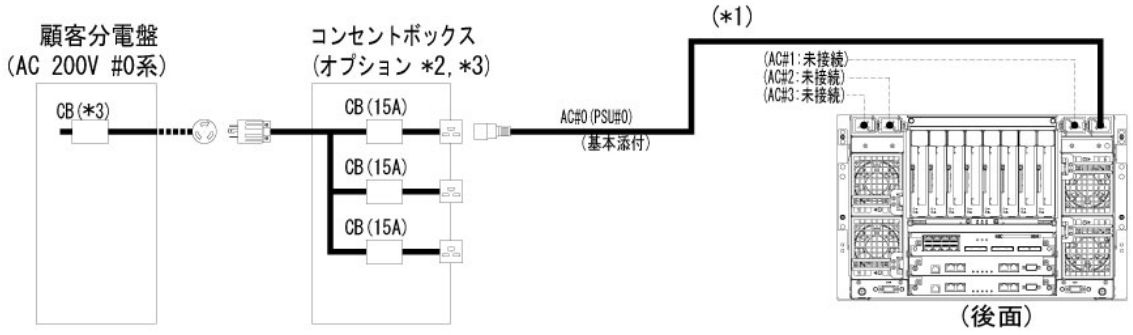


図 2.18 一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 標準構成の場合 (一系統受電、冗長なし)

*1： 電源ケーブル (AC#0) と PSU (PSU #0) は 1:1 で接続されています。

*2： コンセントボックスを別途準備する必要があります。

*3： コンセントボックスを使用する場合、顧客分電盤のブレーカ特性 (「2.6 顧客分電盤の遮断特性 (コンセントボックス接続時のみ)」を参照)を守る必要があります。

■一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)

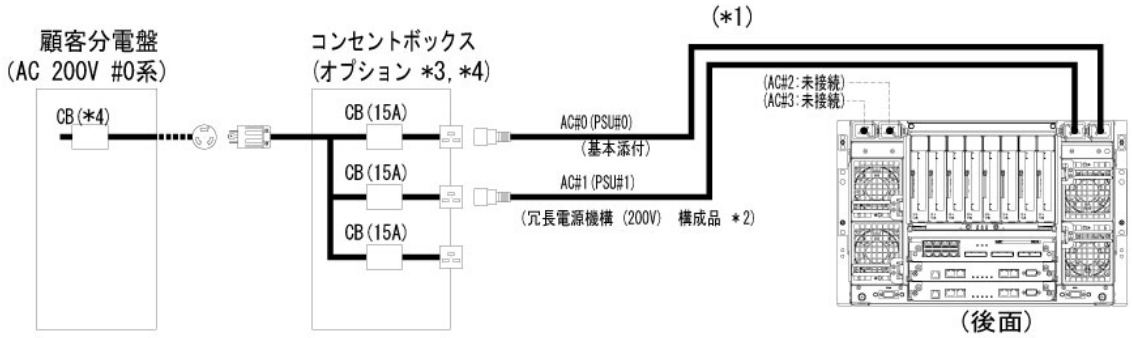


図 2.19 一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)

*1： 電源ケーブル (AC#0 ～ AC#1) と PSU (PSU #0 ～ PSU#1) は 1:1 で接続されています。

*2： 本電源構成に変更するには、冗長電源機構 (200V) の手配が必要です。

*3： コンセントボックスを別途準備する必要があります。

*4： コンセントボックスを使用する場合、顧客分電盤のブレーカ特性 (「2.6 顧客分電盤の遮断特性 (コンセントボックス接続時のみ)」を参照)を守る必要があります。

■一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 二系統受電構成の場合

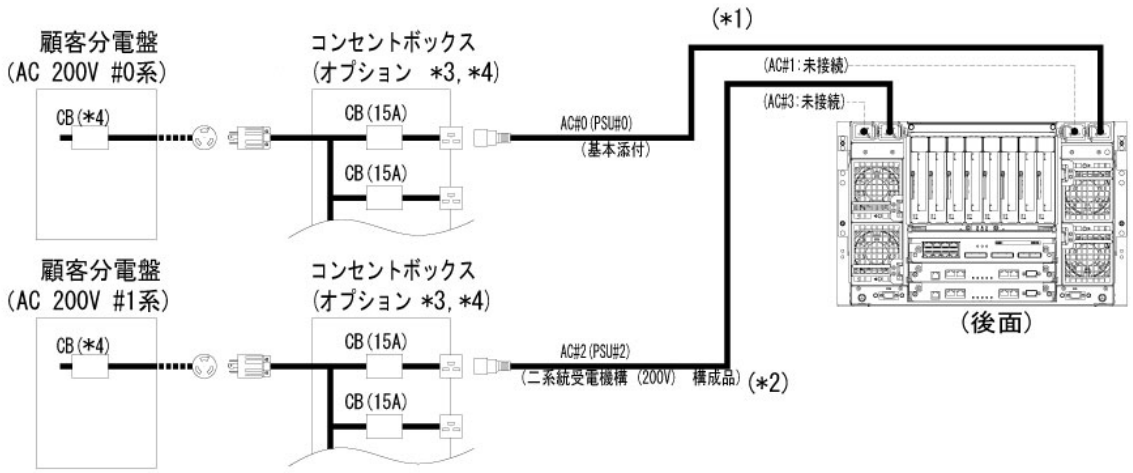


図 2.20 一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 二系統受電構成の場合

*1： 電源ケーブル (AC#0、AC#2) と PSU (PSU #0、PSU#2) は 1:1 で接続されています。

*2： 本電源構成に変更するには、二系統受電機構 (200V)の手配が必要です。

*3： コンセントボックスを別途準備する必要があります。

*4： コンセントボックスを使用する場合、顧客分電盤のブレーカ特性 (「2.6 顧客分電盤の遮断特性 (コンセントボックス接続時のみ)」を参照)を守る必要があります。

■一般海外向け 100 ～ 120V 構成の場合 (一系統受電、冗長なし)

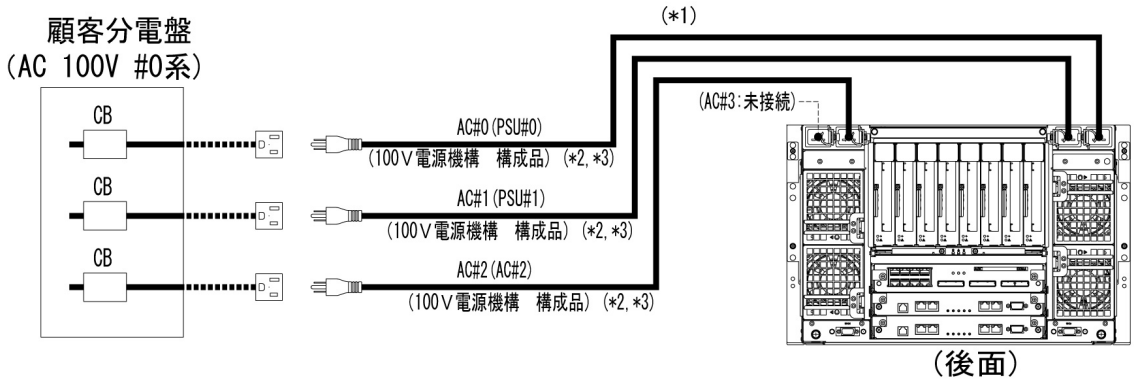


図 2.21 一般海外向け 100 ～ 120V 構成の場合 (一系統受電、冗長なし)

*1： 電源ケーブル (AC#0 ～ AC#2) と PSU (PSU #0 ～ PSU#2) は 1:1 で接続されています。

*2： 本電源構成に変更するには、100V 電源機構の手配が必要です。

*3： 装置基本添付の電源ケーブルは使用せず、100V 電源機構に含まれる電源ケーブルを使用します。

■一般海外向け 100 ～ 120V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)

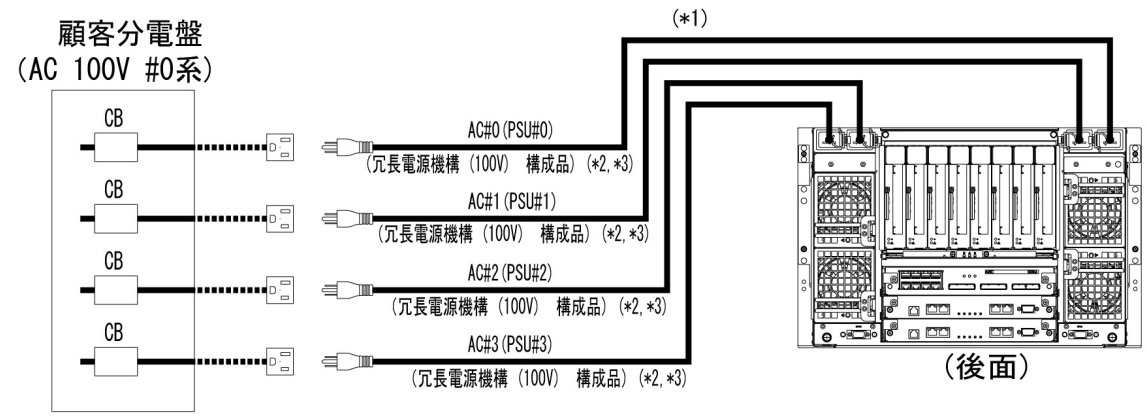


図 2.22 一般海外向け 100 ～ 120V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)

*1： 電源ケーブル (AC#0 ～ AC#3) と PSU (PSU #0 ～ PSU#3) は 1:1 で接続されています。

*2： 本電源構成に変更するには、冗長電源機構 (100V) の手配が必要です。

*3： 装置基本添付の電源ケーブルは使用せず、冗長電源機構 (100V) に含まれる電源ケーブルを使用します。

2.3.2 電源ケーブルの接続 (PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1400E/1400L)

PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1400E/1400L の入力電源系統図を、以下に示します。

■日本国内向け 200V 標準構成の場合 (一系統受電、冗長なし)
■日本国内向け 200V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)
■日本国内向け 200V 二系統受電構成の場合
■日本国内向け 100V 構成の場合 (一系統受電、冗長なし)
■日本国内向け 100V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)
■一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 標準構成の場合 (一系統受電、冗長なし)
■一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)
■一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 二系統受電構成の場合
■一般海外向け 100 ～ 120V 構成の場合 (一系統受電、冗長なし)
■一般海外向け 100 ～ 120V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)

■日本国内向け 200V 標準構成の場合 (一系統受電、冗長なし)

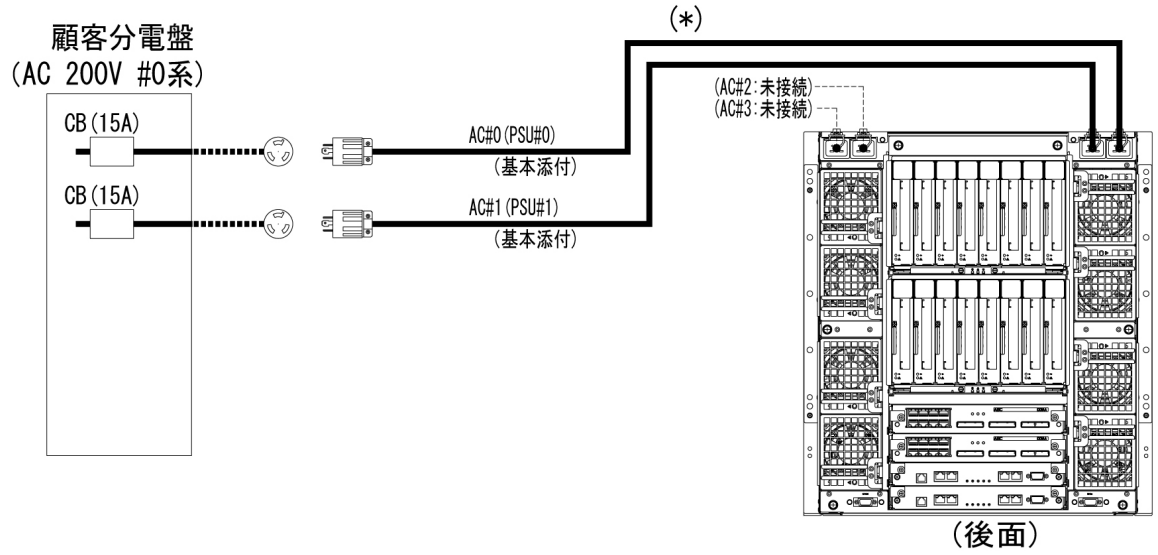


図 2.23 日本国内向け 200V 標準構成の場合 (一系統受電、冗長なし)

*： 電源ケーブル (AC#0 ～ AC#1) と PSU (PSU #0 ～ PSU#1) は 1:1 で接続されています。

日本国内向け 200V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)

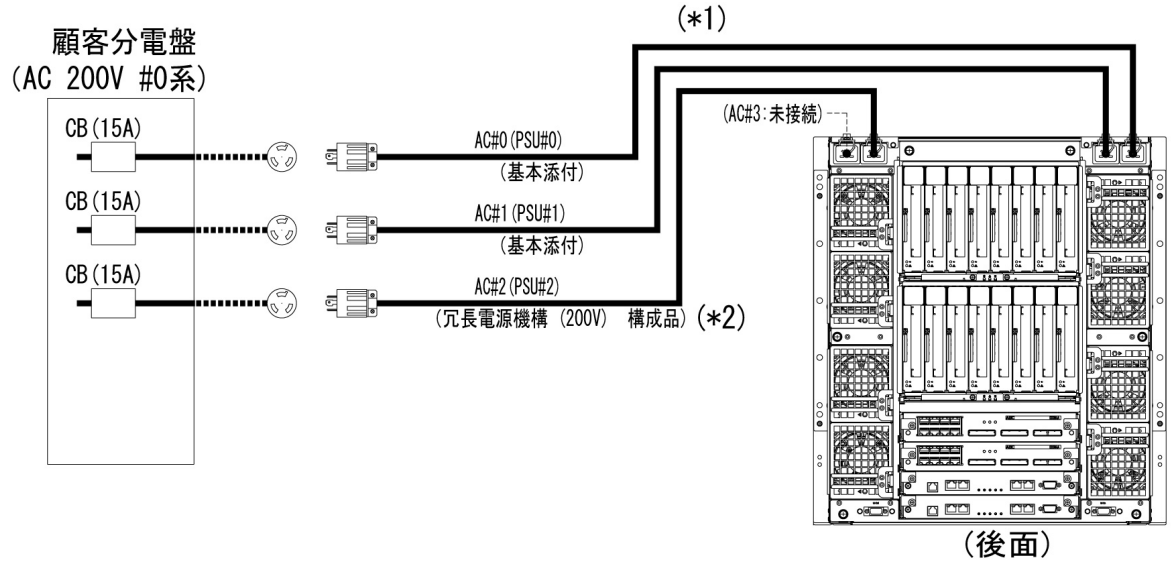


図 2.24 日本国内向け 200V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)

*1： 電源ケーブル (AC#0 ～ AC#2) と PSU (PSU #0 ～ PSU#2) は 1:1 で接続されています。

*2： 本電源構成に変更するには、冗長電源機構 (200V) の手配が必要です。

■日本国内向け 200V 二系統受電構成の場合

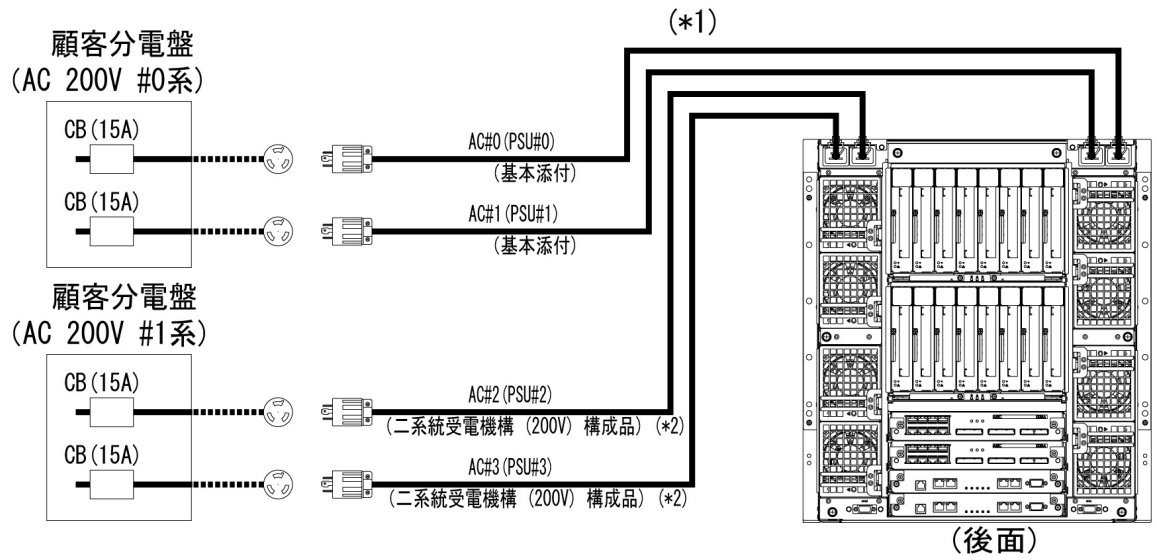


図 2.25 日本国内向け 200V 二系統受電構成の場合

*1： 電源ケーブル (AC#0 ～ AC#3) と PSU (PSU #0 ～ PSU#3) は 1:1 で接続されています。

*2： 本電源構成に変更するには、二系統受電機構 (200V) の手配が必要です。

■日本国内向け 100V 構成の場合 (一系統受電、冗長なし)

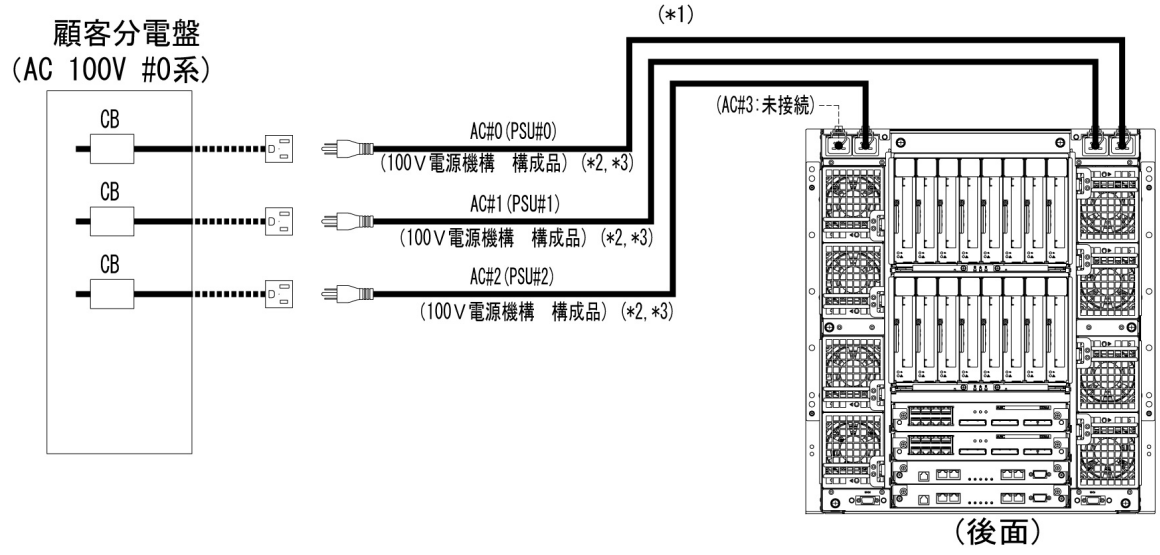


図 2.26 日本国内向け 100V 構成の場合 (一系統受電、冗長なし)

*1： 電源ケーブル (AC#0 ～ AC#2) と PSU (PSU #0 ～ PSU#2) は 1:1 で接続されています。

*2： 本電源構成に変更するには、100V 電源機構の手配が必要です。

*3： 装置基本添付の電源ケーブルは使用せず、100V 電源機構に含まれる電源ケーブルを使用します。

■日本国内向け 100V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)

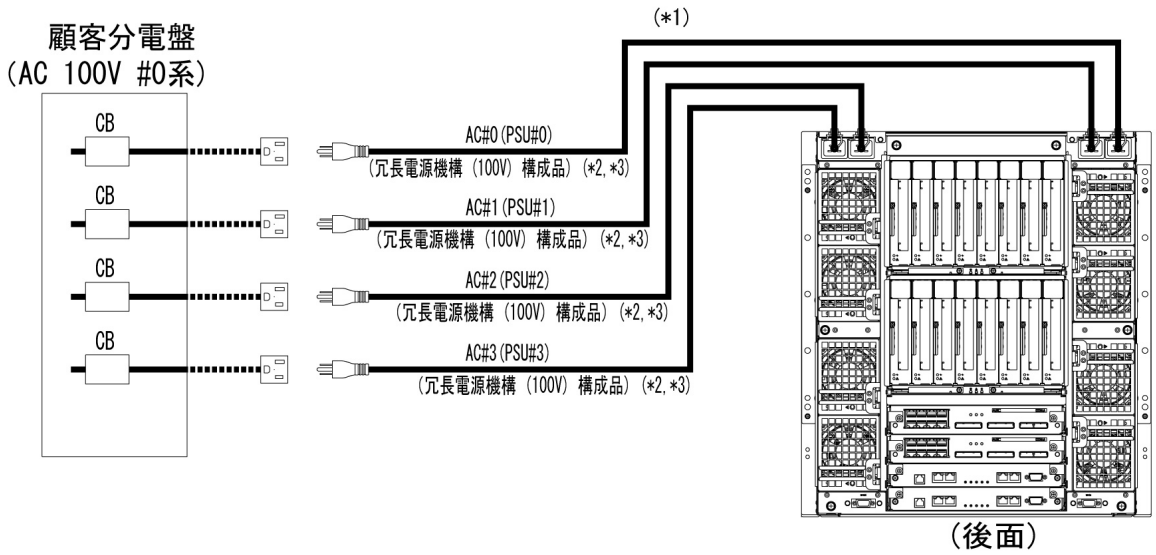


図 2.27 日本国内向け 100V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)

*1： 電源ケーブル (AC#0 ～ AC#3) と PSU (PSU #0 ～ PSU#3) は 1:1 で接続されています。

*2： 本電源構成に変更するには、冗長電源機構 (100V) の手配が必要です。

*3： 装置基本添付の電源ケーブルは使用せず、冗長電源機構 (100V) に含まれる電源ケーブルを使用します。

■一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 標準構成の場合 (一系統受電、冗長なし)

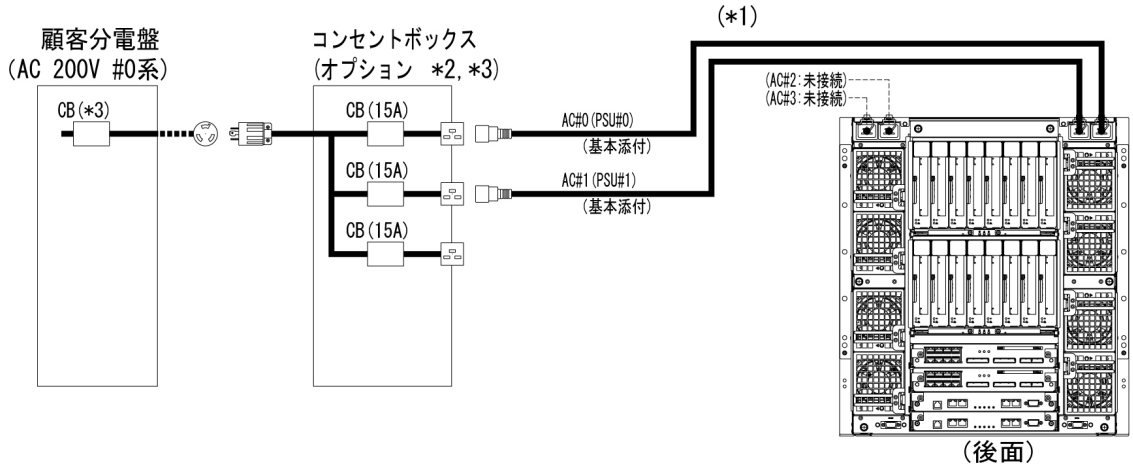


図 2.28 一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 標準構成の場合 (一系統受電、冗長なし)

*1： 電源ケーブル (AC#0 ～ AC#1) と PSU (PSU #0 ～ PSU#1) は 1:1 で接続されています。

*2： コンセントボックスを別途準備する必要があります。

*3： コンセントボックスを使用する場合、顧客分電盤のブレーカ特性 (「2.6 顧客分電盤の遮断特性 (コンセントボックス接続時のみ)」を参照)を守る必要があります。

■一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)

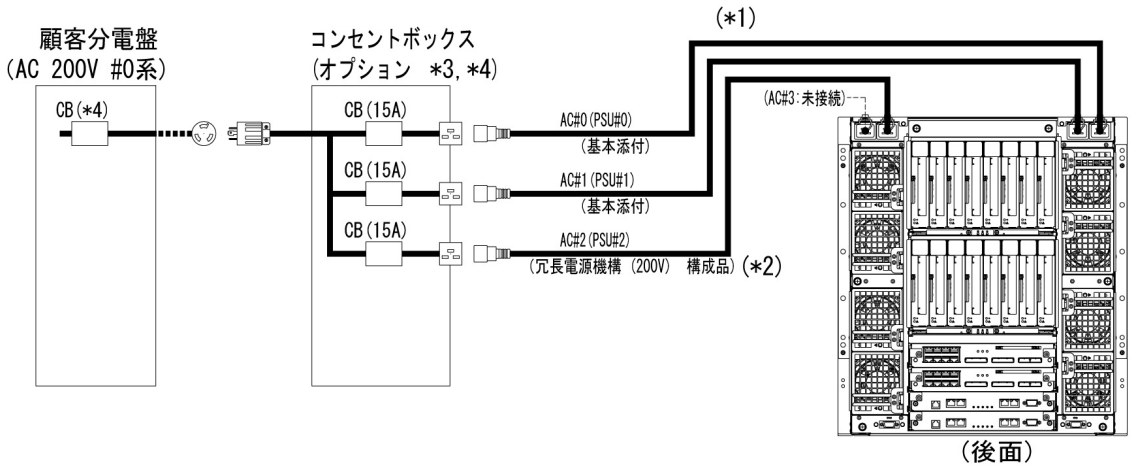


図 2.29 一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)

*1： 電源ケーブル (AC#0 ～ AC#2) と PSU (PSU #0 ～ PSU#2) は 1:1 で接続されています。

*2： 本電源構成に変更するには、冗長電源機構 (200V) の手配が必要です。

*3： コンセントボックスを別途準備する必要があります。

*4： コンセントボックスを使用する場合、顧客分電盤のブレーカ特性 (「2.6 顧客分電盤の遮断特性 (コンセントボックス接続時のみ)」を参照)を守る必要があります。

■一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 二系統受電構成の場合

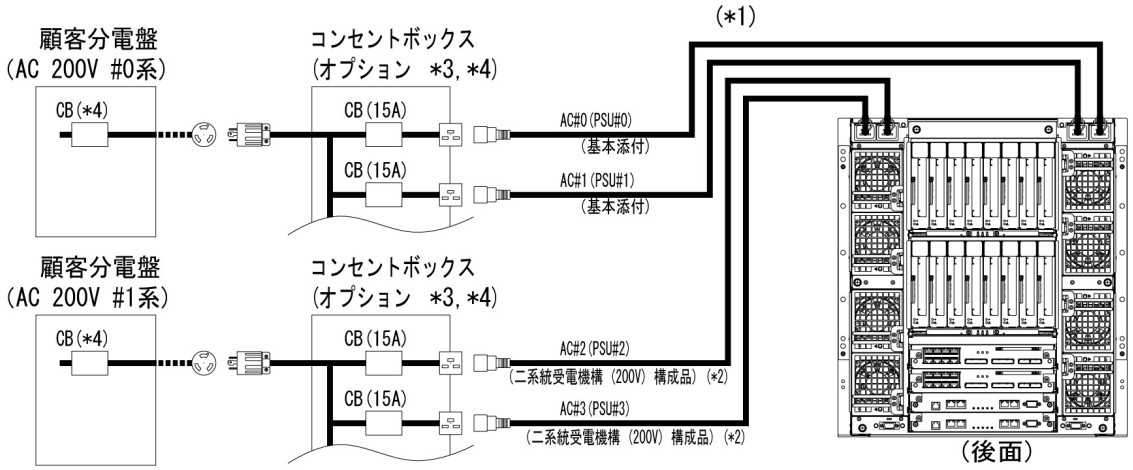


図 2.30 一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 二系統受電構成の場合

*1： 電源ケーブル (AC#0 ～ AC#3) と PSU (PSU #0 ～ PSU#3) は 1:1 で接続されています。

*2： 本電源構成に変更するには、二系統受電機構 (200V) の手配が必要です。

*3： コンセントボックスを別途準備する必要があります。

*4： コンセントボックスを使用する場合、顧客分電盤のブレーカ特性 (「2.6 顧客分電盤の遮断特性 (コンセントボックス接続時のみ)」を参照)を守る必要があります。

■一般海外向け 100 ～ 120V 構成の場合 (一系統受電、冗長なし)

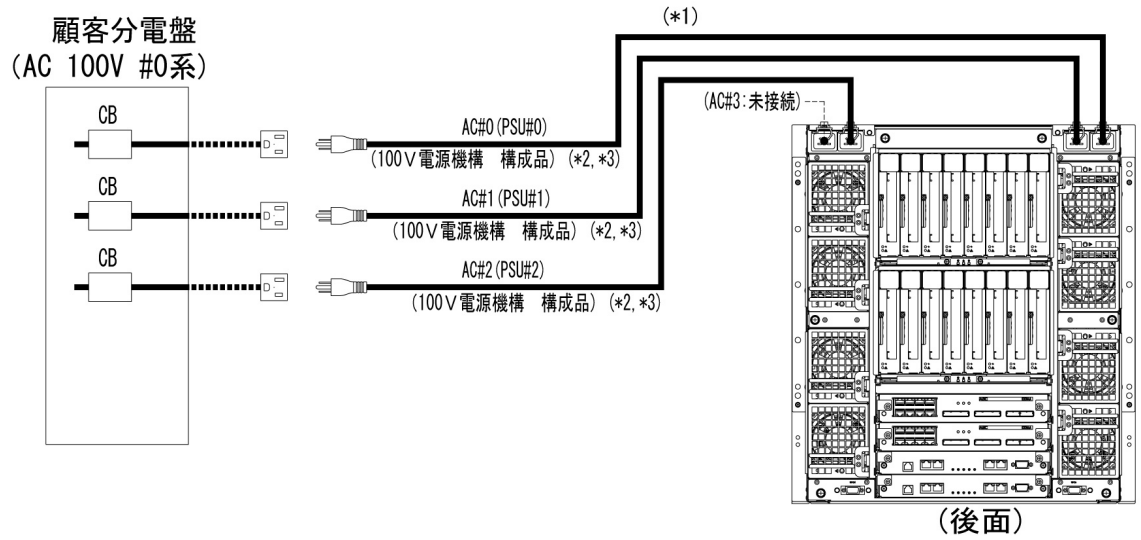


図 2.31 一般海外向け 100 ～ 120V 構成の場合 (一系統受電、冗長なし)

*1： 電源ケーブル (AC#0 ～ AC#2) と PSU (PSU #0 ～ PSU#2) は 1:1 で接続されています。

*2： 本電源構成に変更するには、100V 電源機構の手配が必要です。

*3： 装置基本添付の電源ケーブルは使用せず、100V 電源機構に含まれる電源ケーブルを使用します。

■一般海外向け 100 ～ 120V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)

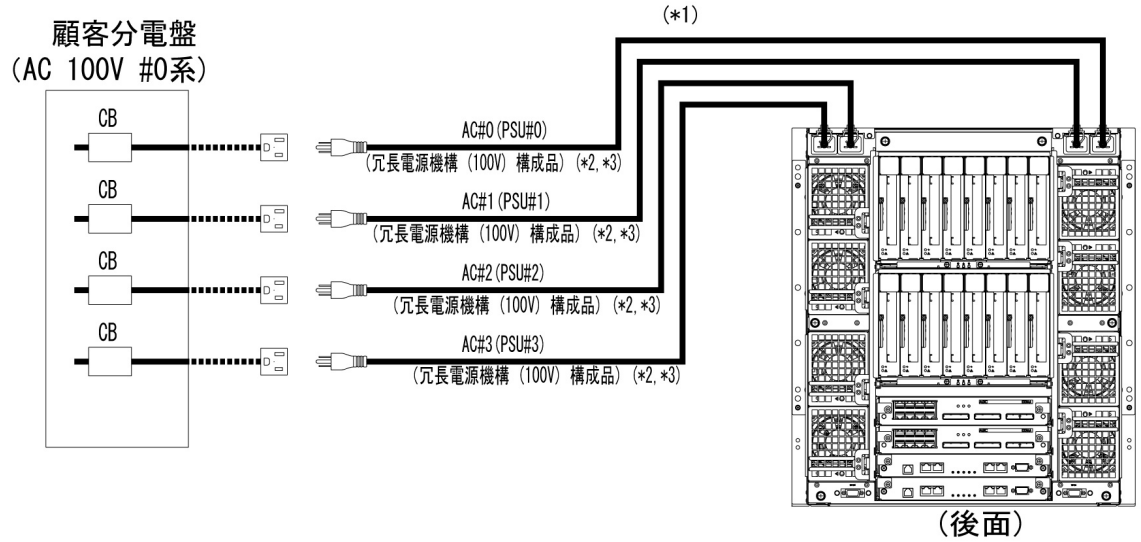


図 2.32 一般海外向け 100 ～ 120V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)

*1： 電源ケーブル (AC#0 ～ AC#3) と PSU (PSU #0 ～ PSU#3) は 1:1 で接続されています。

*2： 本電源構成に変更するには、冗長電源機構 (100V) の手配が必要です。

*3： 装置基本添付の電源ケーブルは使用せず、冗長電源機構 (100V) に含まれる電源ケーブルを使用します。

2.3.3 電源ケーブルの接続 (PRIMEQUEST 1800E2/1800L2/1800E/1800L)

PRIMEQUEST 1800E2/1800L2/1800E/1800L の入力電源系統図を、以下に示します。

■日本国内向け標準構成の場合 (一系統受電、冗長なし)
■日本国内向け冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)
■日本国内向け二系統受電構成の場合
■一般海外／欧州向け標準構成の場合 (一系統受電、冗長なし)
■一般海外／欧州向け冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)
■一般海外／欧州向け二系統受電構成の場合

■日本国内向け標準構成の場合 (一系統受電、冗長なし)

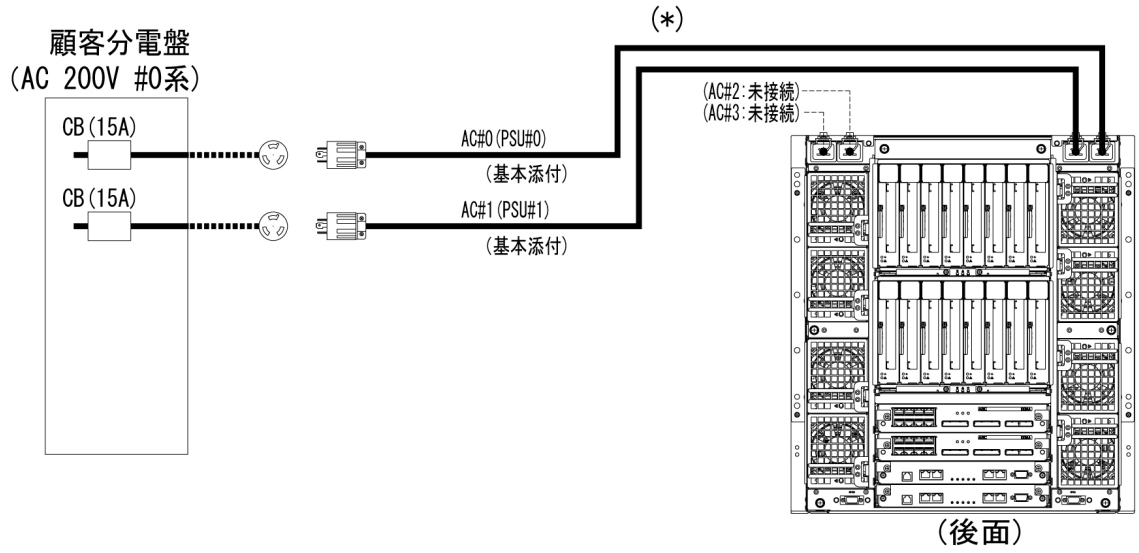


図 2.33 日本国内向け標準構成の場合 (一系統受電、冗長なし)

＊： 電源ケーブル (AC#0 ～ AC#1) と PSU (PSU #0 ～ PSU#1) は 1:1 で接続されています。

■日本国内向け冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)

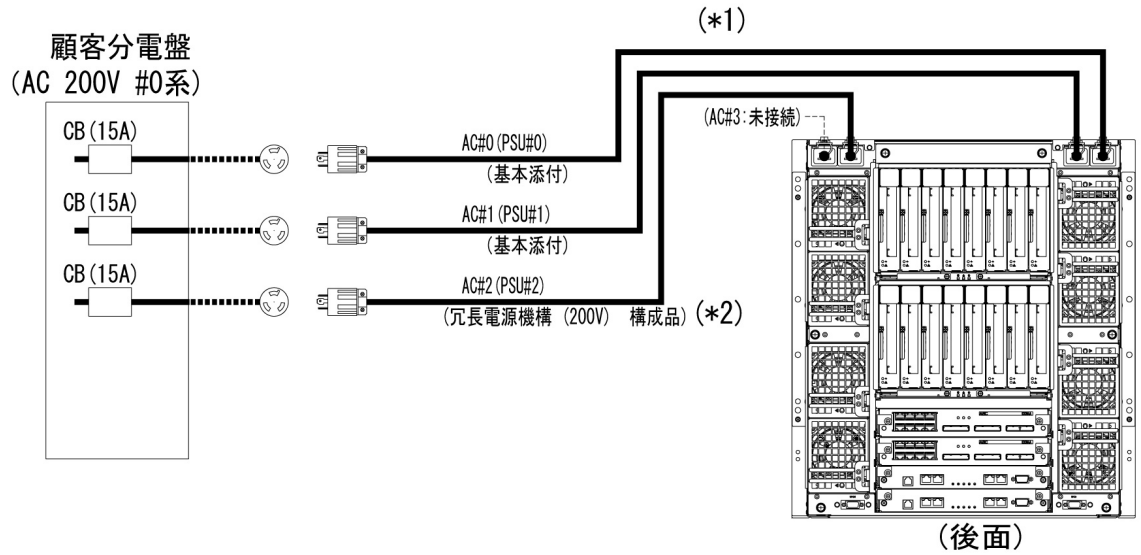


図 2.34 日本国内向け冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)

*1： 電源ケーブル (AC#0 ～ AC#2) と PSU (PSU #0 ～ PSU#2) は 1:1 で接続されています。

*2： 本電源構成に変更するには、冗長電源機構 (200V) の手配が必要です。

■日本国内向け二系統受電構成の場合

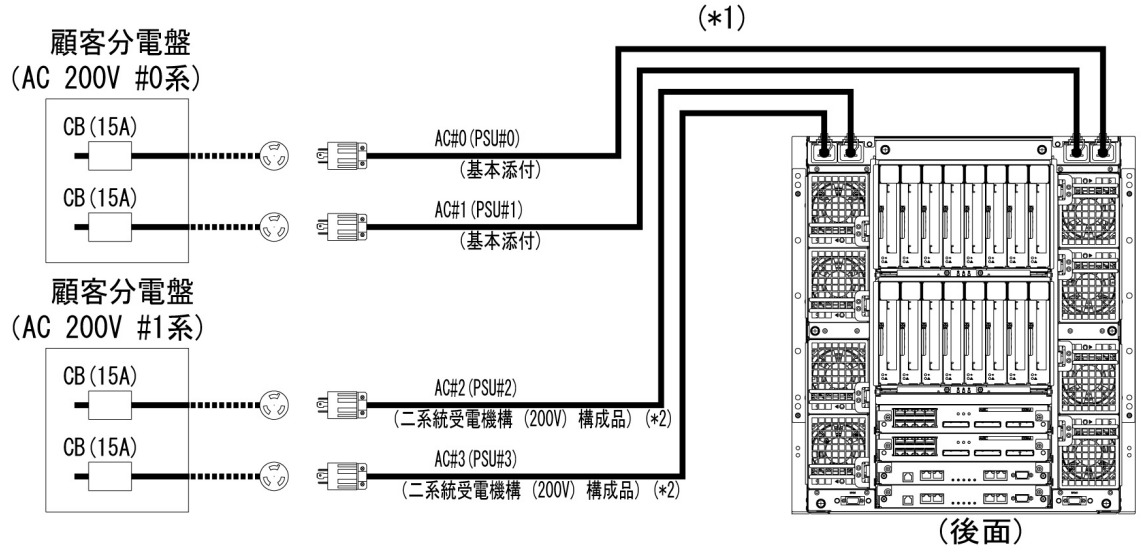


図 2.35 日本国内向け二系統受電構成の場合

*1： 電源ケーブル (AC#0 ～ AC#3) と PSU (PSU #0 ～ PSU#3) は 1:1 で接続されています。

*2： 本電源構成に変更するには、二系統受電機構 (200V) の手配が必要です。

■一般海外／欧州向け標準構成の場合 (一系統受電、冗長なし)

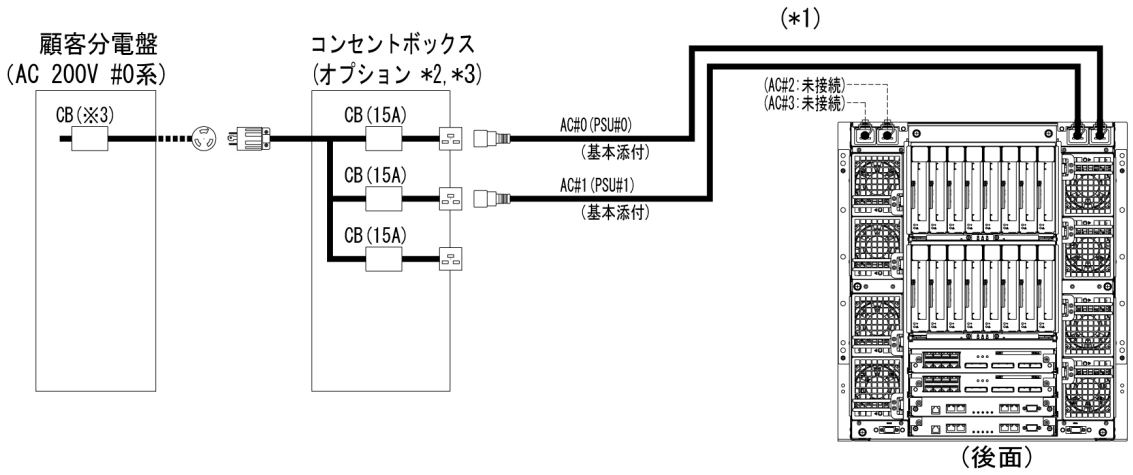


図 2.36 一般海外／欧州向け標準構成の場合 (一系統受電、冗長なし)

*1： 電源ケーブル (AC#0 ～ AC#1) と PSU (PSU #0 ～ PSU#1) は 1:1 で接続されています。

*2： コンセントボックスを別途準備する必要があります。

*3： コンセントボックスを使用する場合、顧客分電盤のブレーカ特性 (「2.6 顧客分電盤の遮断特性 (コンセントボックス接続時のみ)」を参照)を守る必要があります。

■一般海外／欧州向け冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)

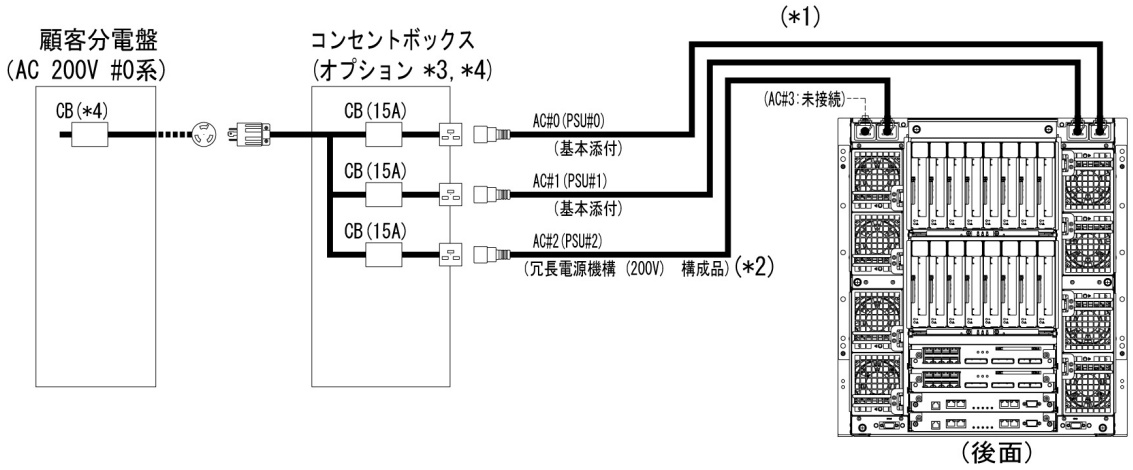


図 2.37 一般海外／欧州向け冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)

*1： 電源ケーブル (AC#0 ～ AC#2) と PSU (PSU #0 ～ PSU#2) は 1:1 で接続されています。

*2： 本電源構成に変更するには、冗長電源機構 (200V) の手配が必要です。

*3： コンセントボックスを別途準備する必要があります。

*4： コンセントボックスを使用する場合、顧客分電盤のブレーカ特性 (「2.6 顧客分電盤の遮断特性 (コンセントボックス接続時のみ)」を参照)を守る必要があります。

■一般海外／欧州向け二系統受電構成の場合

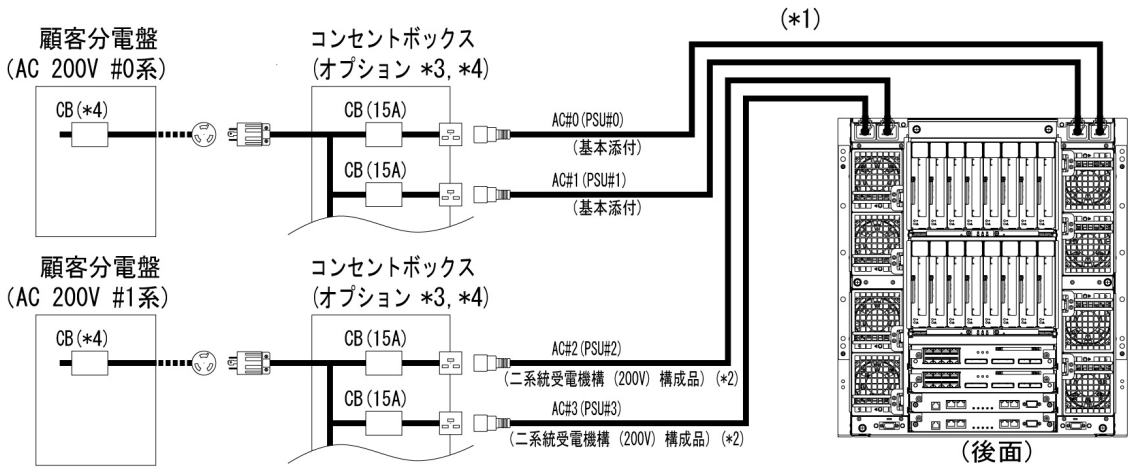


図 2.38 一般海外／欧州向け二系統受電構成の場合

*1： 電源ケーブル (AC#0 ～ AC#3) と PSU (PSU #0 ～ PSU#3) は 1:1 で接続されています。

*2： 本電源構成に変更するには、二系統受電機構 (200V) の手配が必要です。

*3： コンセントボックスを別途準備する必要があります。

*4： コンセントボックスを使用する場合、顧客分電盤のブレーカ特性 (「2.6 顧客分電盤の遮断特性 (コンセントボックス接続時のみ)」を参照)を守る必要があります。

2.3.4 電源ケーブルの接続 (PCI ボックス)

PCI ボックスの入力電源系統図を、以下に示します。

備考

本体装置で冗長構成または二系統電源構成をする場合、PCI ボックスでも同じ電源構成にしてください。

■日本国内向け 200V 標準構成の場合 (一系統受電、冗長なし)
■日本国内向け 200V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)
■日本国内向け 200V 二系統受電構成の場合
■日本国内向け 100V 構成の場合 (一系統受電、冗長なし)
■日本国内向け 100V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)
■一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 標準構成の場合 (一系統受電、冗長なし)
■一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)
■一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 二系統受電構成の場合
■一般海外向け 100 ～ 120V 構成の場合 (一系統受電、冗長なし)
■一般海外向け 100 ～ 120V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)

■日本国内向け 200V 標準構成の場合 (一系統受電、冗長なし)

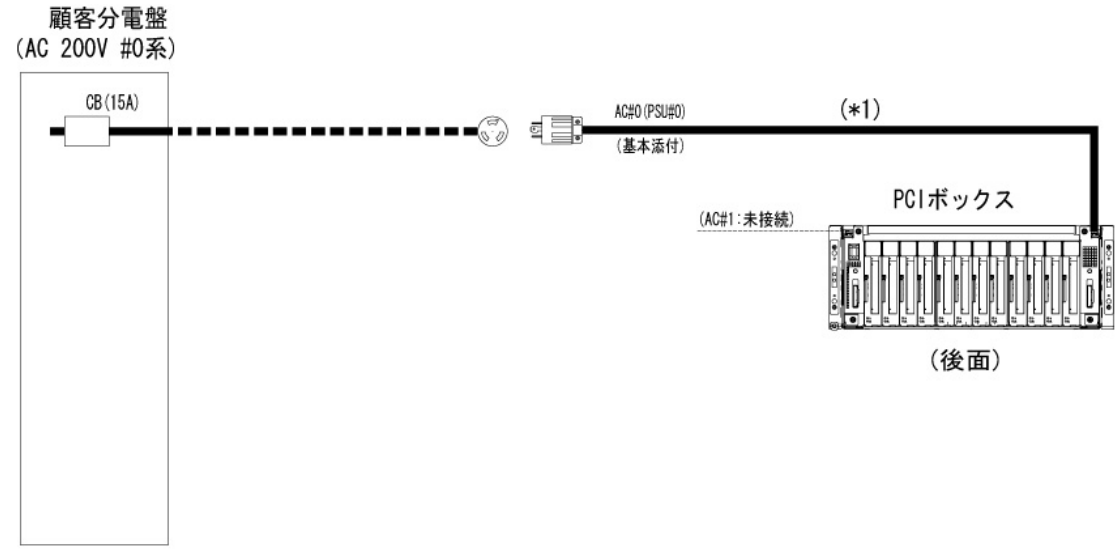


図 2.39 日本国内向け 200V 標準構成の場合 (一系統受電、冗長なし)

*1： 電源ケーブル (AC#0) と PSU (PSU #0) は 1:1 で接続されています。

■日本国内向け 200V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)

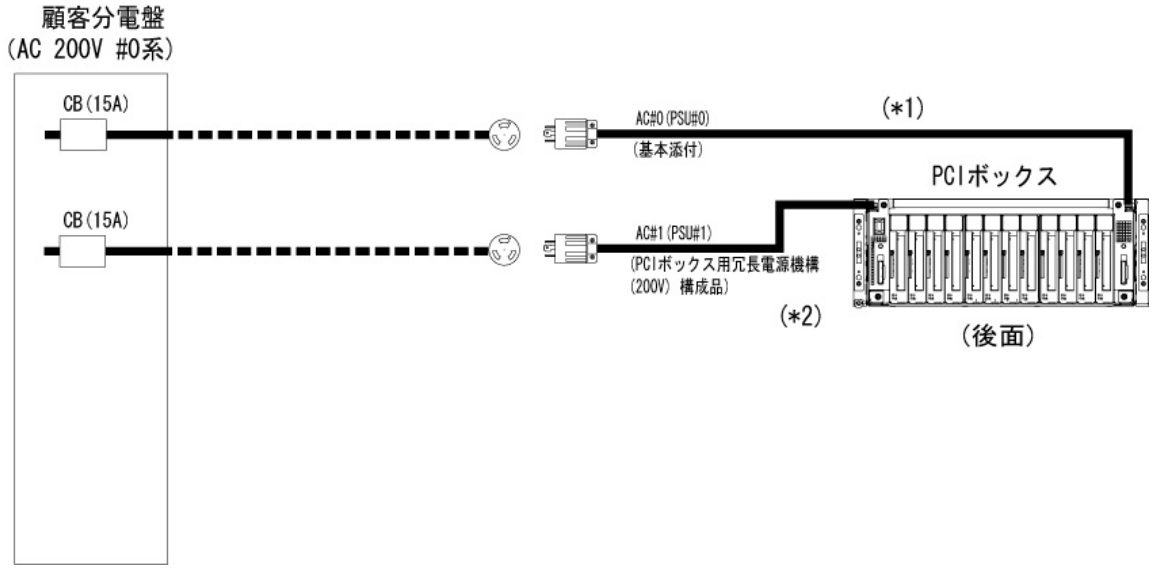


図 2.40 日本国内向け 200V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)

*1： 電源ケーブル (AC#0 ～ AC#1) と PSU (PSU #0 ～ PSU#1) は 1:1 で接続されています。

*2： 本電源構成に変更するには、PCI ボックス用冗長電源機構 (200V) の手配が必要です。

■日本国内向け 200V 二系統受電構成の場合

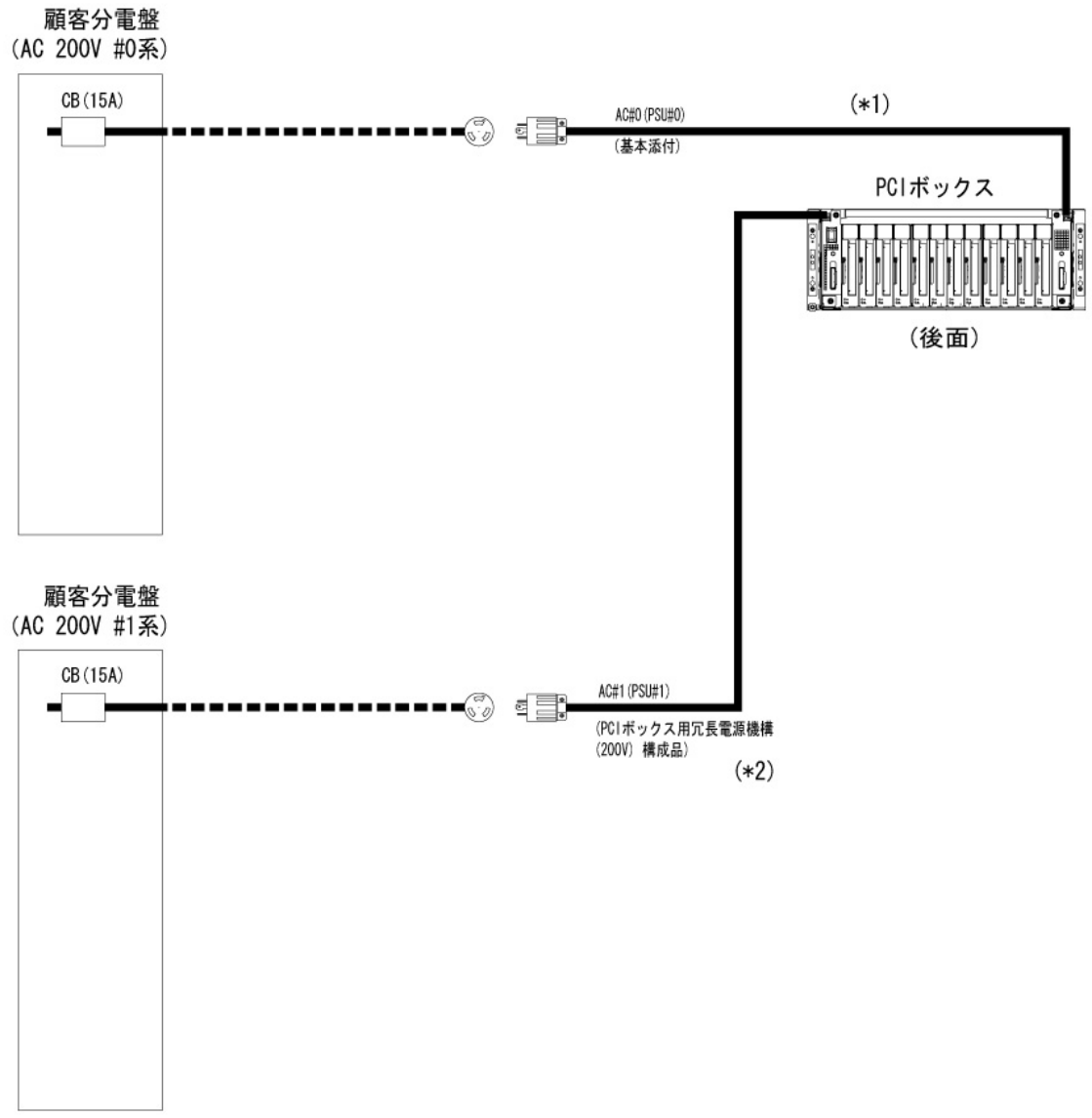


図 2.41 日本国内向け 200V 二系統受電構成の場合

*1： 電源ケーブル (AC#0 ～ AC#1) と PSU (PSU #0 ～ PSU#1) は 1:1 で接続されています。

*2： 本電源構成に変更するには、PCI ボックス用冗長電源機構 (200V) の手配が必要です。

■日本国内向け 100V 構成の場合 (一系統受電、冗長なし)

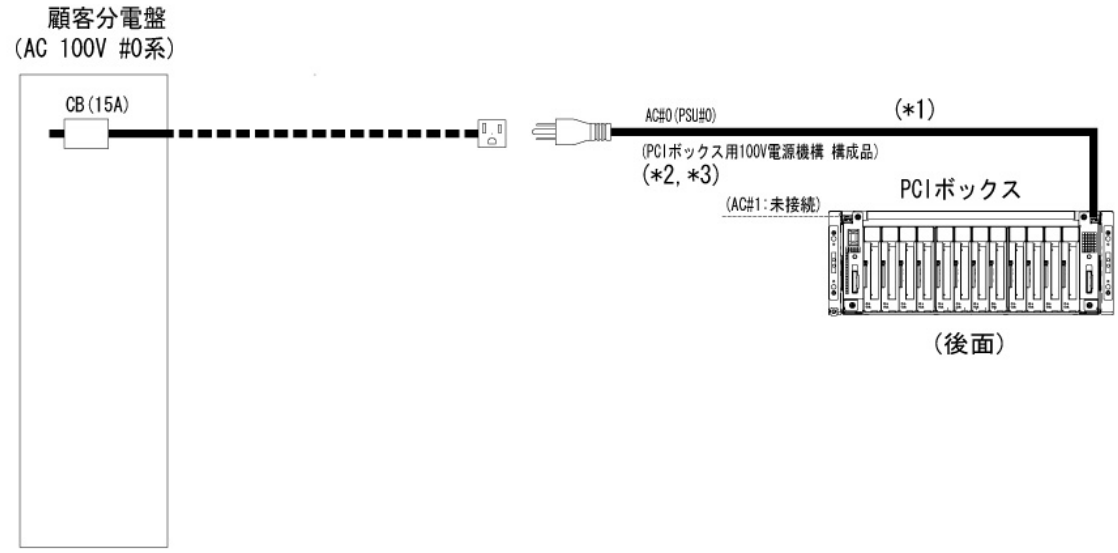


図 2.42 日本国内向け 100V 構成の場合 (一系統受電、冗長なし)

*1： 電源ケーブル (AC#0) と PSU (PSU #0) は 1:1 で接続されています。

*2： 本電源構成に変更するには、PCI ボックス用 100V 電源機構の手配が必要です。

*3： 装置基本添付の電源ケーブルは使用せず、PCI ボックス用 100V 電源機構に含まれる電源ケーブルを使用します。

■日本国内向け 100V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)

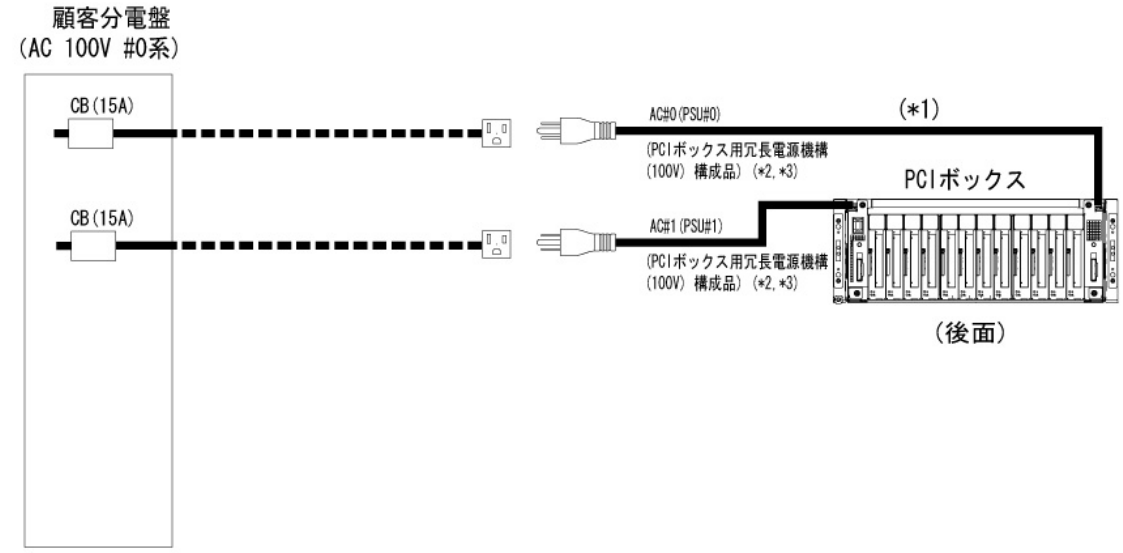


図 2.43 日本国内向け 100V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)

*1： 電源ケーブル (AC#0 ～ AC#1) と PSU (PSU #0 ～ PSU#1) は 1:1 で接続されています。

*2： 本電源構成に変更するには、PCI ボックス用冗長電源機構 (100V) の手配が必要です。

*3： 装置基本添付の電源ケーブルは使用せず、PCI ボックス用冗長電源機構 (100V) に含まれる電源ケーブルを使用します。

■一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 標準構成の場合 (一系統受電、冗長なし)

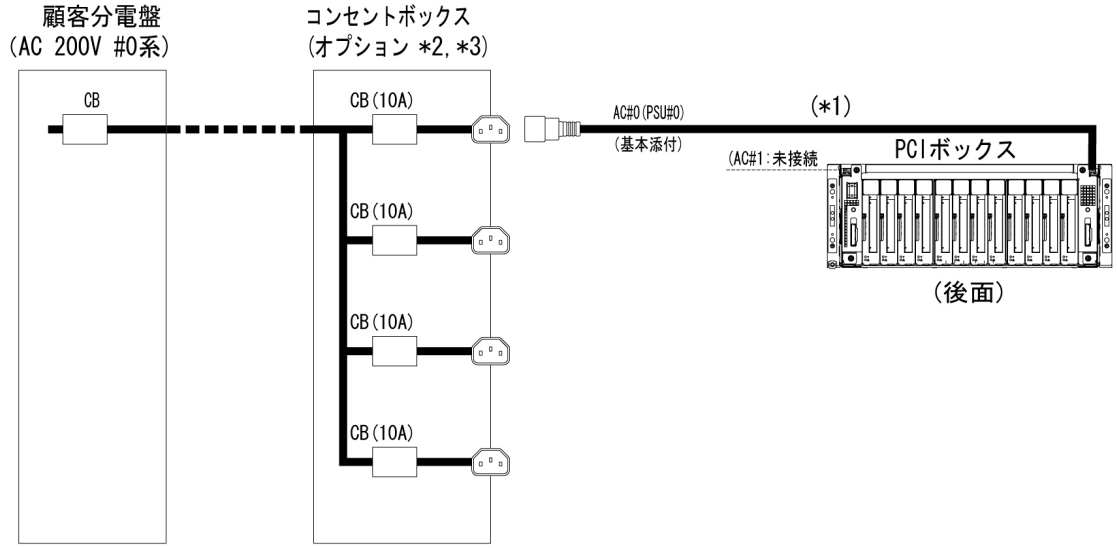


図 2.44 一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 標準構成の場合 (一系統受電、冗長なし)

*1： 電源ケーブル (AC#0) と PSU (PSU #0) は 1:1 で接続されています。

*2： コンセントボックスを別途準備する必要があります。

*3： コンセントボックスを使用する場合、顧客分電盤のブレーカ特性 (「2.6 顧客分電盤の遮断特性 (コンセントボックス接続時のみ)」を参照)を守る必要があります。

■一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)

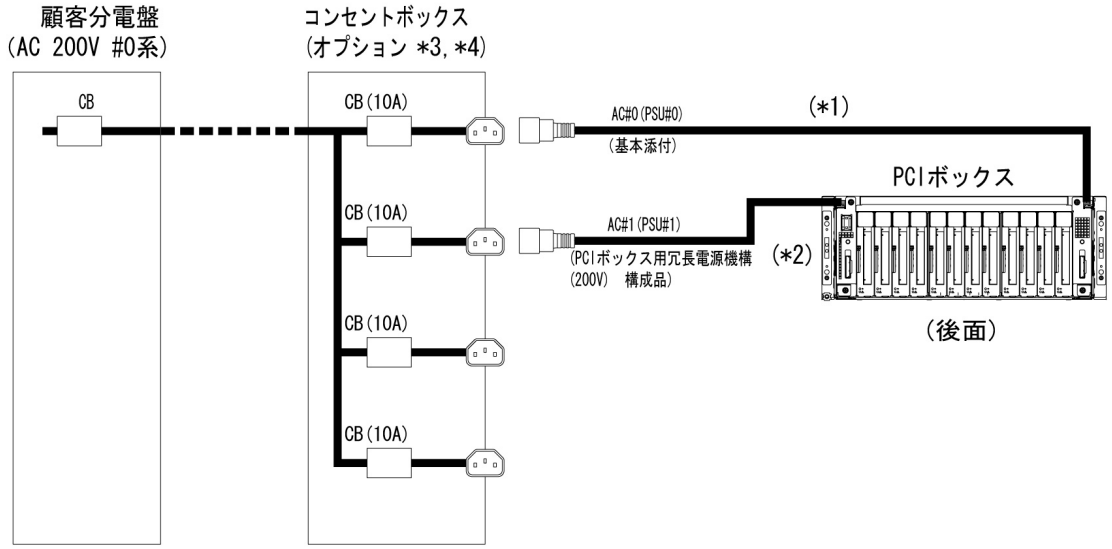


図 2.45 一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)

*1： 電源ケーブル (AC#0 ～ AC#1) と PSU (PSU #0 ～ PSU#1) は 1:1 で接続されています。

*2： 本電源構成に変更するには、PCI ボックス用冗長電源機構 (200V) の手配が必要です。

*3： コンセントボックスを別途準備する必要があります。

*4： コンセントボックスを使用する場合、顧客分電盤のブレーカ特性 (「2.6 顧客分電盤の遮断特性 (コンセントボックス接続時のみ)」を参照)を守る必要があります。

■一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 二系統受電構成の場合

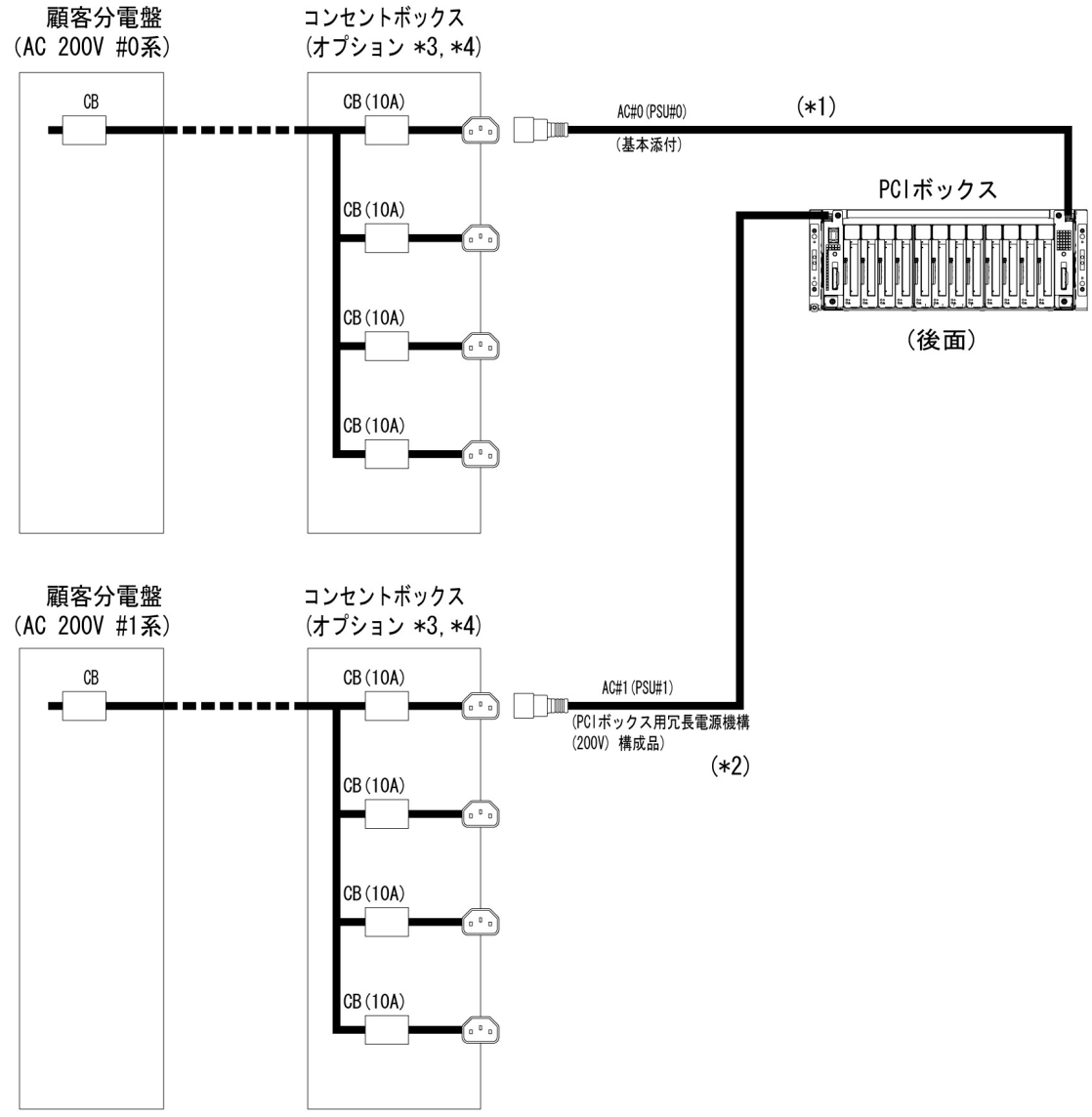


図 2.46 一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 二系統受電構成の場合

*1： 電源ケーブル (AC#0 ～ AC#1) と PSU (PSU #0 ～ PSU#1) は 1:1 で接続されています。

*2： 本電源構成に変更するには、PCI ボックス用冗長電源機構 (200V) の手配が必要です。

*3： コンセントボックスを別途準備する必要があります。

*4： コンセントボックスを使用する場合、顧客分電盤のブレーカ特性 (「2.6 顧客分電盤の遮断特性 (コンセントボックス接続時のみ)」を参照)を守る必要があります。

■一般海外向け 100 ～ 120V 構成の場合 (一系統受電、冗長なし)

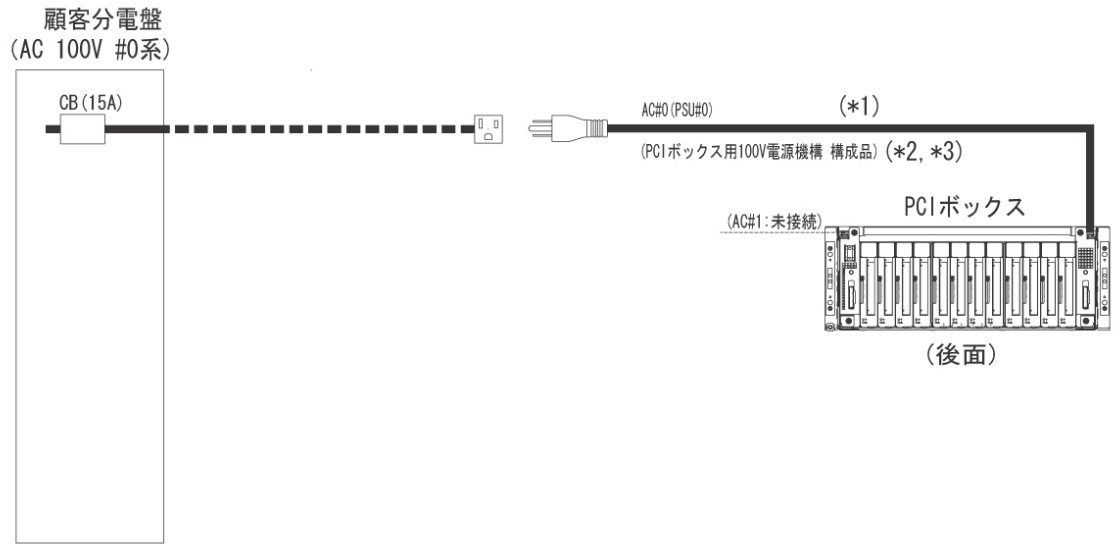


図 2.47 一般海外向け 100 ～ 120V 構成の場合 (一系統受電、冗長なし)

*1： 電源ケーブル (AC#0) と PSU (PSU #0) は 1:1 で接続されています。

*2： 本電源構成に変更するには、PCI ボックス用 100V 電源機構の手配が必要です。

*3： 装置基本添付の電源ケーブルは使用せず、PCI ボックス用 100V 電源機構に含まれる電源ケーブルを使用します。

■一般海外向け 100 ～ 120V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)

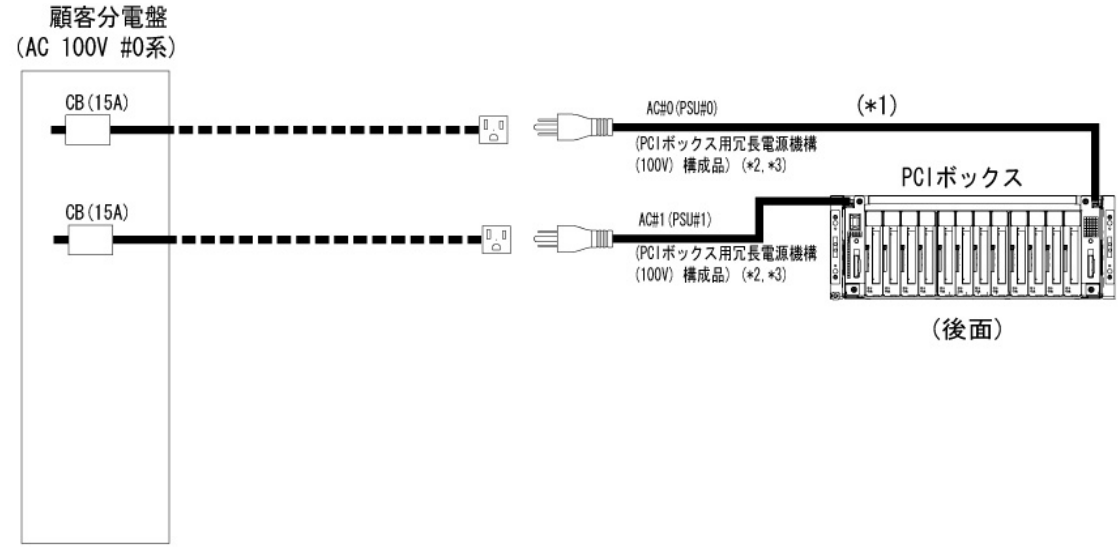


図 2.48 一般海外向け 100 ～ 120V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)

*1： 電源ケーブル (AC#0 ～ AC#1) と PSU (PSU #0 ～ PSU#1) は 1:1 で接続されています。

*2： 本電源構成に変更するには、PCI ボックス用冗長電源機構 (100V) の手配が必要です。

*3： 装置基本添付の電源ケーブルは使用せず、PCI ボックス用冗長電源機構 (100V) に含まれる電源ケーブルを使用します。

2.4 入力電源の接続仕様

入力電源の接続仕様を、以下に示します。

- 2.4.1 PRIMEQUEST 1000 シリーズ本体装置
- 2.4.2 PCI ボックス
- 2.4.3 コンセントボックスと分電盤間

2.4.1 PRIMEQUEST 1000 シリーズ本体装置

PRIMEQUEST 1000 シリーズ本体装置の入力電源接続仕様を、「表 2.5 PRIMEQUEST 1000 シリーズ本体装置の電源ケーブル仕様」に示します。

表 2.5 PRIMEQUEST 1000 シリーズ本体装置の電源ケーブル仕様

仕向け先	プラグ形状	備考	
日本国内向け／200V (装置添付品)	2 極接地極付引掛形プラグ [NEMA 規格型名：L6-15P]	壁コンセントへ接続のこと	
		受け側コンセント形状 	2 極接地付引掛形プラグ (250V15A) 用コンセント [NEMA 規格型名：L6-15R]
日本国内向け／100V (オプション、100V 電源機構／100V 冗長電源機構構成品)	並行 2 極接地極付プラグ [NEMA 規格型名：5-15P]	壁コンセントへ接続のこと	
		受け側コンセント形状 	並行 2 極接地付プラグ (125V15A) 用コンセント [NEMA 規格型名：5-15R]
日本国内向け／200V (オプション、コンセントボックス接続用)	IEC320-C20 type	コンセントボックス接続用	
海外 (北米) 向け／200V FTS 向け／200V (装置添付品)		受け側コンセント形状 	IEC320-C19 type
海外 (北米) 向け／100V (オプション、100V 電源機構／100V 冗長電源機構構成品)	並行 2 極接地極付プラグ [NEMA 規格型名：5-15P]	壁コンセントへ接続のこと	
		受け側コンセント形状 	並行 2 極接地付プラグ (125V15A) 用コンセント [NEMA 規格型名：5-15R]

備考

- 装置に接続する電源ケーブルは、装置に同梱された電源ケーブル、またはオプション部品に同梱された電源コードを使用してください。また、同梱された電源ケーブルは、ほかの製品に使用しないでください。
- 受け側コンセント形状に合ったコンセントボックスを使用してください。

2.4.2 PCI ボックス

PCI ボックスの入力電源接続仕様を、「表 2.6 PCI ボックスの電源ケーブル仕様」に示します。

表 2.6 PCI ボックスの電源ケーブル仕様

仕向け先	プラグ形状	備考	
日本国内向け／200V (装置添付品)	2 極接地極付引掛形プラグ [NEMA 規格型名：L6-15P]	壁コンセントへ接続のこと	
		受け側コンセント形状 	2 極接地付引掛形プラグ (250V15A) 用コンセント [NEMA 規格型名：L6-15R]
日本国内向け／100V (オプション、100V 電源機構／100V 冗長電源機構構成品)	並行 2 極接地極付プラグ [NEMA 規格型名：5-15P]	壁コンセントへ接続のこと	
		受け側コンセント形状 	並行 2 極接地付プラグ (125V15A) 用コンセント [NEMA 規格型名：5-15R]
日本国内向け／200V (オプション、コンセントボックス接続用)	IEC320-C14 type	コンセントボックス接続用	
海外 (北米) 向け／200V FTS 向け／200V (装置添付品)		受け側コンセント形状 	IEC320-C13 type
海外 (北米) 向け／100V (オプション、100V 電源機構／100V 冗長電源機構構成品)	並行 2 極接地極付プラグ [NEMA 規格型名：5-15P]	壁コンセントへ接続のこと	
		受け側コンセント形状 	並行 2 極接地付プラグ (125V15A) 用コンセント [NEMA 規格型名：5-15R]

備考

- 装置に接続する電源ケーブルは、装置に同梱された電源ケーブル、またはオプション部品に同梱された電源コードを使用してください。また、同梱された電源ケーブルは、ほかの製品に使用しないでください。
- 受け側コンセント形状に合ったコンセントボックスを使用してください。

2.4.3 コンセントボックスと分電盤間

コンセントボックスと分電盤間の電源ケーブル仕様を、「表 2.7 コンセントボックスと分電盤間の電源ケーブル仕様」に示します。

表 2.7 コンセントボックスと分電盤間の電源ケーブル仕様

仕向け先	プラグ形状	備考	
日本国内向け	2 極接地極付引掛形プラグ (250V30A) [NEMA 規格型名：L6-30P]	受け側コンセント形状 	2 極接地付引掛形プラグ(250V30A)用コンセント[NEMA 規格型名： L6-30R]
一般海外向け	NEMA L6-30P	受け側コンセント形状 	NEMA L6-30R(北米のみ) 30A-220VAC
ブラジル向け	IEC60309-32A	受け側コンセント形状 	IEC60309 32A-250VAC

備考

- 装置に接続する電源ケーブルは、同梱された電源ケーブルを使用してください。また、同梱された電源ケーブルは、ほかの製品に使用しないでください。
- 受け側コンセント形状に合ったコンセントボックスを使用してください。

2.5 電源ケーブルのフリーアクセス床下での接続 (日本国内／一般海外のみ)

コンセントボックス (または本体装置、PCI ボックス) の電源ケーブルをフリーアクセス床の下で接続する場合は、電源ケーブルのコネクター形状、ケーブル曲げ半径を考慮し、床下の高さを 300 mm (11.8 in.) 以上にすることを推奨します (「図 2.49 電源ケーブルをフリーアクセス床の下で接続する場合 (日本国内／一般海外のみ)」の(1)を参照)。
なお、床下の高さが 300 mm (11.8 in.) 未満の場合には、コンセントを横向きに設置してください (「図 2.49 電源ケーブルをフリーアクセス床の下で接続する場合 (日本国内／一般海外のみ)」の(2)を参照)。

また、受け側コンセントは装置の近くに準備してください。

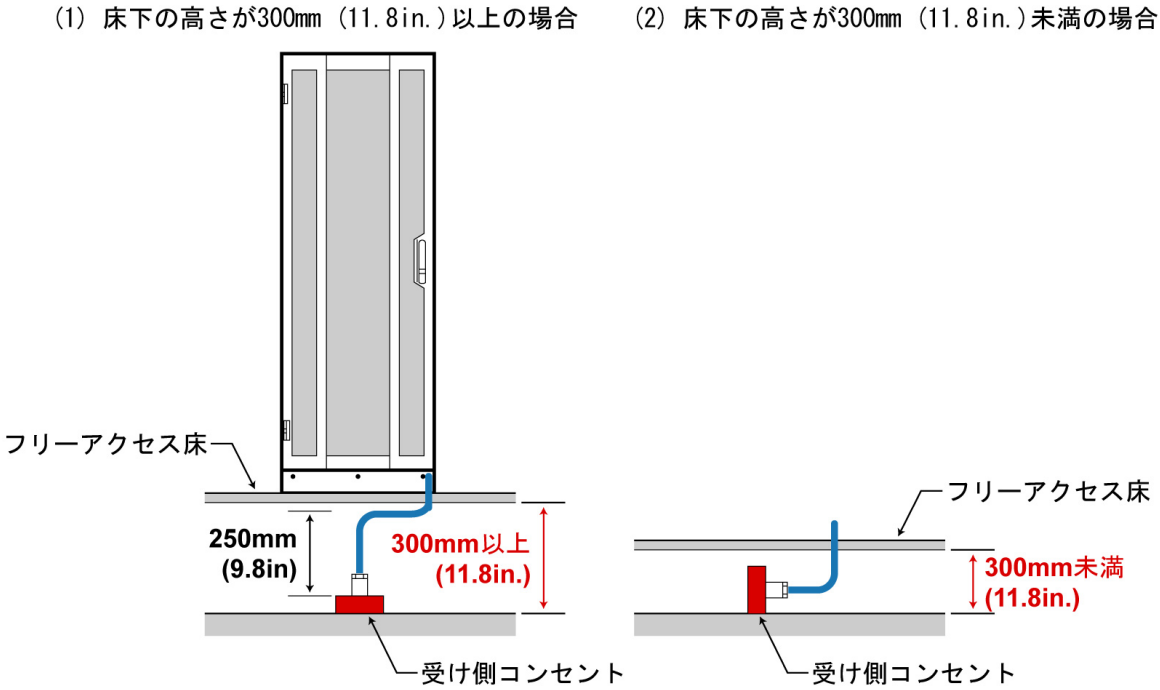


図 2.49 電源ケーブルをフリーアクセス床の下で接続する場合 (日本国内／一般海外のみ)

備考

- 上記の図は、装置を搭載した富士通製 19 インチラックを例に示しています。
- ( ) 内の数値の単位は、インチです。

2.6 顧客分電盤の遮断特性 (コンセントボックス接続時のみ)

コンセントボックスを介して顧客分電盤に接続する場合、顧客分電盤ブレーカより先に装置 (またはコンセントボックス) のブレーカが落ちるような保護強調を保つ必要があります。そのため、顧客分電盤ブレーカには「表 2.8 顧客分電盤ブレーカの特性条件」に示す特性条件が必要です。顧客分電盤ブレーカは、この条件に合ったものを使用してください。

表 2.8 顧客分電盤ブレーカの特性条件

電源入力	装置名称	日本国内／一般海外／北米向け (*)	欧州向け (*)
AC200 ～ 240V	コンセントボックス	30A	32A

＊： 顧客分電盤のブレーカ容量

ブレーカの遮断特性は Long-time delay type で、「図 2.50 分電盤のブレーカ特性」に示す遮断特性の D 相当 (IEC898 または DIN0641 partⅡ)、またはそれよりも遮断特性が遅いものを使用してください。

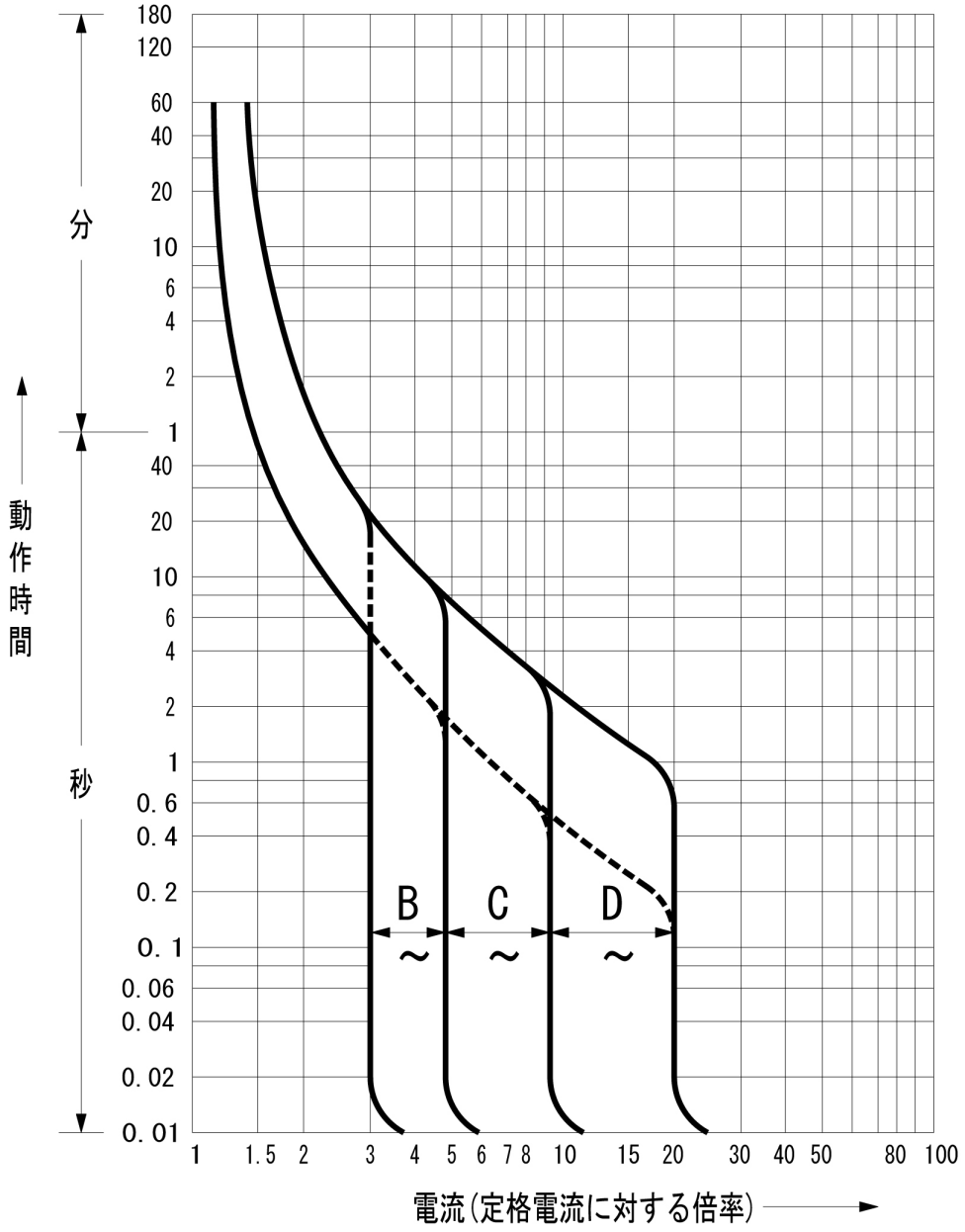


図 2.50 分電盤のブレーカ特性

第 3 章　搬入・設置時の留意事項

本章では、PRIMEQUEST 1000 シリーズの搬入時および設置時の留意事項について説明します。

3.1 エレベーターへの積載条件 79
3.2 地震対策 80

3.1 エレベーターへの積載条件

ラックに搭載されている装置は、通常の電子計算機と比べて横幅が広くなっています。このため、搬入時にエレベーターを使用する場合に、側板または扉を外さないと積載できないことがあります。搬入時にエレベーターを使用する場合は、「表 3.1 エレベーターへの積載条件」に示すエレベーターへの積載条件を参照し、エレベーターへの積載方法を確認してください。

表 3.1 エレベーターへの積載条件

エレベーター記号	積載荷重 [kg]	幅 (*1)	奥行 (*1)	高さ (*1)	幅 (*2)	高さ (*2)	ラック モデル 2742/2737/2724/2642/2624/2616/1740/1640/1624
P-6-C0	450	1400	850	2300	800	2100	積載不可
P-9-C0	600	1400	1100	2300	800	2100	積載不可
P-11-C0	750	1400	1350	2300	800	2100	積載可
P-13-C0	900	1600	1350	2300	900	2100	積載可
P-15-C0	1000	1600 1800	1500 1300	2300	900 1000	2100	積載可
P-17-C0	1150	1800 2000	1500 1350	2300	1000 1100	2100	積載可
P-20-C0	1350	1800 2000	1700 1500	2300	1000 1100	2100	積載可
P-24-C0	1600	2000 2150	1750 1600	2300	1100	2100	積載可

*1： かごの内のり寸法 [mm]

*2： 有効出入口 [mm]

3.2 地震対策

電子計算機の地震対策は、電子計算機の転倒と破壊の防止、オペレータの安全、およびシステムの早期復旧を目的としています。富士通では、地震による電子計算機システムの被害を防ぐために、「固定工法 (装置を固定することによって、転倒を防止する工法) 」という地震対策工法を提供しています。

固定工法の導入の必要性は、以下の要素によって決まります。

- 設置場所での床振動の大きさ
- フリーアクセス床の有無
- 装置の構造

地震対策工法の選定、施工にあたっては、富士通の工事部門へ相談してください。

付録 A　ラック

本付録では、PRIMEQUEST 1000 シリーズおよび PCI ボックスを搭載するラックに関する各種資料を掲載しています。

A.1 ラック搭載について 82
A.2 ラック搭載条件 85
A.3 富士通製 19 インチラック 97

A.1　ラック搭載について

PRIMEQUEST 1000 シリーズ (周辺装置を含む) は、富士通製 19 インチラックに搭載することを基本に製品開発および動作保証しています。富士通製 19 インチラックへ搭載した状態で安全に使用するには、「A.1.1 設置工事の手配」に記載している内容を守る必要があります。
他社ラック搭載を行う場合は、お客様の責任で PRIMEQUEST 製品の仕様・要件とラックの仕様が合うことを確認して実施していただきます。「A.2.2 他社製ラックへの搭載条件」の内容をご確認ください。

なお、モデル 2742/2737/2724/2642/2624/2616 については、以下の URL から関連ドキュメントを参照してください。
http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/rack/

A.1.1　設置工事の手配

設置工事は、以下の手順で手配します。

備考
モデル 2742/2737/2724/2642/2624/2616 については、以下の URL
から関連ドキュメントを参照してください。
http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/rack/

表 A.1 設置工事の手配

(1) ラックの耐震固定設置の検討	(2) ラックの選択	(3) 固定工法の選択	(4) オプション耐震キットの手配	備　考
ラックを固定設置する場合	スタビライザーの添付されていないラックを選択	耐震キットを使用した固定工法	耐震キット (*1, *2)	*1：建物に固定するためのボルト類は、工事業者が手配する。
				*2：耐震キットには、基本ラック用と増設ラック用がある。 基本ラック用：前用パーツ×1、後用パーツ×1、側面用パーツ×2、ラック取付け用ボルト×1 式 増設ラック用：前用パーツ×1、後用パーツ×1、ラック取付け用ボルト×1 式 **注意** 基本ラック用の耐震キットを増設ラックに適用した場合、ラック側面に取り付けるパーツが余剰となる。 増設ラック用の耐震キットを基本ラックに適用した場合、ラック側面に取り付けるパーツが不足する。側面用パーツを取り付けない状態では運用できない。
		レベルフットを使用した固定工法	なし (*1)	*1：建物に固定するためのボルト類は、工事業者が手配する。

(1) ラックの耐震固定設置の検討	(2) ラックの選択	(3) 固定工法の選択	(4) オプション耐震キットの手配	備　考
ラックを固定設置しない場合	スタビライザーの添付されているラックを選択	ー (*3, *4)	なし	*3：スタビライザーの添付されているラックを選択したうえで、耐震キットを使用して固定設置することもできる。ただし、耐震キットの構成品のうち、ラック前面に取り付けるパーツが余剰となる。 *4：スタビライザーの添付されているラックを選択したうえで、スタビライザーを取り付けたまま、レベルフットを使用して固定設置することもできる。この場合、スタビライザーは機能上不要になる。

(1) ラックの耐震固定設置の検討
19 インチラックの選択にあたっては、まず、お客様の要求する耐震レベルやラックを設置する建物の条件に応じて、ラックを耐震固定設置するかどうかを検討してください。
ラックを固定設置する場合、一般の建物で、地震時の加速度 1000gal まで対応可能です。
ラックを固定設置しない場合は、必ず、スタビライザーの添付されているラックを選択してください。
ラックに搭載されている装置を保守するときは、スタビライザーを使用し、ラックの転倒を防止します。この場合、一般の建物で、地震時の加速度 250gal まで対応可能です。

(2) ラックの選択
ラックを固定設置する場合は、スタビライザーの添付されていないラックを選択し、以下の「(3) 固定工法の選択」を参照してください。
ラックを固定設置しない場合は、必ず、スタビライザーの添付されているラックを選択し、「表 A.1 設置工事の手配」を参照してください。

注意
建物や設置床面に耐震 (免震) 機能があるかどうかにかかわらず、ラックを固定設置しない場合は、必ず、スタビライザーの添付されているラックを選択してください。ラックに搭載されている装置を保守するときは、スタビライザーを使用し、ラックの転倒を防止してください。

(3) 固定工法の選択
ラックを固定する工法には、以下の 2 種類があります。
- オプションの耐震キットを使用する工法
- レベルフットを使用する工法

設置床面の状況などを考慮して、どちらか適切な工法を選択してください。
耐震キットを使用して固定設置する場合は、以下の「(4) オプション耐震キットの手配」を参照してください。
レベルフットを使用して固定設置する場合は、「表 A.1 設置工事の手配」を参照してください。

注意

スタビライザーの添付されていないラックを、固定設置しないで運用することはできません。ラックに搭載されている装置を保守するときなどに、ラックの転倒を防止するため、固定設置は必須です。

(4) オプション耐震キットの手配

耐震キットを使用する場合、基本用／増設用それぞれのラックに適切なオプションの耐震キットを手配してください。

- モデル 1740 基本ラック用：19R-17ST1
- モデル 1740 増設ラック用：19R-17ST2
- モデル 1640/1624 基本ラック用：19R-16ST1
- モデル 1640/1624 増設ラック用：19R-16ST2

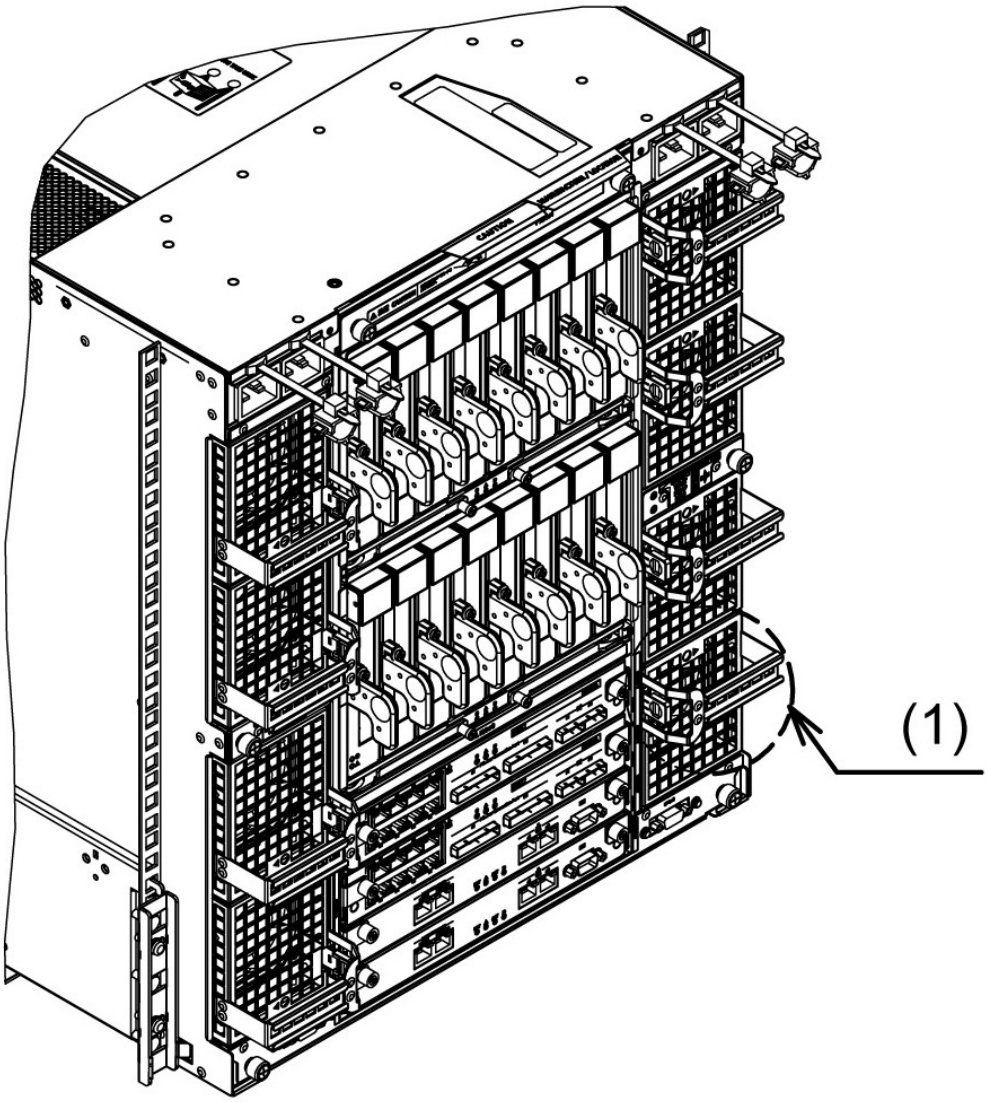
A.2　ラック搭載条件

ここでは、ラック搭載条件について説明します。

- A.2.1 富士通製 19 インチラックへの搭載条件
- A.2.2 他社製ラックへの搭載条件

注意

ラック搭載時、筐体を持つときはファンの取っ手を持たないでください。



番号	説　明
(1)	ファンの取っ手

図 A.1 ラック搭載時の注意

A.2.1 富士通製 19 インチラックへの搭載条件

富士通製 19 インチラックへの搭載条件について説明します。PRIMEQUEST 1000 シリーズを富士通製 19 インチラックへ搭載した状態で安全に使用するために、本項の搭載条件に記載している内容を守ってください。

■搭載推奨ラック

PRIMEQUEST 1000 シリーズおよび PCI ボックスの搭載を推奨する 19 インチラックは、以下のとおりです。

表 A.2 搭載推奨ラック

富士通製 19 インチラック	奥行 (mm)	開口率
モデル 2742	1050	80 %
モデル 2737	1050	80 %
モデル 2724	1050	80 %
モデル 2642	1050	80 %
モデル 2624	1050	80 %
モデル 2616	1050	75 %
モデル 1740	1050	80 %
モデル 1640	1050	80 %
モデル 1624	1050	80 %

表 A.3 PRIMEQUEST 1000 シリーズの外形寸法*

モデル	高さ	幅	奥行
PRIMEQUEST 1400S2/1400S	308 mm (7U)	440 mm (パネル込み： 482 mm)	800 mm
PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1800E2/1800L2/1400E/1400L/1800E/1800L	530 mm (12U)	440 mm (パネル込み： 482 mm)	800 mm

＊： 外形寸法には、突起物を含みません。

注意

富士通製 19 インチラックには、装置を搭載しない空きスペースの前面をふさぐブランク板が添付されています。
装置から排出された温かい空気が前面に回り込み、装置に再び吸い込まれると温度異常となり、故障の原因となるおそれがあります。
装置を搭載しない空きスペースの前面には、必ずブランク板でふさいでください。

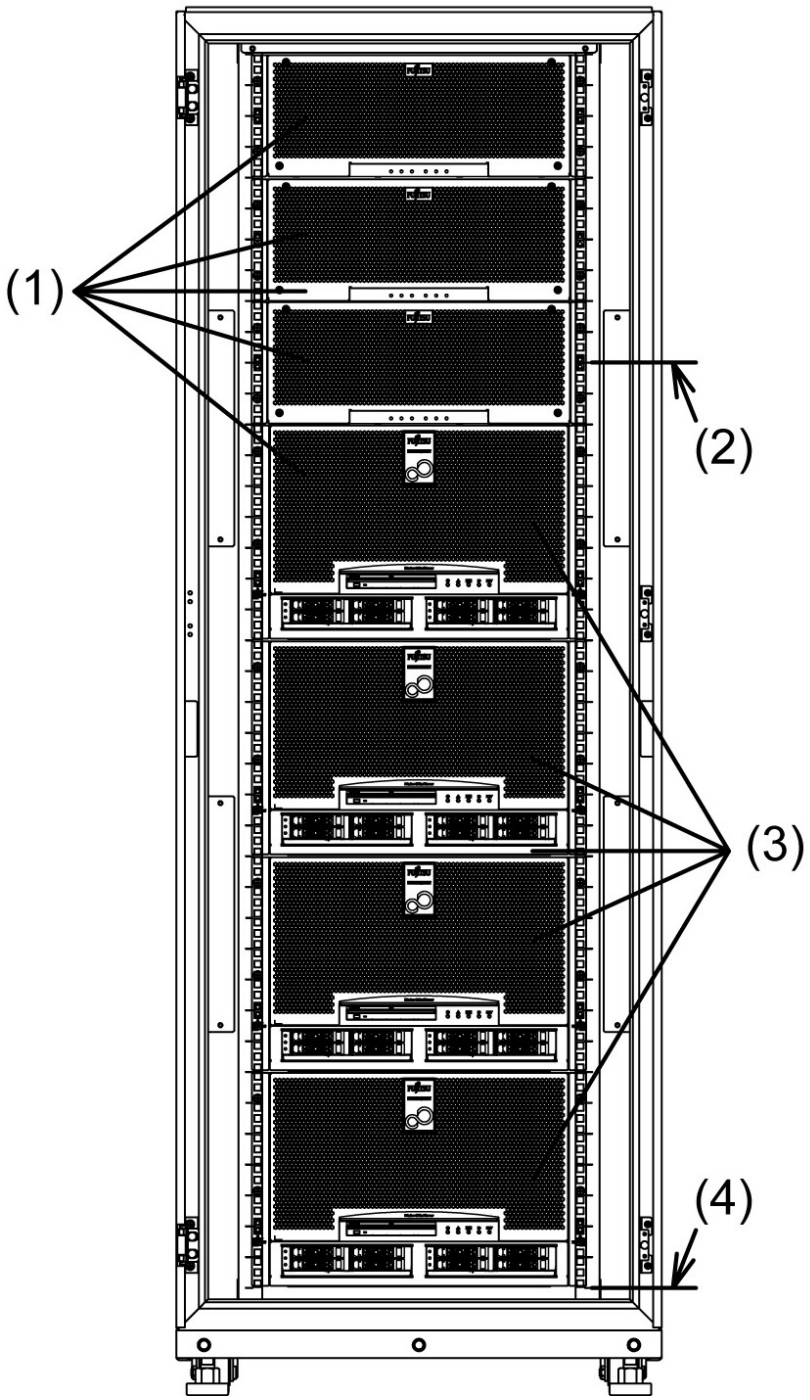
■ラック搭載条件

ラックあたりの搭載条件は、以下のとおりです。

表 A.4 ラック搭載条件

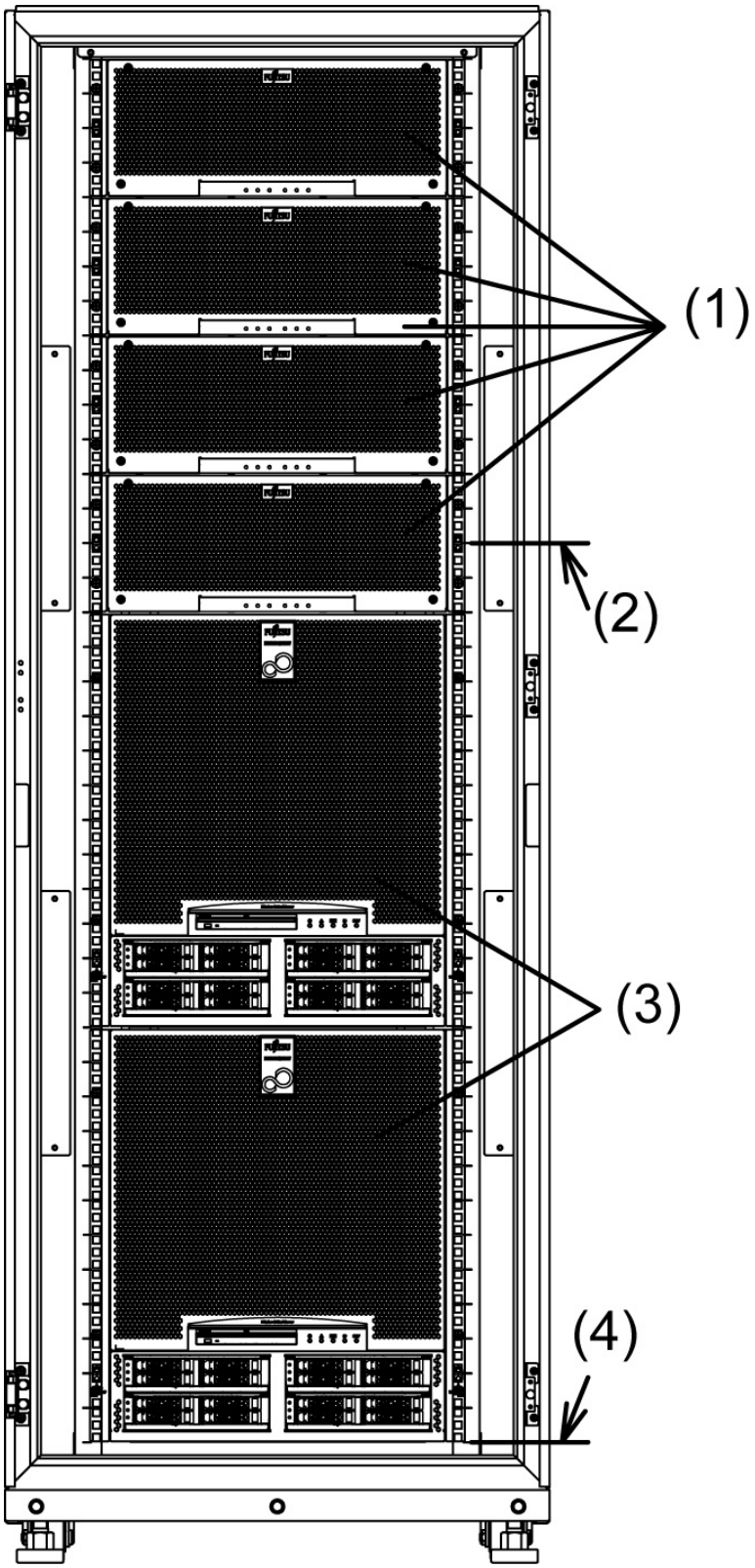
モデル	搭載可能台数	搭載範囲
PRIMEQUEST 1400S2/1400S	最大 4 台	装置最下部は、1U より搭載可能。 装置最上部が上限位置 (30U) より上にならないように搭載する。(*)
PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1800E2/1800L2/1400E/1400L/1800E/1800L	最大 2 台	装置最下部は、1U より搭載可能。 装置最上部が上限位置 (26U) より上にならないように搭載する。(*)
PCI ボックス	搭載条件なし(*)	

＊： ラックモデル 2742/2737/2724/2642/2624/2616 の場合は、装置最下部は、2U より搭載可能。
最下段の 1U には搭載不可。
モデル 2742/2737/2724/2642/2624/2616 については、以下の URL から関連ドキュメントを参照してください。
http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/rack/



番号	説　明
(1)	PCI ボックス (4U)
(2)	PRIMEQUEST 1400S2/1400S 上限位置 (30U)
(3)	PRIMEQUEST 1400S2/1400S 筐体 (7U)
(4)	PRIMEQUEST 1400S2/1400S 下限位置 (1U)

図 A.2 ラック搭載条件 (PRIMEQUEST 1400S2/1400S)



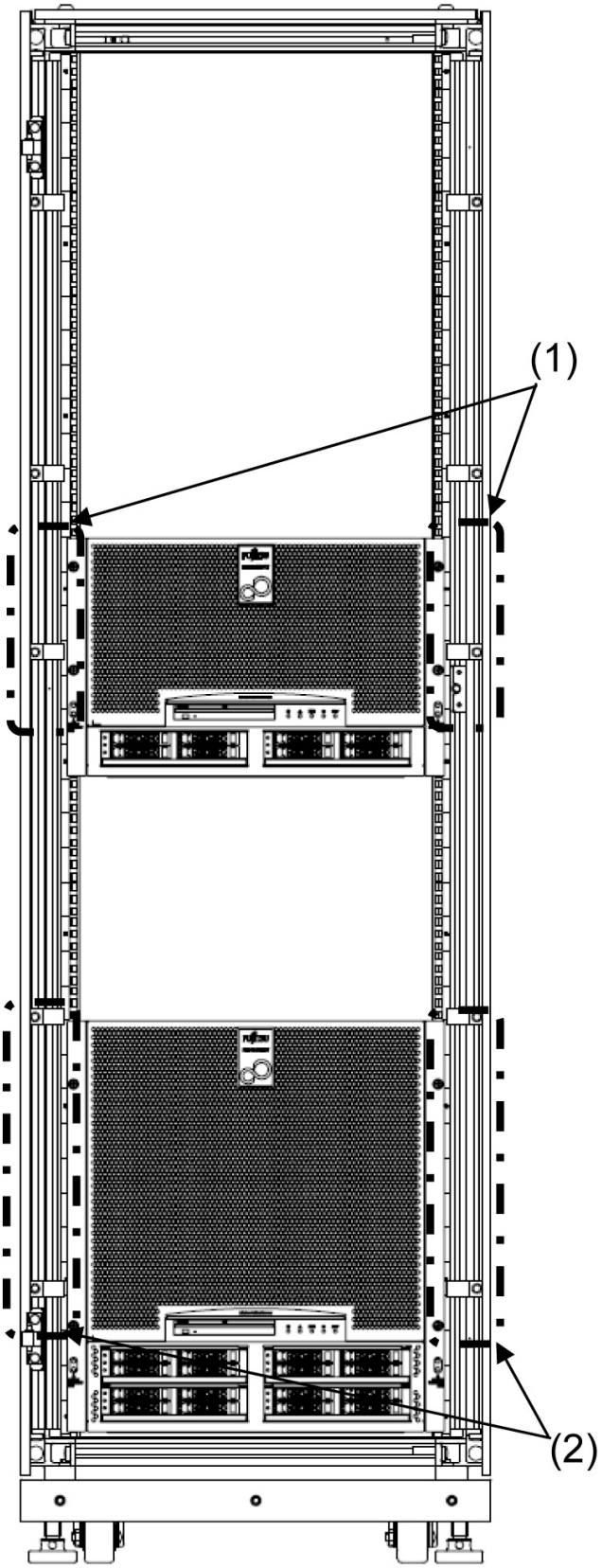
番号	説　明
(1)	PCI ボックス (4U)

番号	説　明
(2)	PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1800E2/1800L2/1400E/ 1400L/1800E/1800L 上限位置 (26U)
(3)	PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1800E2/1800L2/1400E/ 1400L/1800E/1800L 筐体 (12U)
(4)	PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1800E2/1800L2/1400E/ 1400L/1800E/1800L 下限位置 (1U)

図 A.3 ラック搭載条件 (PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1800E2/1800L2/1400E/1400L/1800E/1800L)

■富士通製 19 インチラックのケーブルホルダーの取外し (モデル 2742/2737/2724/2642/2624/2616/1740/1640/1624 搭載時のみ)

富士通製 19 インチラックに PRIMEQUEST 1000 シリーズを搭載する場合、該当箇所に 19 インチラックのケーブルホルダーがついているときは、ケーブルホルダーを外すか、該当箇所から取付け位置をずらしてください。

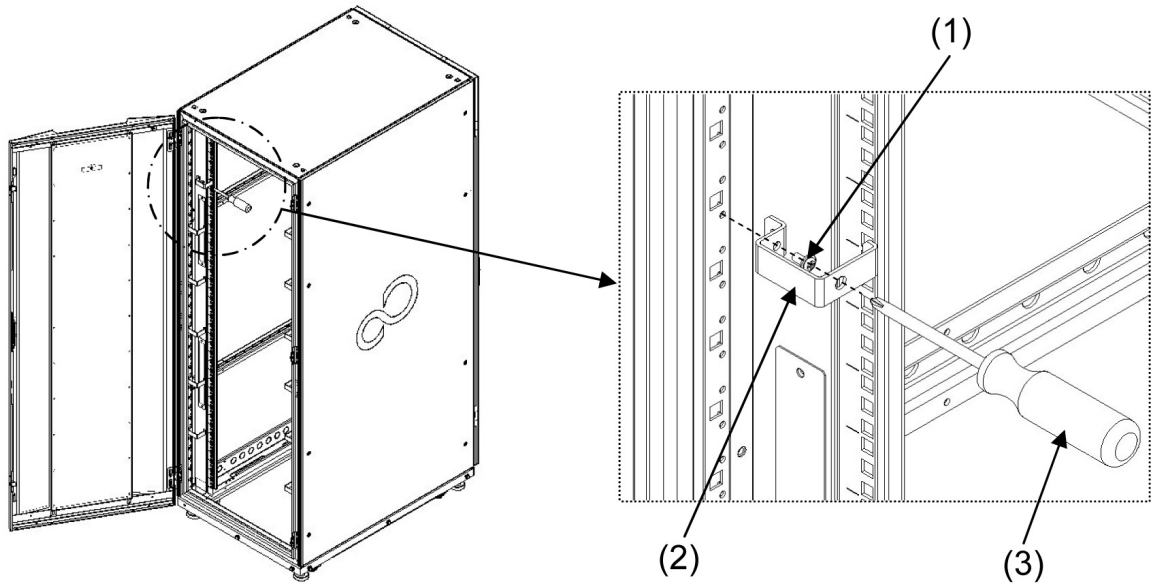

(1)
(2)

番号	説　明
(1)	PRIMEQUEST 1400S2/1400S ケーブルホルダー取外し該当箇所 (フロントカバー (上側) 両脇)
(2)	PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1800E2/1800L2/1400E/ 1400L/1800E/1800L ケーブルホルダー取外し該当箇所 (フロントカバー (上側) 両脇)

図 A.4 ケーブルホルダーの位置

●ケーブルホルダー取外し手順 (モデル 1740)

＋ドライバーを使ってケーブルホルダーを取り外します。



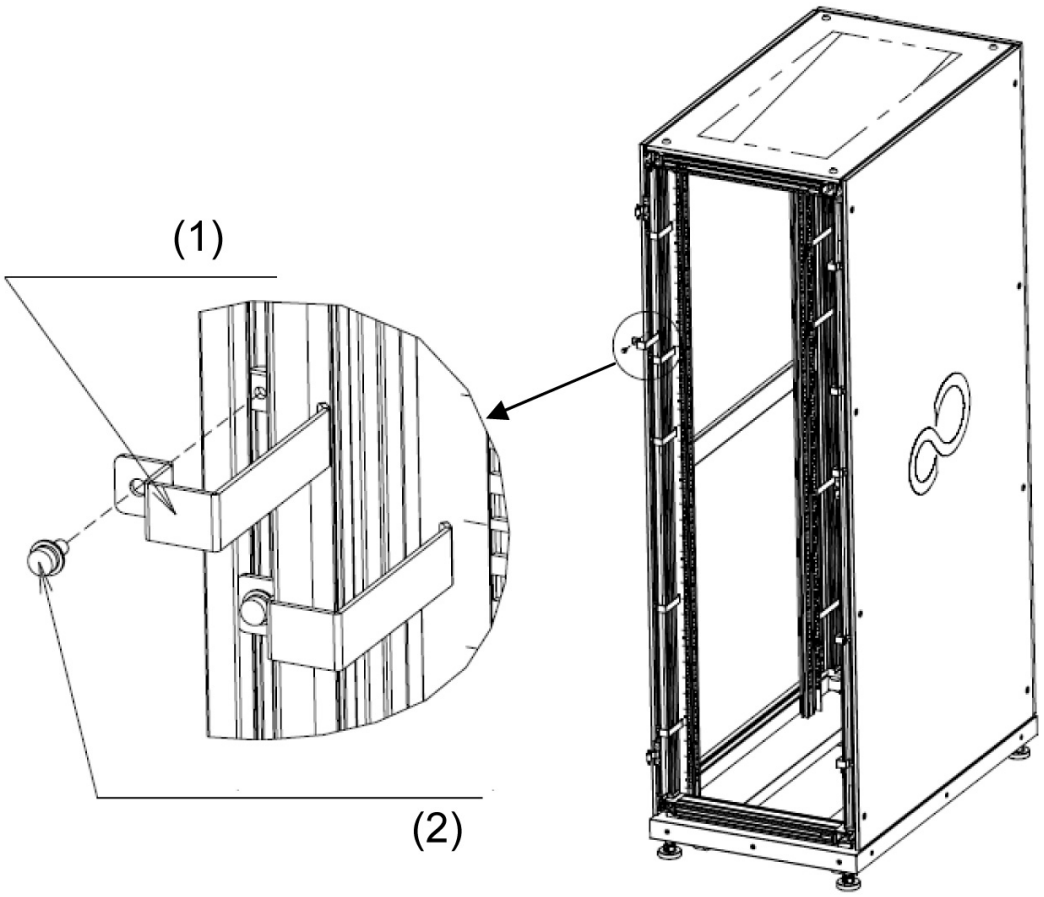
番号	説　明
(1)	M5 ネジ
(2)	ケーブルホルダー
(3)	＋ドライバー

図 A.5 ケーブルホルダーの取外し (モデル 1740)

●ケーブルホルダー取外し手順 (モデル 1640/モデル 1624)

＋ドライバーを使ってケーブルホルダーを取り外します。

扉ヒンジ側のケーブルホルダーを取り外す場合は、取り付けられている扉を外す必要があります。



番号	説　明
(1)	ケーブルホルダー
(2)	コネジ (W セムズ M5 x 12)

図 A.6 ケーブルホルダーの取外し (モデル 1640／モデル 1624)

A.2.2　他社製ラックへの搭載条件

他社ラックへ搭載する場合は、PRIMEQUEST 製品の仕様・要件とラックの仕様が合うことをお客様の責任で確認して実施していただきます。

注意

他社ラックに PRIMEQUEST 1000 シリーズ (周辺装置を含む) を搭載することに起因する不具合は保証の対象外です。

例：ラック構造に起因する冷気供給不足による冷却障害、他社ラックの強度不足による耐震性能不良、など。

やむをえず、他社製ラックに搭載する場合は、搭載を検討されているラックが以下の構造的条件をすべて満たすことを確認してください。

■ラックの奥行条件

装置は、ラックマウントキット (PRIMEQUEST 1000 シリーズ添付品) を使用してラックへ搭載します。このため、「柱間隔の許容範囲」、「前面カバーの内面からラックの前面側に立つ柱の前面までの寸法」、および「ラックの前面側に立つ柱の前面から背面カバーの内面までの寸法」は、以下に示す条件を満たす必要があります。

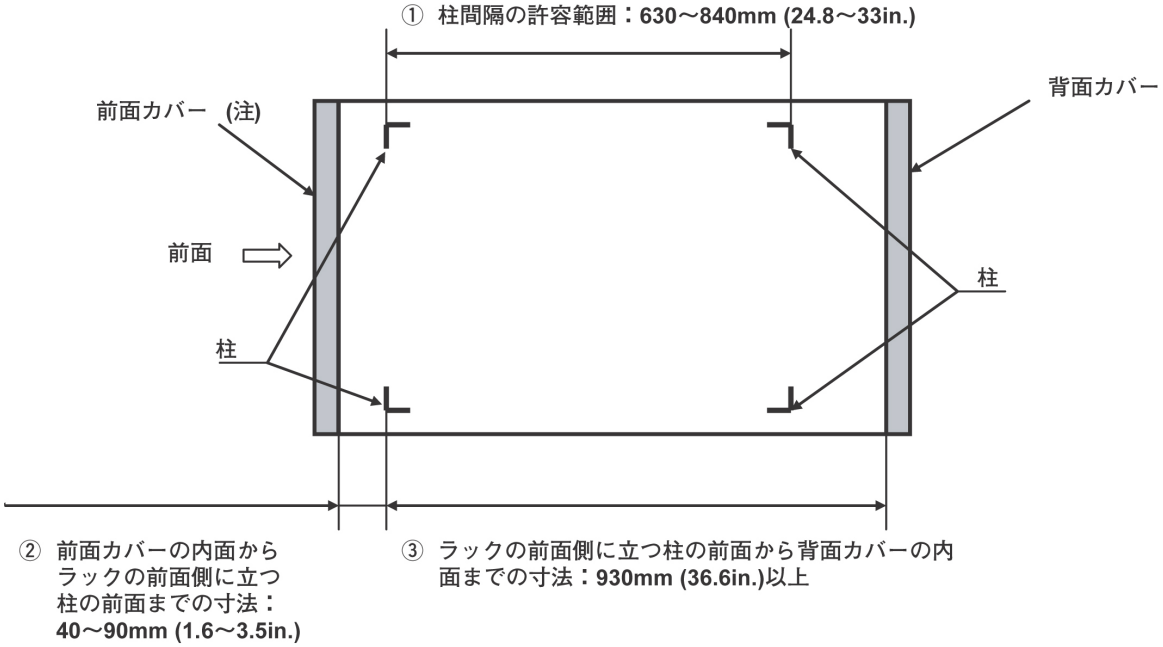


図 A.7 ラックの奥行条件

■ラック柱の条件

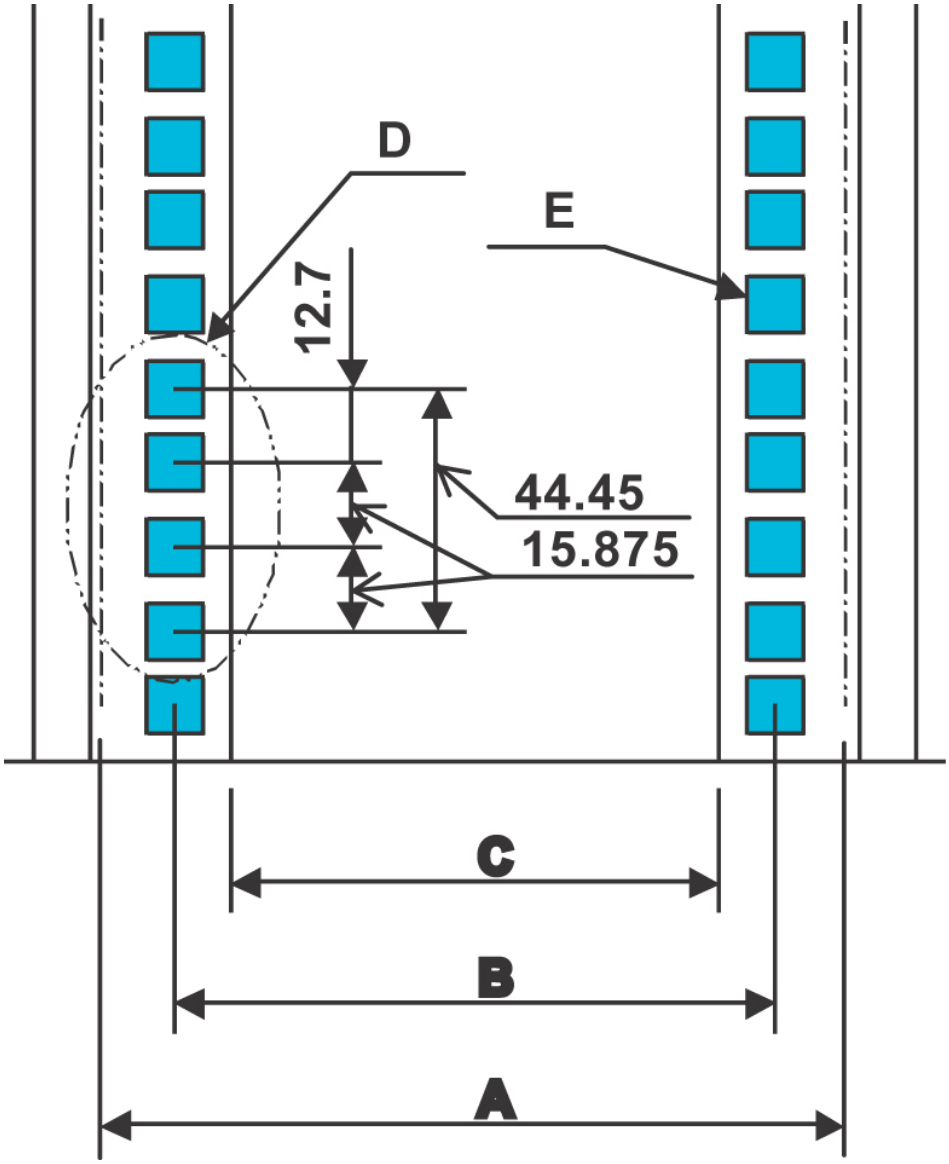


図 A.8 ラック柱の条件

A： 装置フロントパネル取付けスペース：483mm (19.0in.) 以上

B： 装置取付け穴左右間隔(前後柱共通)：465mm (18.3in.)

C： 柱間左右間隔(前後柱共通)：450mm (17.7in.) 以上

D： EIA 規格、ユニバーサルピッチ

E： 正方形の穴の一辺：9 ～ 9.5mm (0.354 ～ 0.374in.)

■その他の条件

構造的な条件以外にも、以下の条件を考慮する必要があります。

- ラック搭載時の装置冷却性
  ラック内の温度が「1.3 設置諸元」に記載してある温度条件を満たすように、ラックを設置してください。
  特に、装置の排気が吸気側へ回り込むことのないように、ラック内の空きスペースの前面をふさぐなどの対処が必要です。
- 保守時の作業エリア (サービスエリア) の確保

当社技術員が保守作業するためのサービスエリアを確保してください。
サービスエリアは「1.4 設置エリア」に記載されている富士通製ラックのサービスエリア、および使用するラックの設置資料を参考にして決定してください。

A.3 富士通製 19 インチラック

富士通製 19 インチラックの種類、外観図、および底面図を以下に示します。

- A.3.1 19 インチラックの種類
- A.3.2 19 インチラックの外観図
- A.3.3 19 インチラックの底面図

備考

モデル 2742/2737/2724/2642/2624/2616 の外観および寸法については以下の URL から参照してください。
http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/rack/

A.3.1 19 インチラックの種類

PRIMEQUEST 1000 シリーズおよび PCI ボックスを搭載可能なラックを、「表 A.5 19 インチラックの種類」に示します。

備考

搭載可能なラックは、他にモデル 2742/2737/2724/2642/2624/2616 があります。詳細については以下の URL から参照してください。
http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/rack/

表 A.5 19 インチラックの種類

項番	型名	品名	幅 (*1)	奥行 (*1)	高さ (*1)	搭載総質量 (*2, *3)	ラック本体 (*2)	ラック総質量 (*2)	備考
1	19R-174A1	19 インチラック モデル 1740 (基本／スタビライザーあり) (スタンダード)	700 (27.6)	1272 (50.1)	2000 (78.8)	800 (1760)	143 (315) (*4)	943 (2075)	40U 側板あり
2	19R-174A2	19 インチラック モデル 1740 (基本／スタビライザーなし) (スタンダード)	700 (27.6)	1050 (41.3)	2000 (78.8)	800 (1760)	135 (297)	935 (2057)	40U 側板あり
3	19R-174B1	19 インチラック モデル 1740 (増設／スタビライザーあり) (スタンダード) (*5)	700 (27.6)	1272 (50.1)	2000 (78.8)	800 (1760)	110 (242) (*4)	910 (2002)	40U 側板なし
4	19R-174B2	19 インチラック モデル 1740	700 (27.6)	1050 (41.3)	2000 (78.8)	800 (1760)	102 (224)	902 (1984)	40U 側板なし

項番	型名	品名	幅 (*1)	奥行 (*1)	高さ (*1)	搭載総質量 (*2, *3)	ラック本体 (*2)	ラック総質量 (*2)	備考
		(増設／スタビライザーなし) (スタンダード) (*5)							
5	19R-164A1	19 インチラックモデル 1640 (基本／スタビライザーあり) (スリム)	600 (23.6)	1050 (41.3)	2000 (78.8)	800 (1760)	126 (277) (*4)	926 (2037)	40U 側板あり
6	19R-164A2	19 インチラックモデル 1640 (基本／スタビライザーなし) (スリム)	600 (23.6)	1050 (41.3)	2000 (78.8)	800 (1760)	118 (256)	918 (2019)	40U 側板あり
7	19R-164B1	19 インチラックモデル 1640 (増設／スタビライザーあり) (スリム)	600 (23.6)	1050 (41.3)	2000 (78.8)	800 (1760)	94 (206) (*4)	894 (1966)	40U 側板なし
8	19R-164B2	19 インチラックモデル 1640 (増設／スタビライザーなし) (スリム)	600 (23.6)	1050 (41.3)	2000 (78.8)	800 (1760)	86 (189)	886 (1949)	40U 側板なし
9	19R-162A1	19 インチラックモデル 1624 (基本／スタビライザーあり)	600 (23.6)	1050 (41.3)	1264 (49.7)	480 (1056)	94 (206) (*4)	574 (1262)	24U 側板あり
10	19R-162A2	19 インチラックモデル 1624 (基本／スタビライザーなし) (スリム)	600 (23.6)	1050 (41.3)	1264 (49.7)	480 (1056)	86 (189)	566 (1245)	24U 側板あり
11	19R-162B1	19 インチラックモデル 1624 (増設／スタビライザーあり) (スリム)	600 (23.6)	1050 (41.3)	1264 (49.7)	480 (1056)	75 (165) (*4)	555 (1221)	24U 側板なし
12	19R-162B2	19 インチラックモデル 1624	600 (23.6)	1050 (41.3)	1264 (49.7)	480 (1056)	67 (147)	547 (1203)	24U 側板なし

項番	型名	品名	幅 (*1)	奥行 (*1)	高さ (*1)	搭載総質量 (*2, *3)	ラック本体 (*2)	ラック総質量 (*2)	備考
		(増設／スタビライザーなし) (スリム)							

*1： ラックサイズ〔mm (in.)〕

*2： 質量〔kg (lb.)〕

*3： ラック本体の質量を除いた値です。

*4： ラック本体の質量には、転倒防止用スタビライザーも含まれています。

*5： 増設ラック (MC-R7RC21) は基本ラック (MC-R7RC11) と連結して使用されます。増設ラック (MC-R7RC21) 同士の連結も可能です。

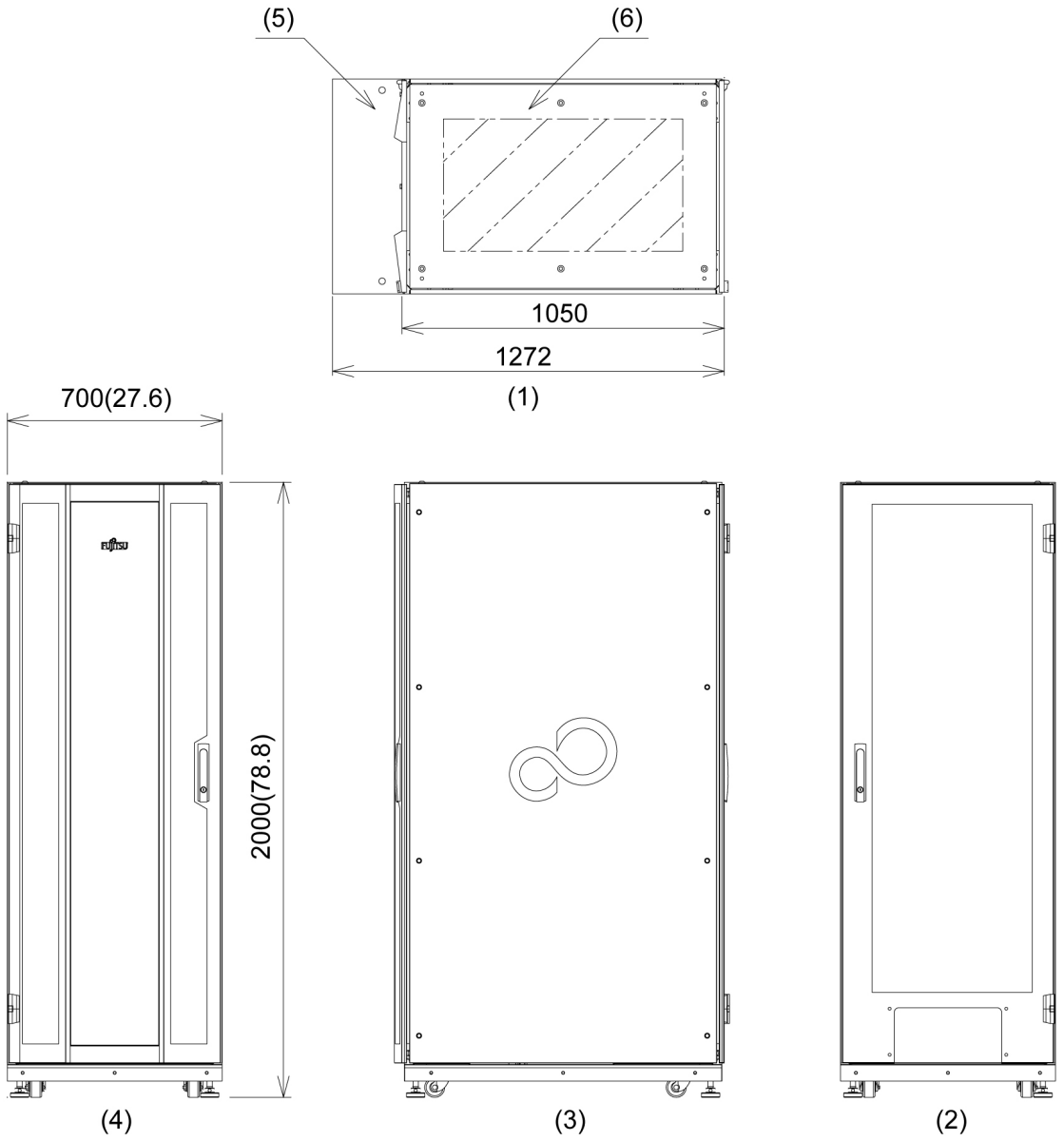
A.3.2 19 インチラックの外観図

ここでは、各ラックの外観図を掲載しています。

備考
モデル 2742/2737/2724/2642/2624/2616 の外観および寸法については以下の URL から参照してください。
http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/rack/
ラック関連一覧の各モデルの [詳細] ボタンをクリックすると、寸法図を含む詳細情報を参照できます。

■19 インチラック　モデル 1740 (基本／スタビライザーあり)
■19 インチラック　モデル 1740 (基本／スタビライザーなし)
■19 インチラック　モデル 1740 (増設／スタビライザーあり)
■19 インチラック　モデル 1740 (増設／スタビライザーなし)
■19 インチラック　モデル 1640 (基本／スタビライザーあり)
■19 インチラック　モデル 1640 (基本／スタビライザーなし)
■19 インチラック　モデル 1640 (増設／スタビライザーあり)
■19 インチラック　モデル 1640 (増設／スタビライザーなし)
■19 インチラック　モデル 1624 (基本／スタビライザーあり)
■19 インチラック　モデル 1624 (基本／スタビライザーなし)
■19 インチラック　モデル 1624 (増設／スタビライザーあり)
■19 インチラック　モデル 1624 (増設／スタビライザーなし)

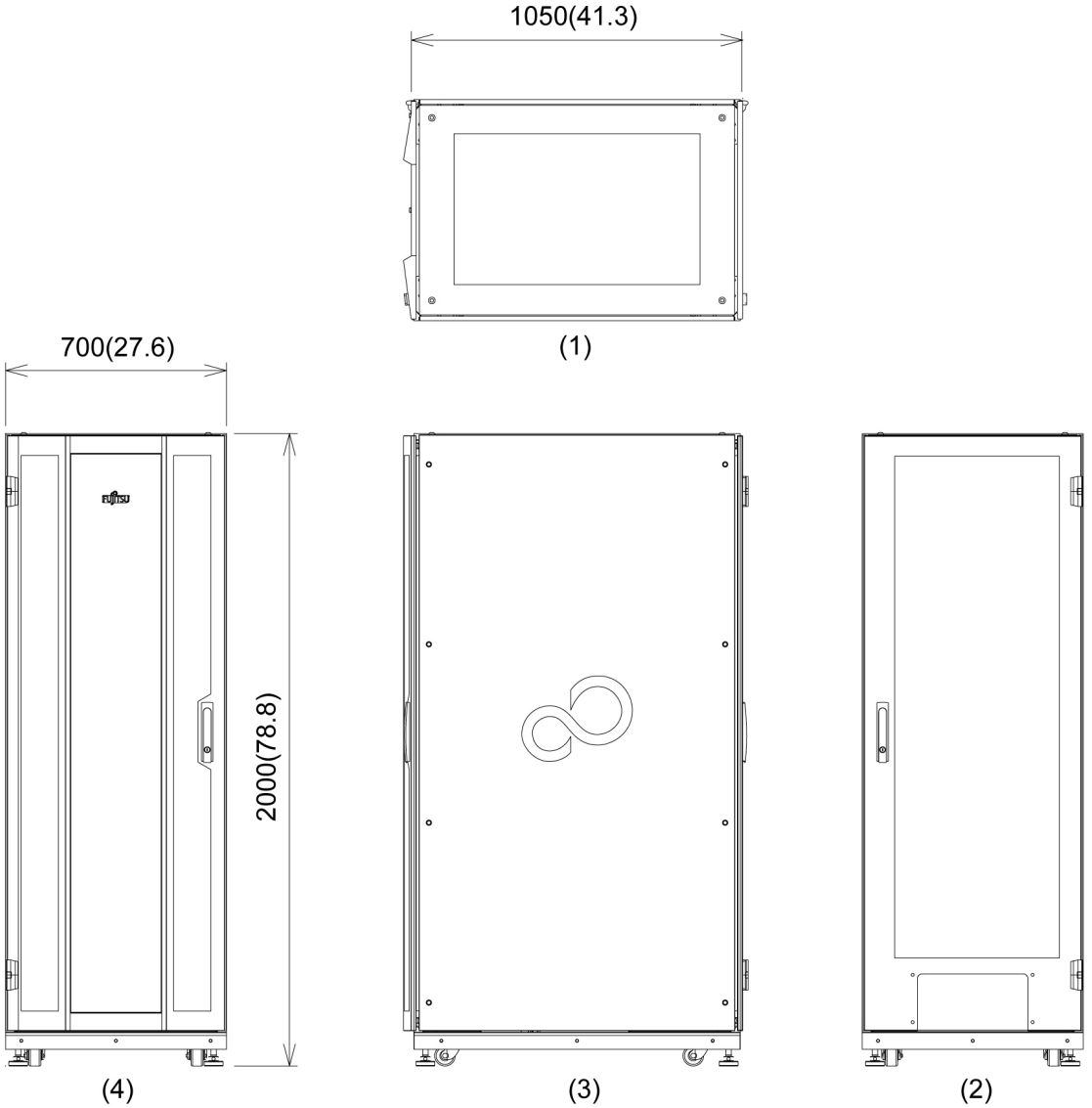
■19 インチラック　モデル 1740 (基本／スタビライザーあり)



番号	説　明
(1)	上面
(2)	背面
(3)	右側面
(4)	前面
(5)	スタビライザー
(6)	トップカバー

図 A.9 19 インチラック　モデル 1740 (基本／スタビライザーあり) の外観図

■19 インチラック　モデル 1740 (基本／スタビライザーなし)

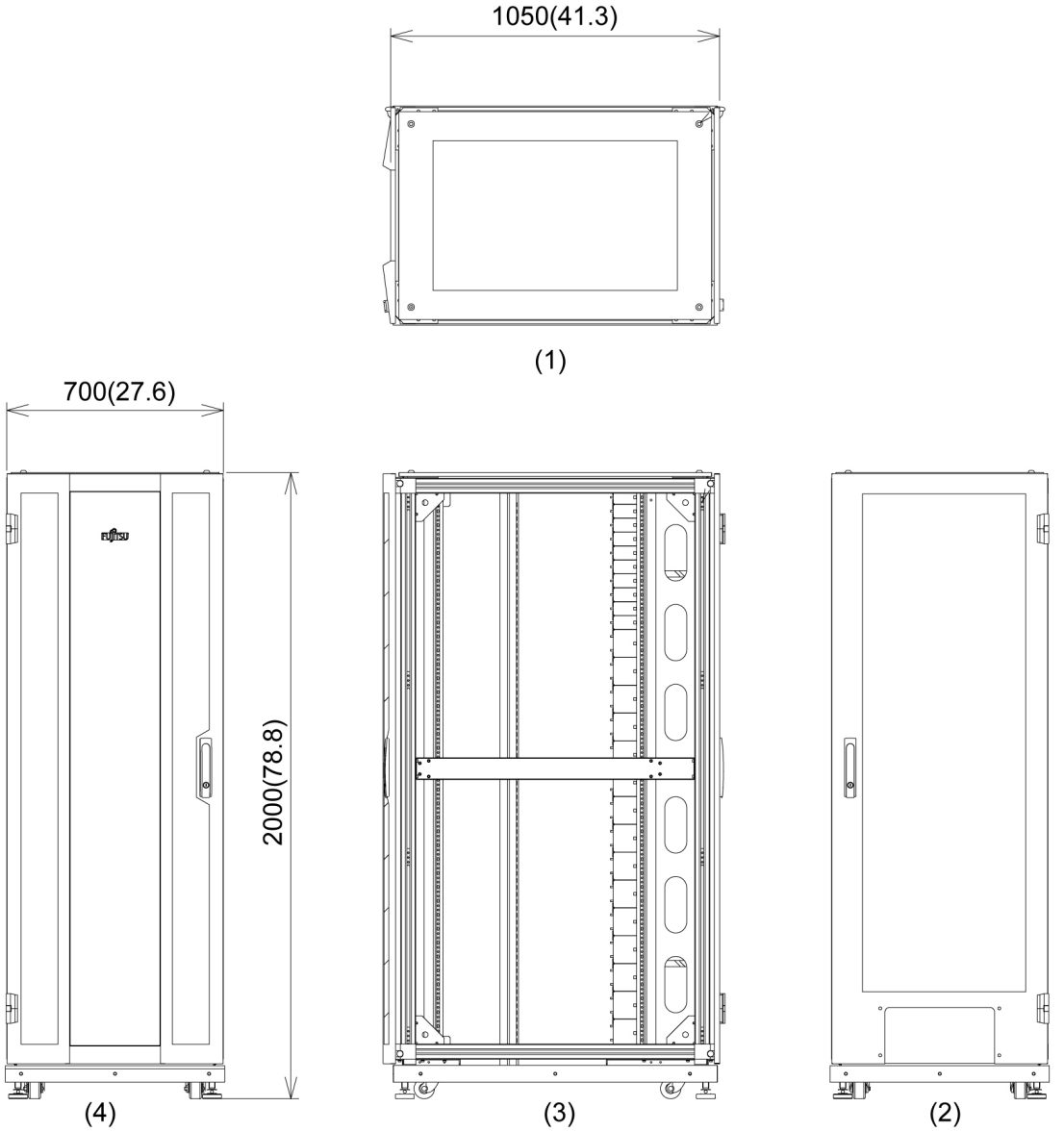


単位：mm (in.)

番号	説　明
(1)	上面
(2)	背面
(3)	右側面
(4)	前面

図 A.10 19 インチラック　モデル 1740 (基本／スタビライザーなし) の外観図

■19 インチラック　モデル 1740 (増設／スタビライザーあり)

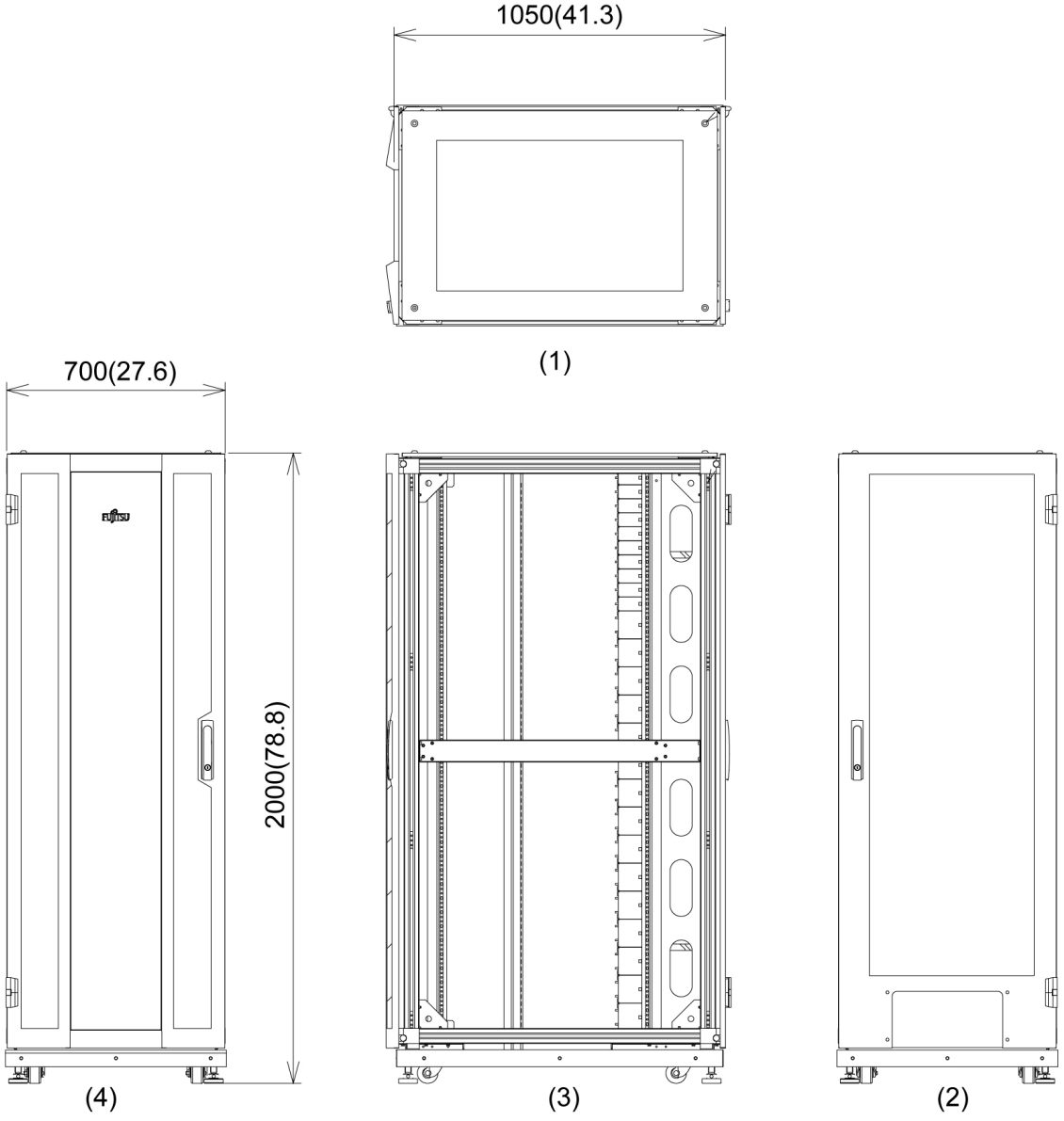

1050(41.3)
(1)
700(27.6)
2000(78.8)
(4)
(3)
(2)
60
930
60
55.5
45
610
589
(7)
(6)
45
165
720
165
55.5
(5)

単位：mm (in.)

番号	説　明
(1)	上面
(2)	背面
(3)	右側面
(4)	前面
(5)	底面
(6)	レベルフット
(7)	キャスター

図 A.11 19 インチラック　モデル 1740 (増設／スタビライザーあり) の外観図

■19 インチラック　モデル 1740 (増設／スタビライザーなし)

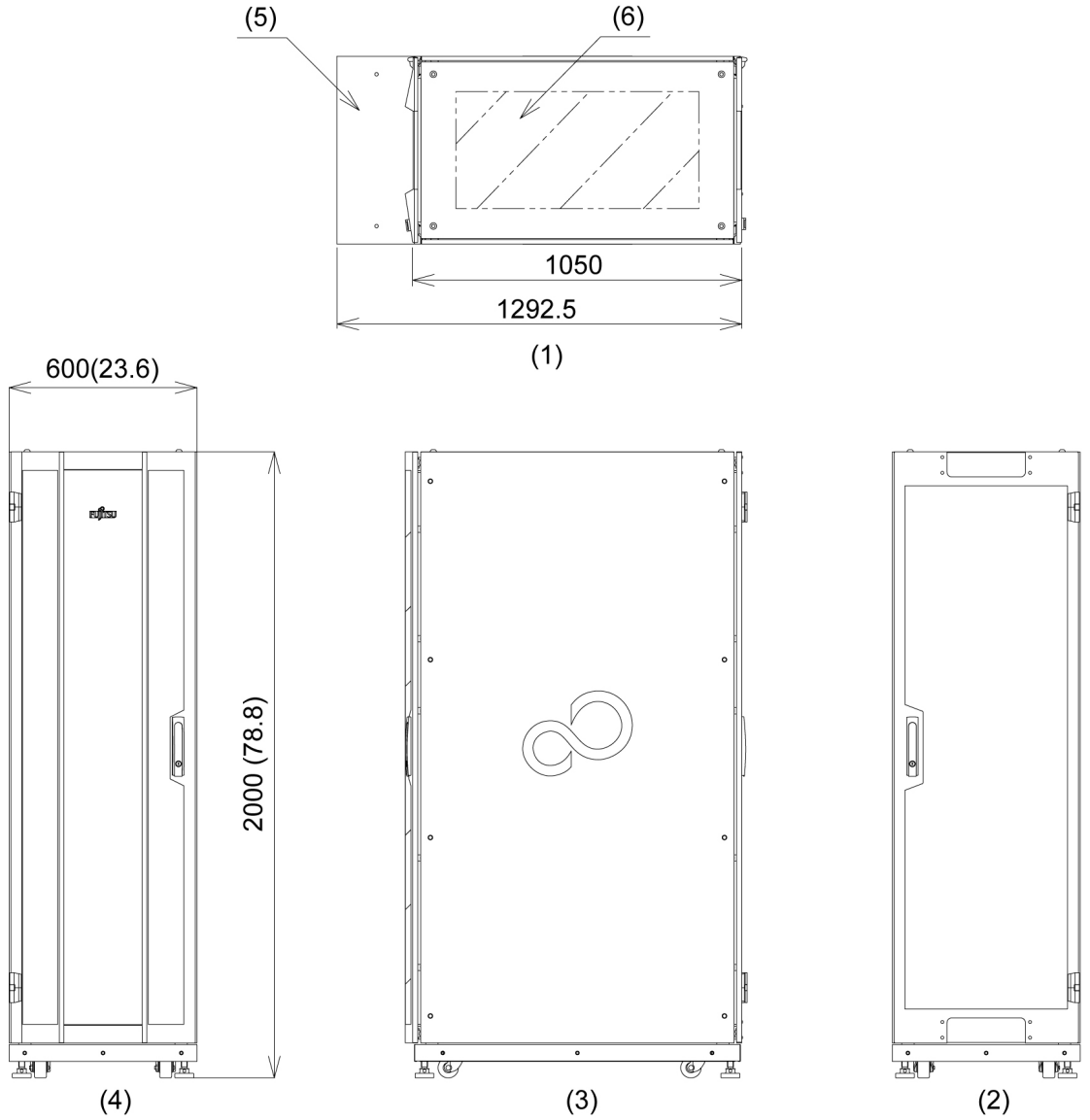


単位：mm (in.)

番号	説　明
(1)	上面
(2)	背面
(3)	右側面
(4)	前面

図 A.12 19 インチラック　モデル 1740 (増設／スタビライザーなし) の外観図

■19 インチラック　モデル 1640 (基本／スタビライザーあり)



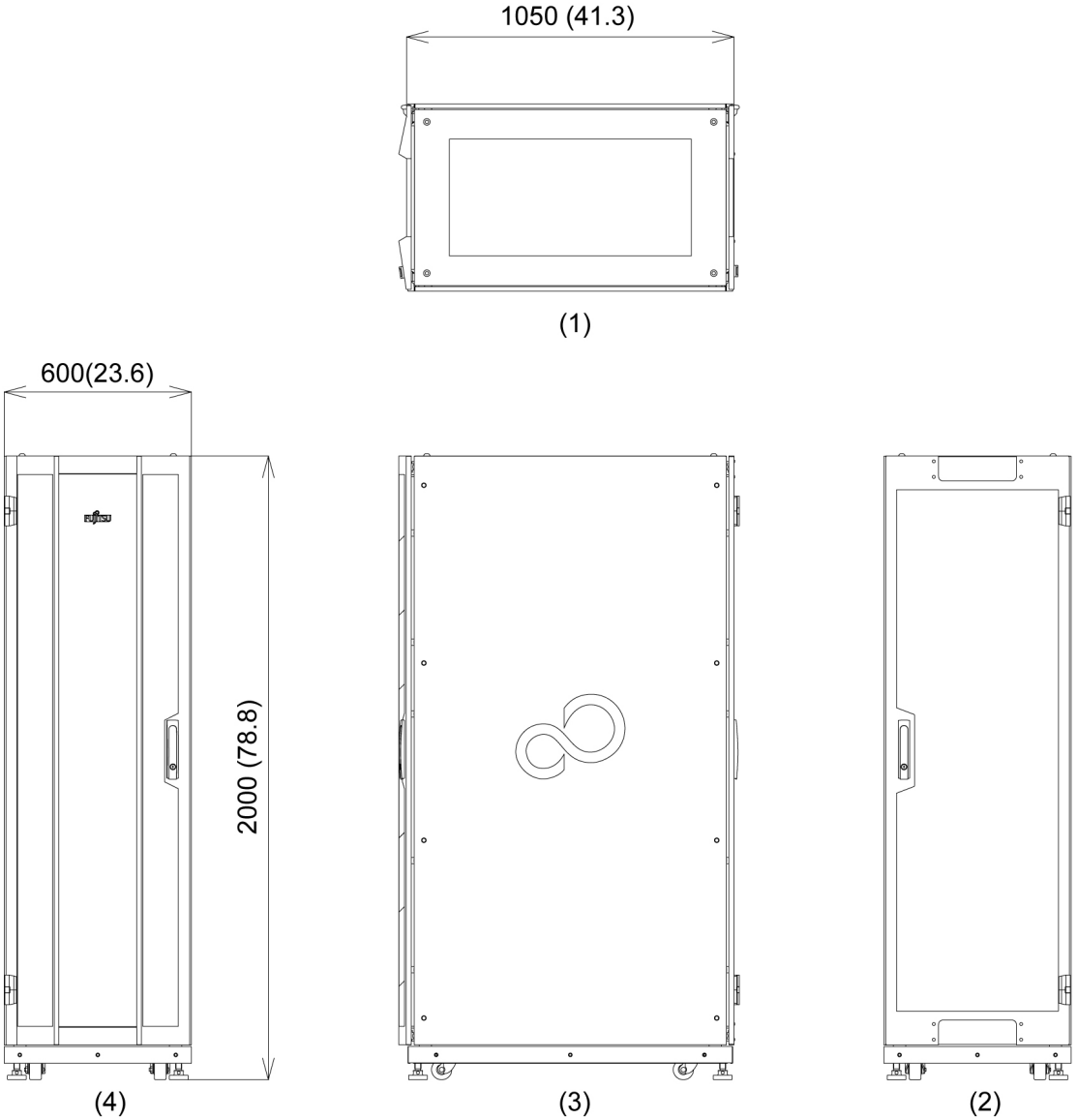
単位：mm (in.)

番号	説　明
(1)	上面

番号	説　明
(2)	背面
(3)	右側面
(4)	前面
(5)	スタビライザー
(6)	トップカバー

図 A.13 19 インチラック　モデル 1640 (基本／スタビライザーあり) の外観図

■19 インチラック　モデル 1640 (基本／スタビライザーなし)

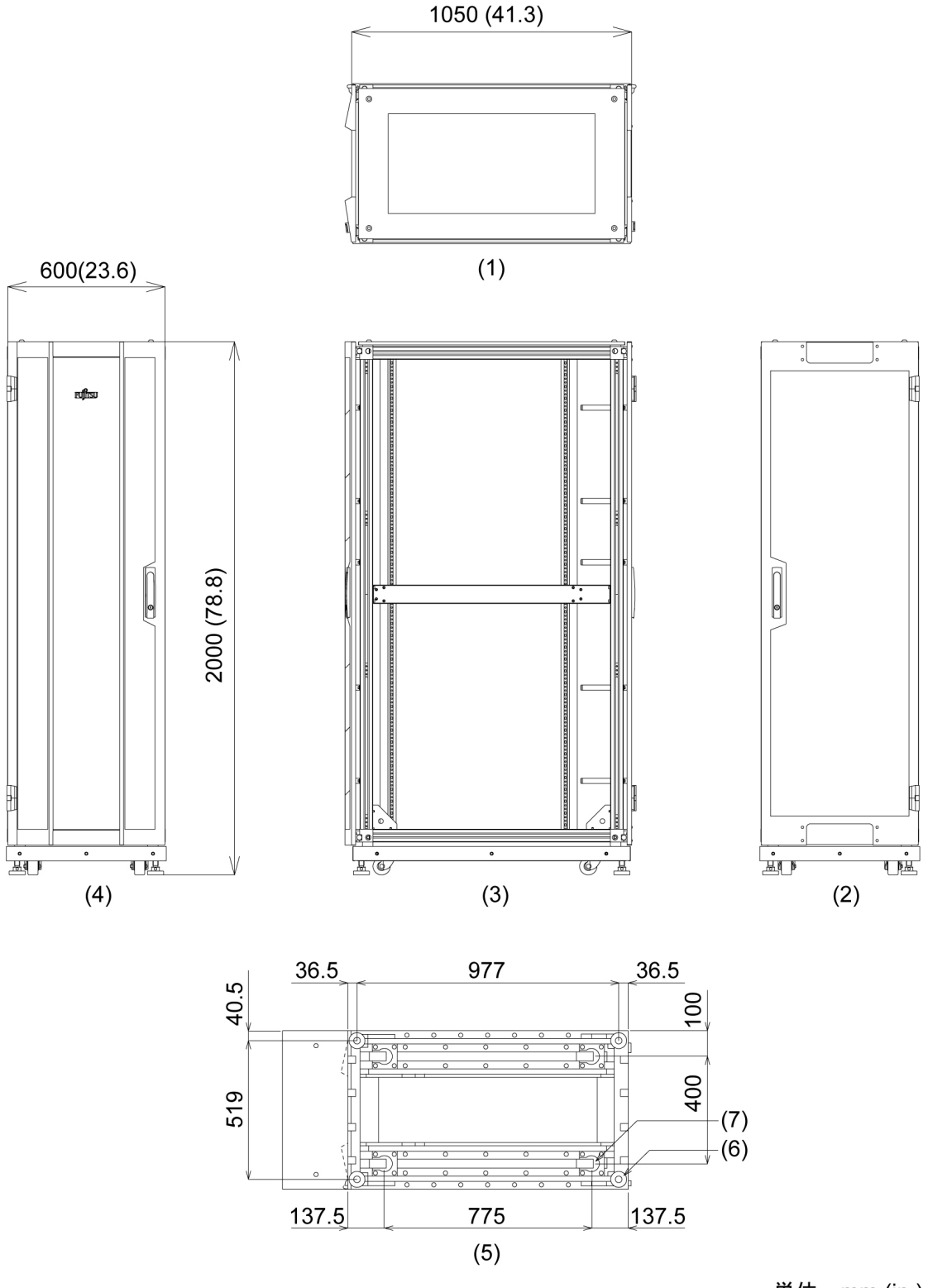


単位：mm (in.)

番号	説　明
(1)	上面
(2)	背面
(3)	右側面
(4)	前面

図 A.14 19 インチラック　モデル 1640 (基本／スタビライザーなし) の外観図

■19 インチラック　モデル 1640 (増設／スタビライザーあり)



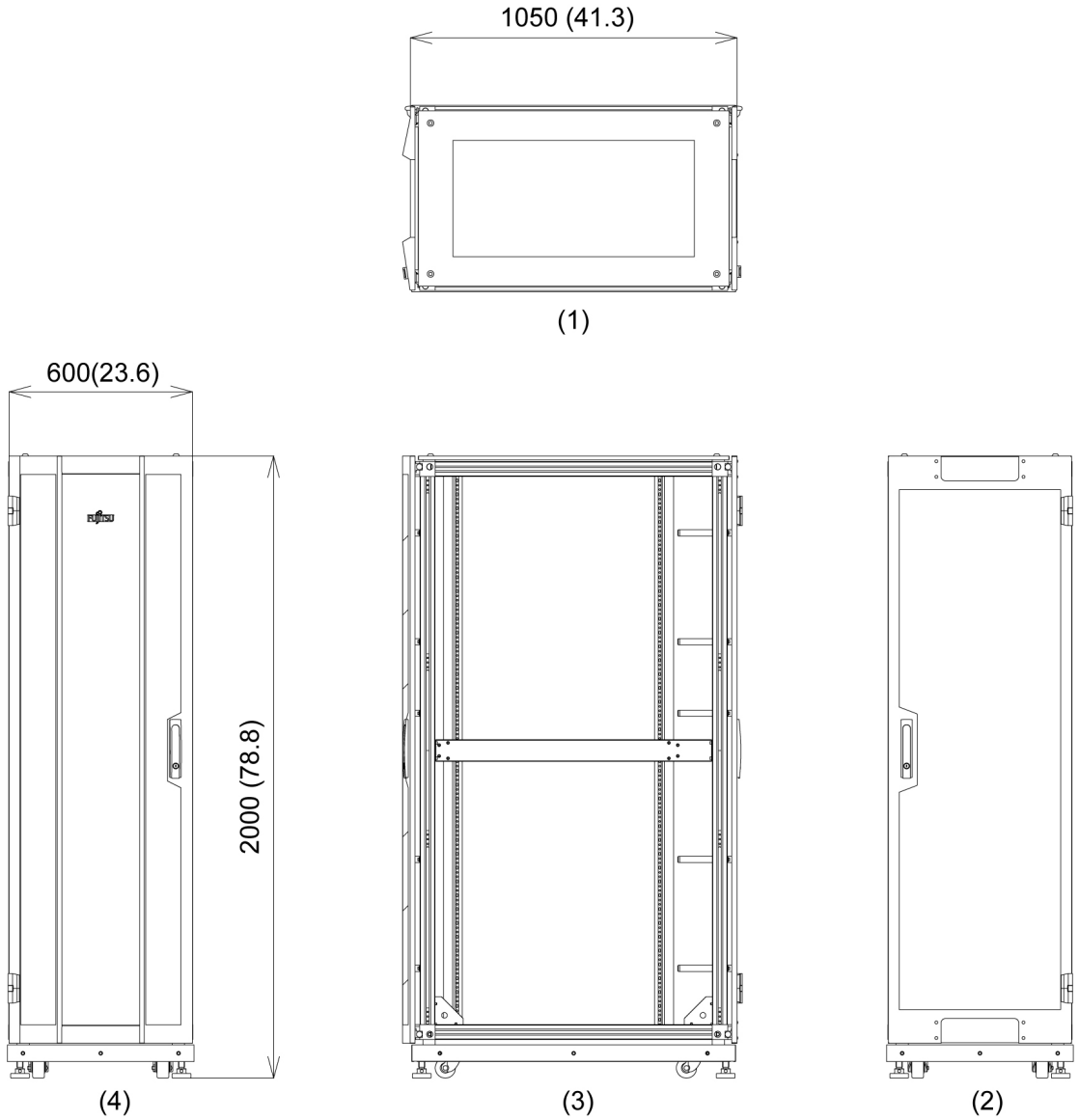
単位：mm (in.)

番号	説　明
(1)	上面
(2)	背面

番号	説　明
(3)	右側面
(4)	前面
(5)	底面
(6)	レベルフット
(7)	キャスター

図 A.15 19 インチラック　モデル 1640 (増設／スタビライザーあり) の外観図

■19 インチラック　モデル 1640 (増設／スタビライザーなし)

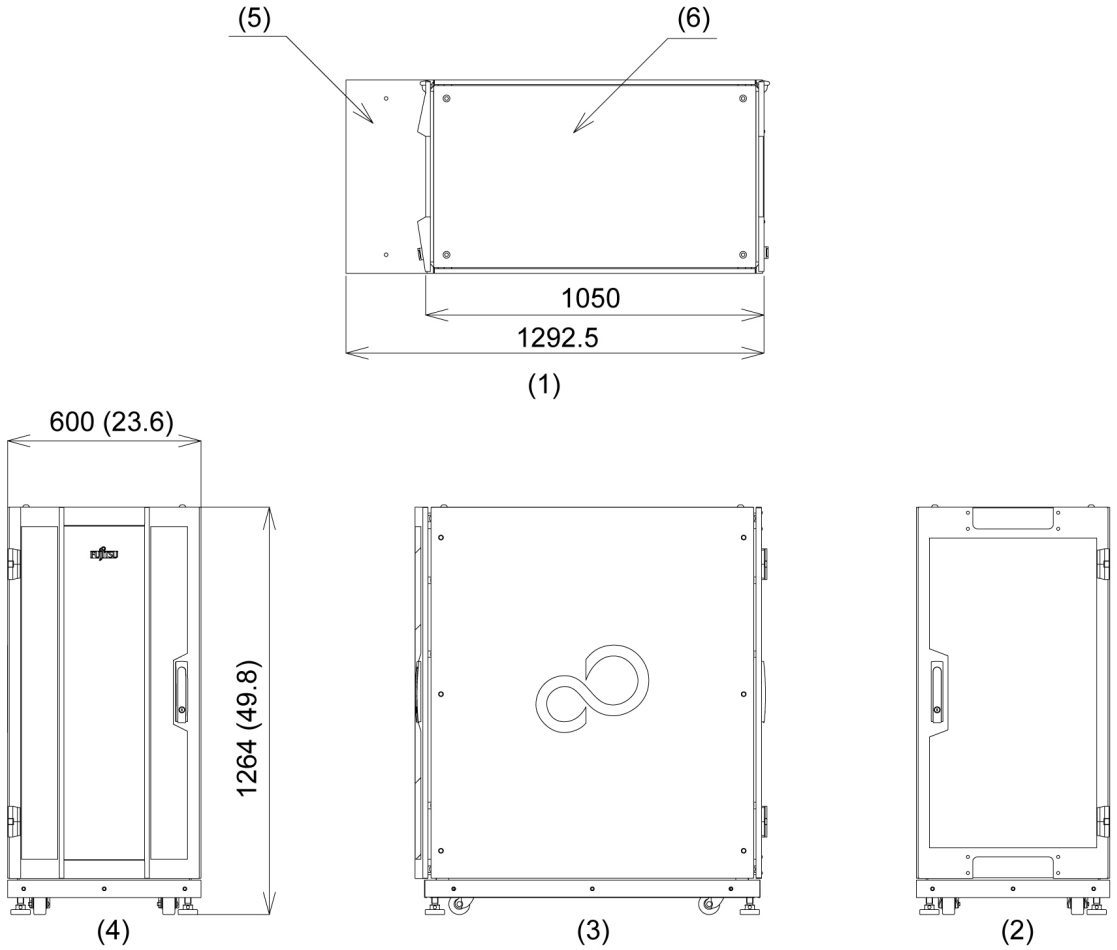


単位：mm (in.)

番号	説　明
(1)	上面
(2)	背面
(3)	右側面
(4)	前面

図 A.16 19 インチラック　モデル 1640 (増設／スタビライザーなし) の外観図

■19 インチラック　モデル 1624 (基本／スタビライザーあり)



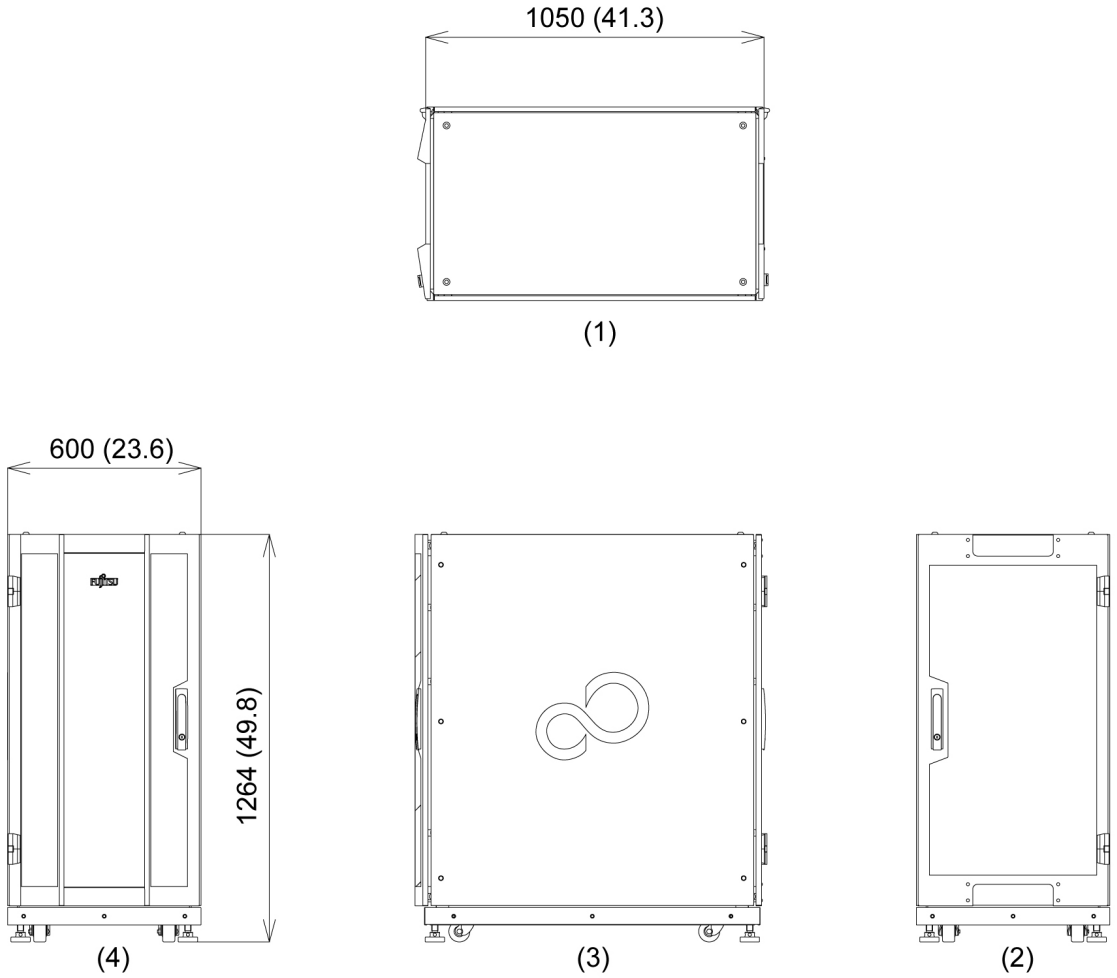
単位：mm (in.)

番号	説　明
(1)	上面
(2)	背面
(3)	右側面
(4)	前面
(5)	スタビライザー

番号	説　明
(6)	トップカバー

図 A.17 19 インチラック　モデル 1624 (基本／スタビライザーあり) の外観図

■19 インチラック　モデル 1624 (基本／スタビライザーなし)

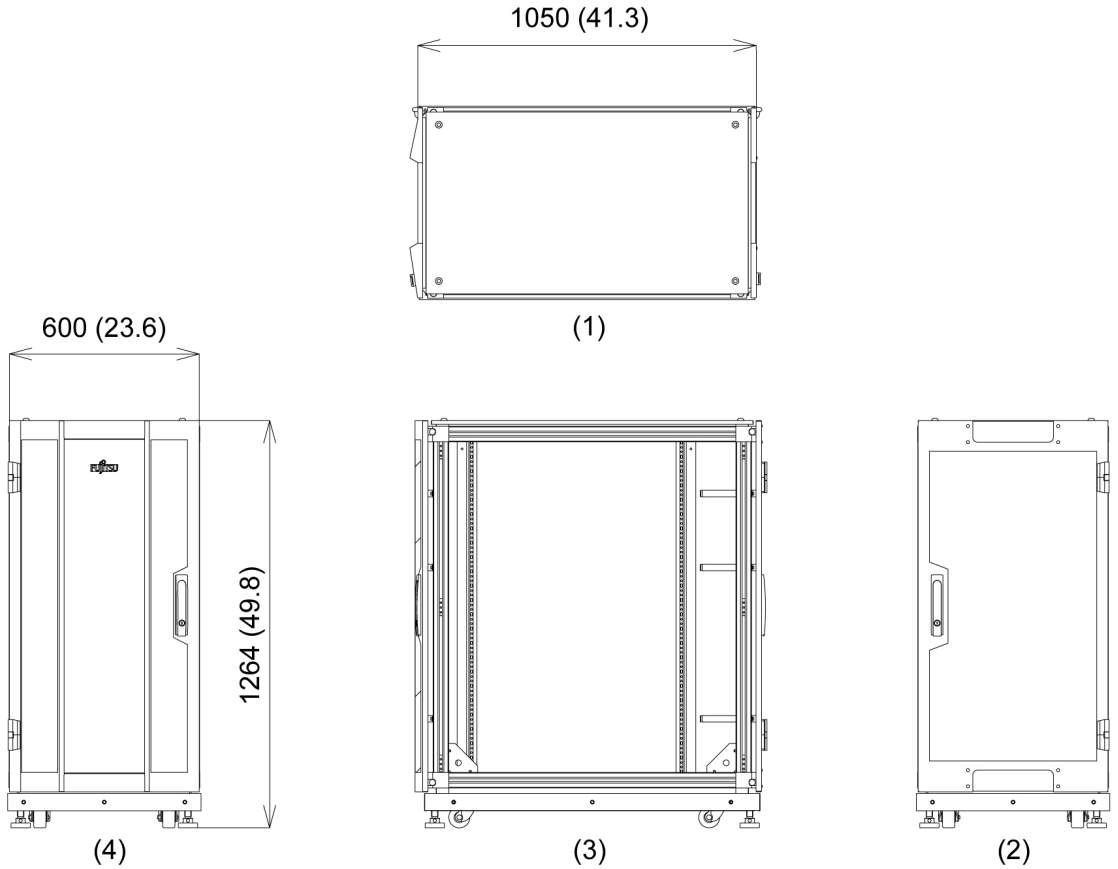


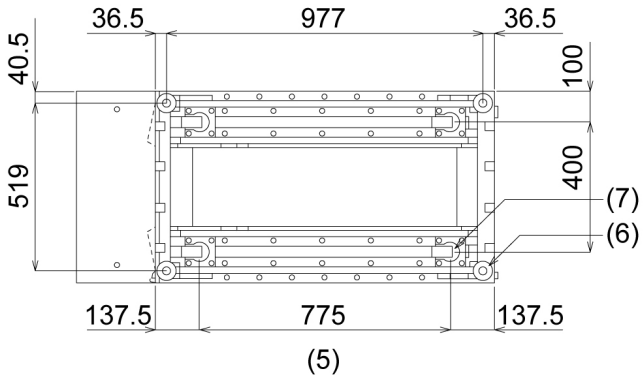
単位：mm (in.)

番号	説　明
(1)	上面
(2)	背面
(3)	右側面
(4)	前面

図 A.18 19 インチラック　モデル 1624 (基本／スタビライザーなし) の外観図

■19 インチラック　モデル 1624 (増設／スタビライザーあり)





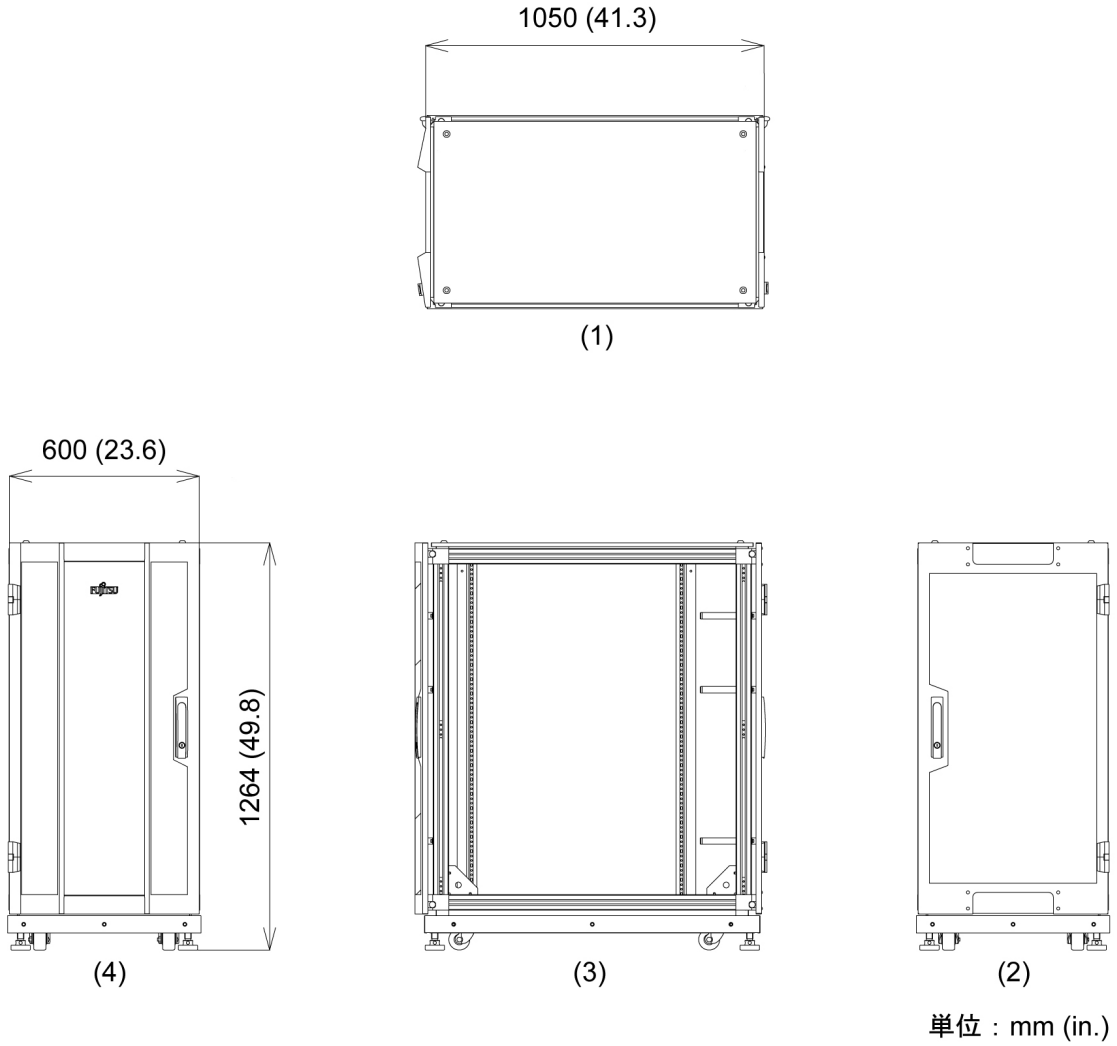
単位：mm (in.)

番号	説　明
(1)	上面
(2)	背面
(3)	右側面
(4)	前面
(5)	底面
(6)	レベルフット

番号	説　明
(7)	キャスター

図 A.19 19 インチラック　モデル 1624 (増設／スタビライザーあり) の外観図

■19 インチラック　モデル 1624 (増設／スタビライザーなし)



番号	説　明
(1)	上面
(2)	背面
(3)	右側面
(4)	前面

図 A.20 19 インチラック　モデル 1624 (増設／スタビライザーなし) の外観図

A.3.3　19 インチラックの底面図

ここでは、19 インチラックの底面図を掲載しています。

■19 インチラックの底面図 (スタンダード)
■19 インチラックの底面図 (スリム)
■引き出し式スタビライザーを搭載した場合の底面図 (スタンダードのみ)
■連結時の 19 インチラックの底面図 (スタンダード)
■連結時の 19 インチラックの底面図 (スリム)

■19 インチラックの底面図 (スタンダード)

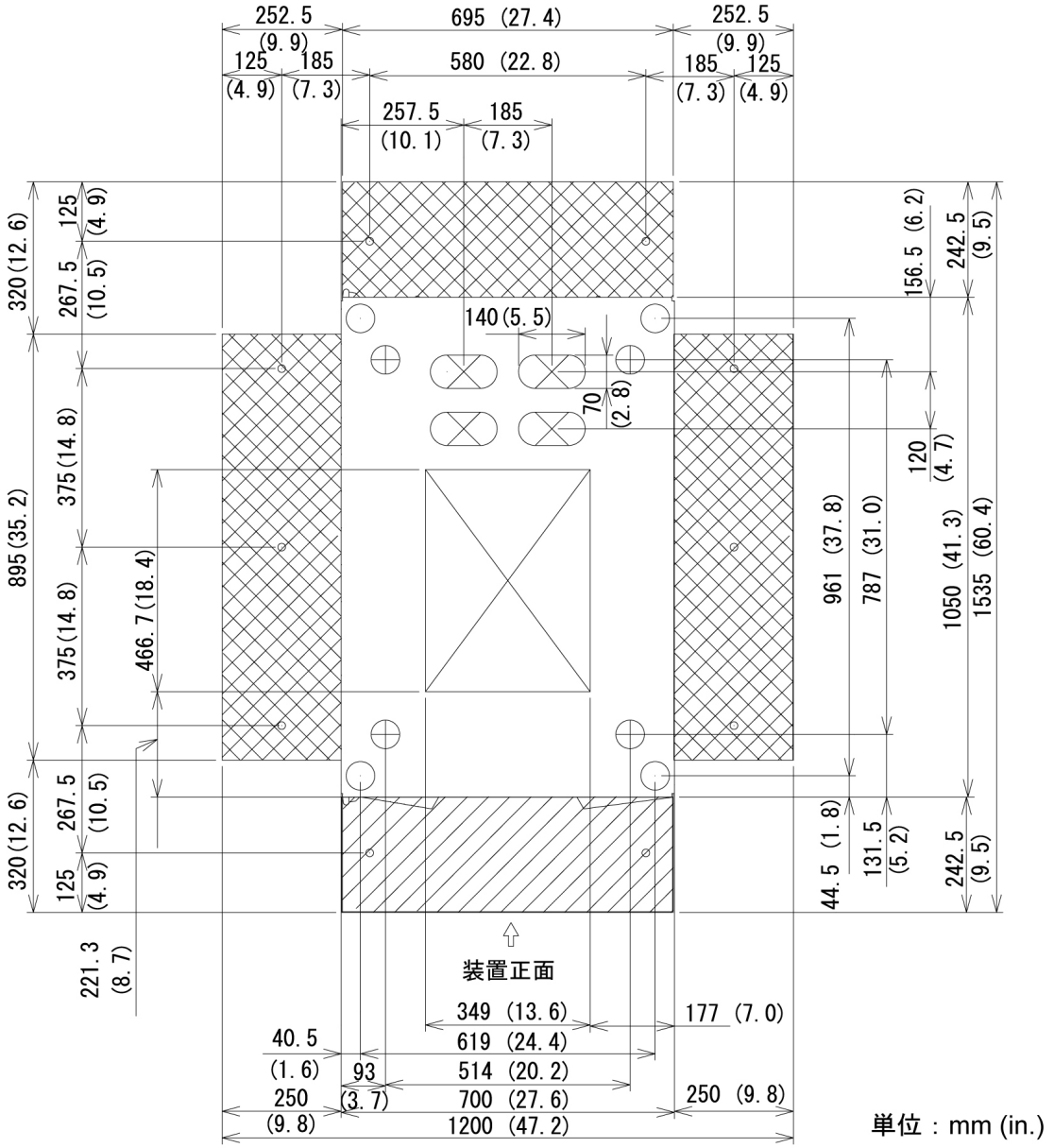


図 A.21 19 インチラックの底面図 (スタンダード)

■19 インチラックの底面図 (スリム)

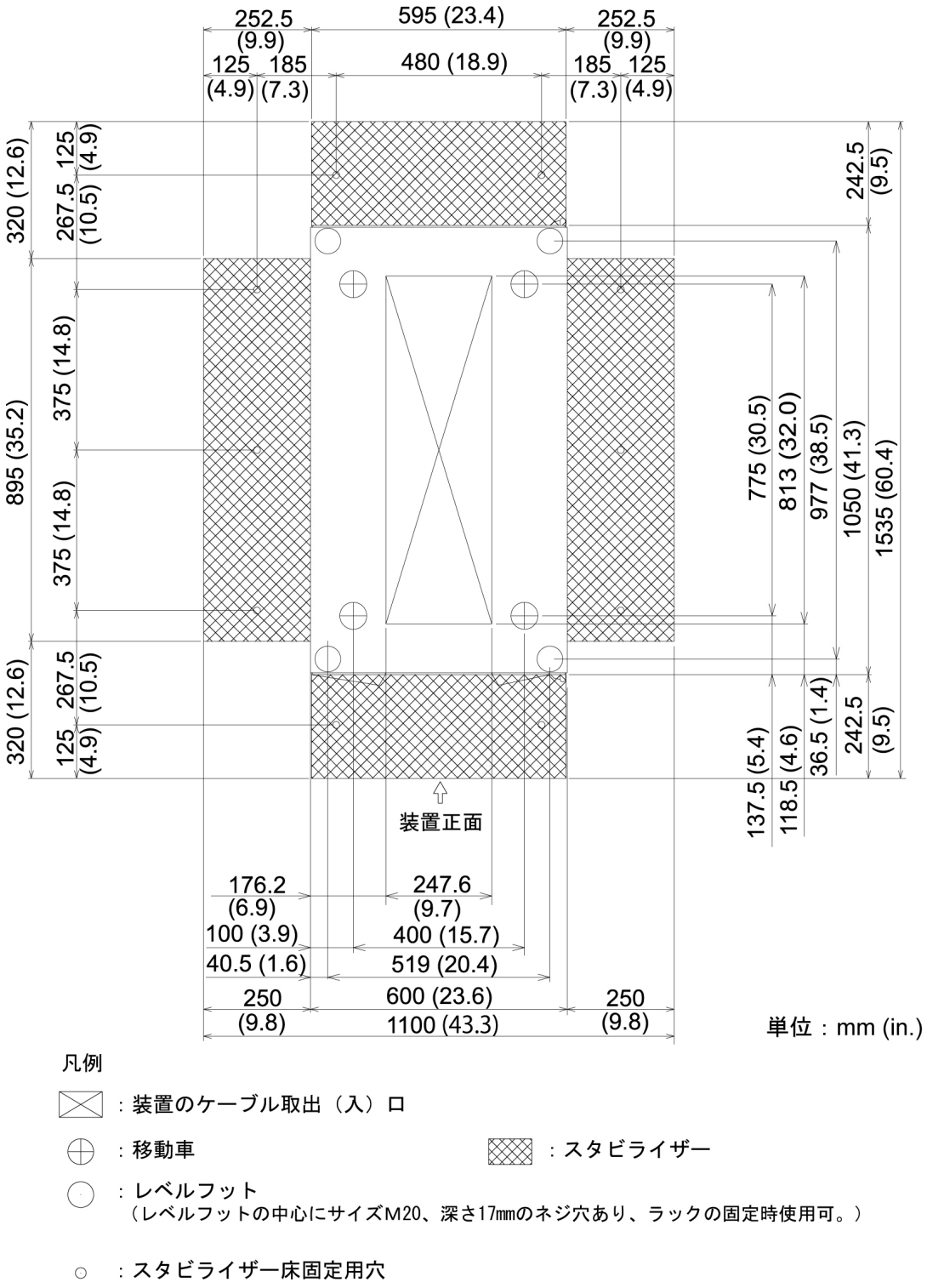
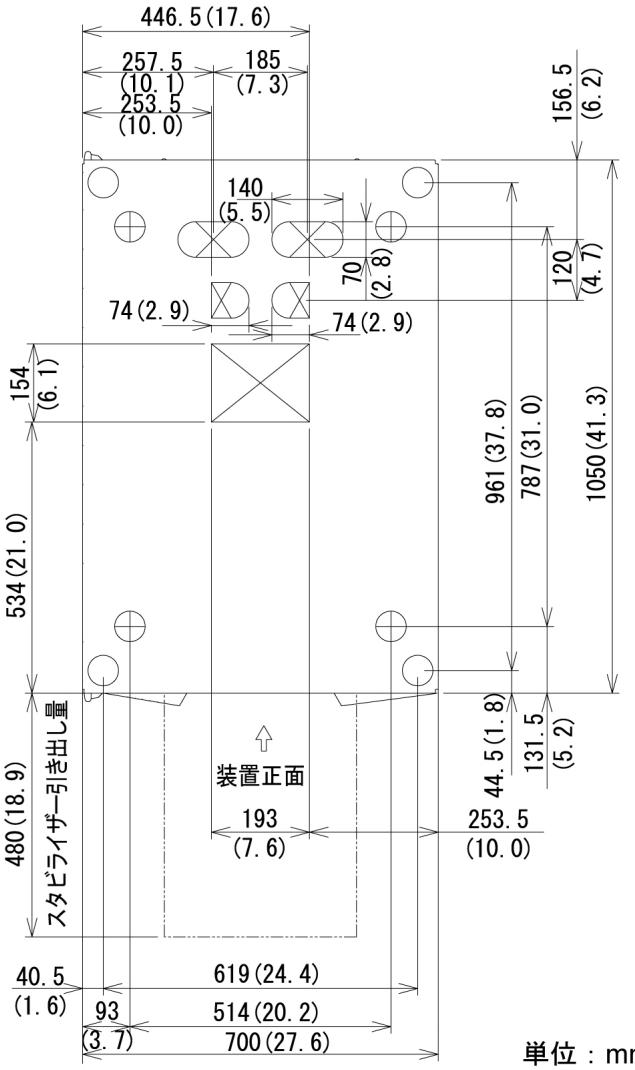


図 A.22 19 インチラックの底面図 (スリム)

■引き出し式スタビライザーを搭載した場合の底面図 (スタンダードのみ)



単位：mm (in.)

凡例

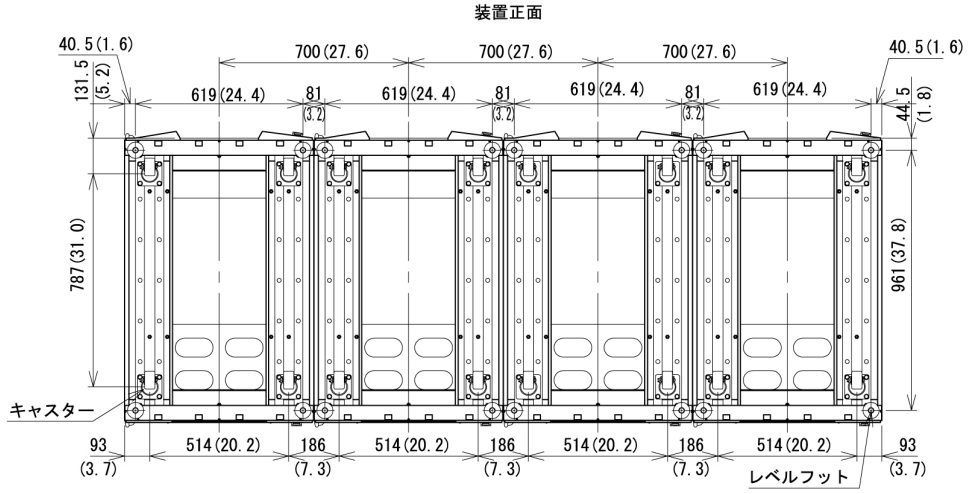
：装置のケーブル取出（入）口

：移動車

：レベルフット
（レベルフットの中心にサイズM20、深さ17mmのネジ穴あり、ラックの固定時使用可。）

図 A.23 引き出し式スタビライザーを搭載した場合の底面図 (スタンダードのみ)

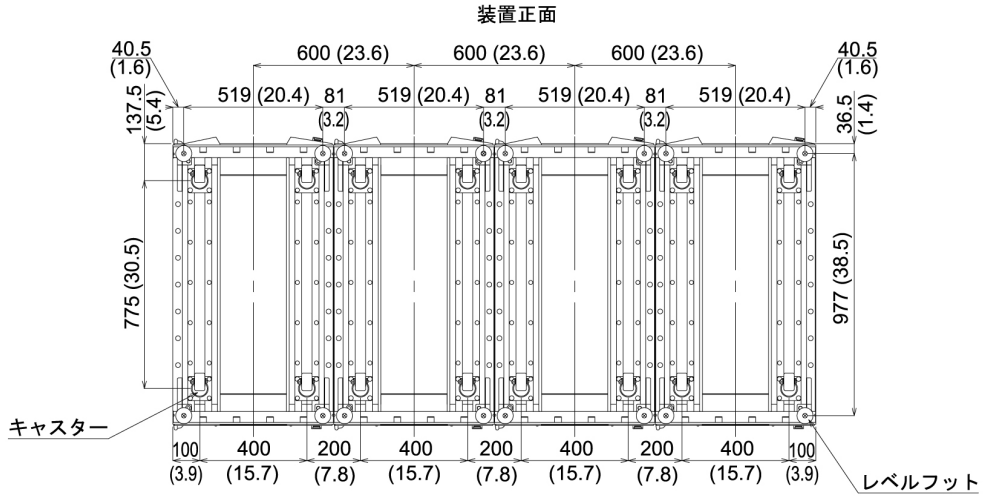
■連結時の 19 インチラックの底面図 (スタンダード)



単位：mm (in.)

図 A.24 連結時の 19 インチラックの底面図 (スタンダード)

■連結時の 19 インチラックの底面図 (スリム)



単位：mm (in.)

図 A.25 連結時の 19 インチラックの底面図 (スリム)

付録 B　UPC インターフェース

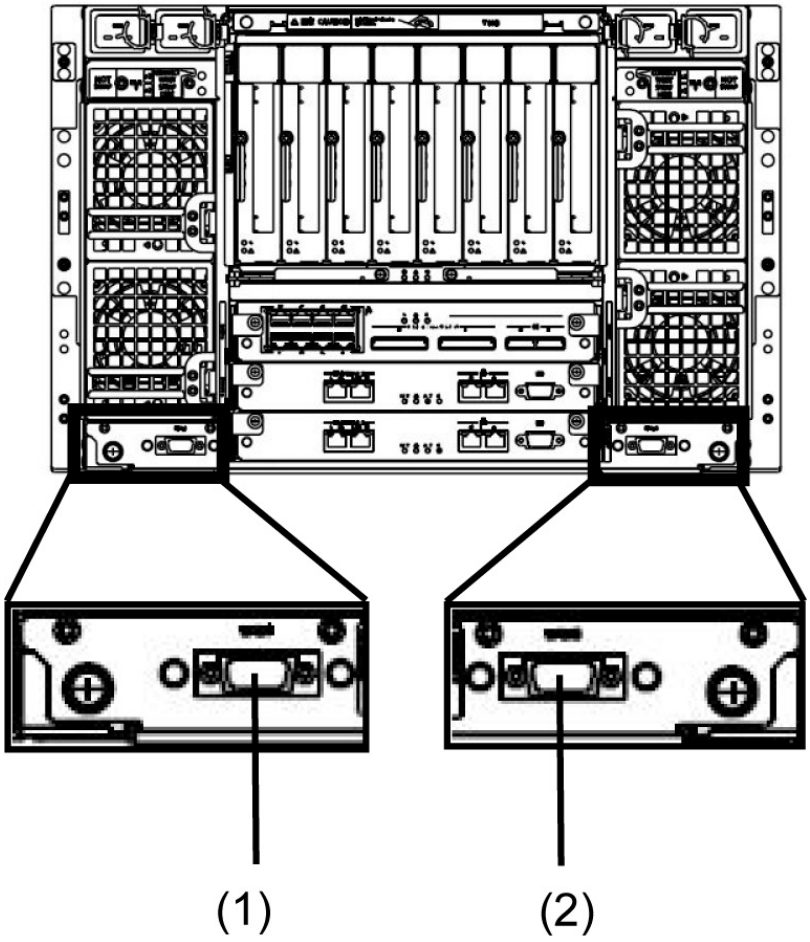
本付録では、PRIMEQUEST 1000 シリーズで使用可能な UPC インターフェースについて説明します。

B.1 UPC インターフェースの概要 119
B.2 信号ケーブル 121
B.3 本体装置と CVCF の接続と信号線の定義 122
B.4 ケーブルコネクター 124

B.1 UPC インターフェースの概要

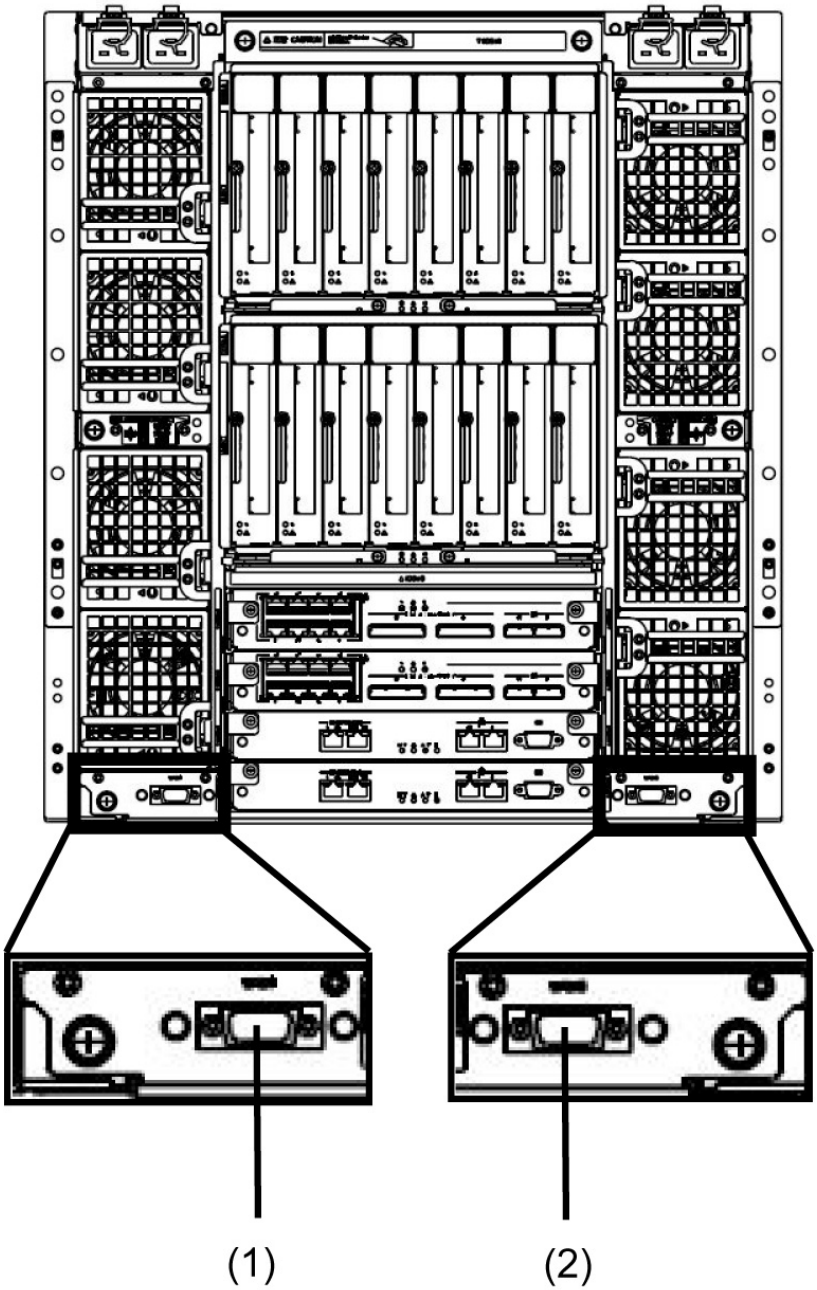
CVCF は、電源異常または大規模な停電時においてもシステムに安定した電源を供給する装置です。CVCF と本体装置の UPC ポートを信号ケーブルで接続すると、CVCF が電源異常を検知した場合、本体装置に異常を通知することができます。この通知信号を受けて、本体装置が緊急シャットダウン処理を実行することにより、本体装置は安全に停止できます。

以下に PRIMEQUEST 1000 シリーズの UPC ポートの位置を示します。



番号	説明
(1)	UPC#1 ポート
(2)	UPC#0 ポート

図 B.1 UPC ポートの位置 (PRIMEQUEST 1400S2/1400S)



番号	説明
(1)	UPC#1 ポート
(2)	UPC#0 ポート

図 B.2 UPC ポートの位置 (PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1800E2/1800L2/1400E/1400L/1800E/1800L)

B.2　信号ケーブル

以下の仕様のシールドペアケーブルを使用してください。

- 直流抵抗 (ラウンドトリップ/1 ペア): 400 Ω/km 以下
- ケーブル長 : 最大 10 m (33ft.)

B.3　本体装置と CVCF の接続と信号線の定義

ここでは、本体装置と CVCF の接続と信号線の定義を示します。
以下に本体装置と CVCF の接続を示します。

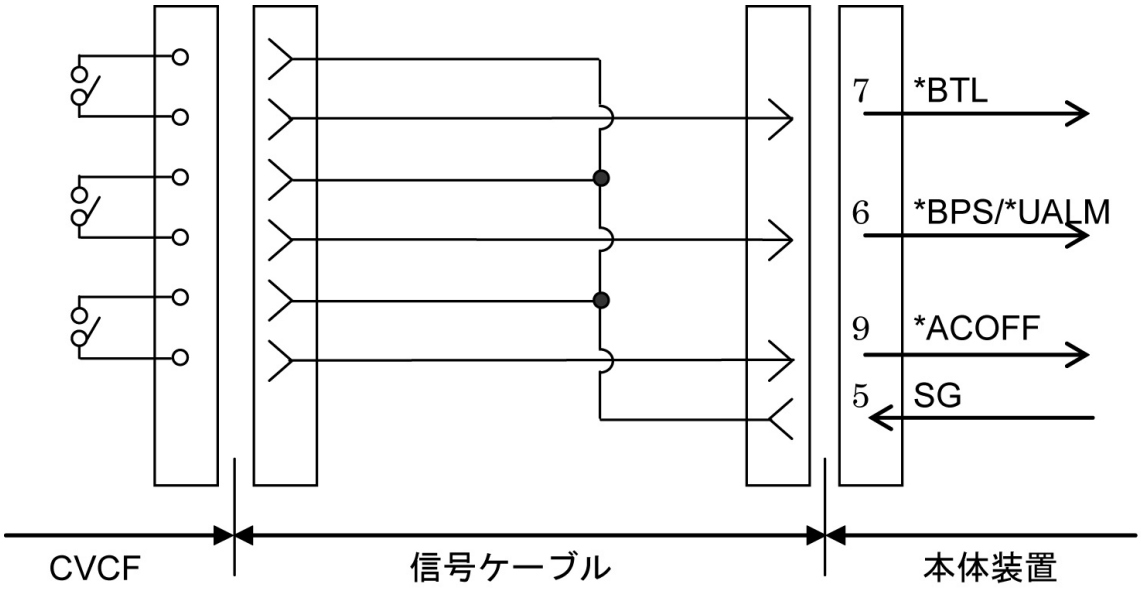


図 B.3 本体装置と CVCF の接続

表 B.1 信号線の定義

信号名	端子	機能
*BPS/ *UALM	6	ハード異常信号 この信号が有効になると、PRIMEQUEST はシステム管理者に CVCF の異常を通知する。 *BPS 信号が ON の状態で*ACOFF 信号が ON になった場合には、CVCF によるバッテリー運用が不可能であると判断し、システムをシャットダウンせずに強制的に停止させる。この停止はシステムやデータにダメージを与える場合がある。 本信号と GND (5pin) を短絡すると、本信号が有効になる。
*BTL	7	バッテリー放電終止通知信号 CVCF のバッテリー放電終了を PRIMEQUEST に通知するための信号。 停電のため CVCF から電源供給を受けている状態で、バッテリーの枯渇により、電源の供給が終了することを PRIMEQUEST に通知する場合に使用する。 この信号が ON になった場合、これ以上のバッテリー運用が不可能であると判断し、システムをシャットダウンせずに強制的に停止させる。この停止はシステムやデータにダメージを与える場合がある。 本信号と GND (5pin) を短絡すると、本信号が有効になる。
*ACOFF	9	停電検出信号 CVCF が停電を検出したことを PRIMEQUEST に通知するための信号。 この信号が有効になると、PRIMEQUEST は自動シャットダウン処理を行う。

信号名	端子	機能
		*ACOFF 信号が ON になってから、実際にシャットダウンを開始するまでの時間は、運用に合わせて MMB から設定することが可能。(*1) 本信号と GND (5pin) を短絡すると、本信号が有効になる。
GND	5	共通グラウンド信号

*1： 「Shutdown Delay after UPS detected AC Failure」：停電検出信号が発生した場合でも、瞬断などの要因が考えられ、待ち時間を設定することができます。(デフォルト値：5 秒)

B.4　ケーブルコネクター

ここでは、ケーブルコネクターの形状と、UPC インターフェースと信号ケーブルの端子対応について説明します。

■コネクター形状

D-SUB9 ピンオス(差し込み側:メス)

■端子配列

以下に UPC インターフェースと信号ケーブルのピン信号を示します。
未使用のピン (図 B.3 本体装置と CVCF の接続の端子番号 1, 2, 3, 4, 8) は使用しないでください。ケーブル側は以下に示すとおりです。

端子番号	信号名
1	---
2	---
3	---
4	---
5	SG
6	*BPS
7	*BTL
8	---
9	*ACOFF

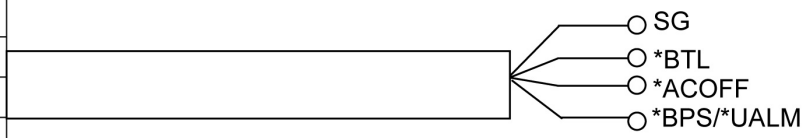


図 B.4 UPC インターフェースと信号ケーブル端子対応図

索　引

[数字]
19 インチラックの種類..... 97
19 インチラックの底面図 (スタンダード)..... 114
19 インチラックの底面図 (スリム)..... 115
19 インチラックモデル 1624 (19R-162xx) 搭載時のサービスエリア..... 24
19 インチラック　モデル 1624 (基本／スタビライザーあり) の外観図..... 110
19 インチラック　モデル 1624 (基本／スタビライザーなし) の外観図..... 110
19 インチラック　モデル 1624 (増設／スタビライザーあり) の外観図..... 112
19 インチラック　モデル 1624 (増設／スタビライザーなし) の外観図..... 112
19 インチラックモデル 1640 (19R-164xx) 搭載時のサービスエリア..... 23
19 インチラック　モデル 1640 (基本／スタビライザーあり) の外観図..... 105
19 インチラック　モデル 1640 (基本／スタビライザーなし) の外観図..... 106
19 インチラック　モデル 1640 (増設／スタビライザーあり) の外観図..... 108
19 インチラック　モデル 1640 (増設／スタビライザーなし) の外観図..... 109
19 インチラックモデル 1740 (19R-174xx) 搭載時のサービスエリア..... 22
19 インチラック　モデル 1740 (基本／スタビライザーあり) の外観図..... 100
19 インチラック　モデル 1740 (基本／スタビライザーなし) の外観図..... 101
19 インチラック　モデル 1740 (増設／スタビライザーあり) の外観図..... 103
19 インチラック　モデル 1740 (増設／スタビライザーなし) の外観図..... 104

[G]
GSPB の外部インターフェース詳細..... 49

[I]
IOB の外部インターフェース詳細..... 48

[M]
MMB の外部インターフェース詳細..... 48

[P]
PCI ボックス 上面..... 9
PCI ボックス 前面..... 9
PCI ボックスの外部インターフェース詳細..... 49
PCI ボックスの設置諸元..... 20
PCI ボックスの電源ケーブル仕様..... 73
PCI ボックスの冷却風および排気の流れ..... 28
PCI ボックス 背面..... 9
PCI ボックス 右側面..... 9
PRIMEQUEST 1000 シリーズの外形寸法..... 86
PRIMEQUEST 1000 シリーズ本体装置の電源ケーブル仕様..... 72
PRIMEQUEST 1400E/1400L の設置諸元..... 17
PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1400E/1400L 上面..... 6
PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1400E/1400L 前面..... 5
PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1400E/1400L の冷却風および排気の流れ..... 26
PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1400E/1400L 背面..... 5
PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1400E/1400L 右側面.... 6
PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1800E2/1800L2/1400E/1400L/1800E/1800L 本体装置内の外部インターフェース接続図 (前面)..... 46
PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1800E2/1800L2/1400E/1400L/1800E/1800L 本体装置内の外部インターフェース接続部 (背面)..... 47
PRIMEQUEST 1400E2/1400L2 の設置諸元..... 12
PRIMEQUEST 1400S2/1400S 上面..... 4
PRIMEQUEST 1400S2/1400S 前面..... 3
PRIMEQUEST 1400S2/1400S の冷却風および排気の流れ..... 25
PRIMEQUEST 1400S2/1400S 背面..... 3
PRIMEQUEST 1400S2/1400S 本体装置内の外部インターフェース接続図 (前面)..... 44
PRIMEQUEST 1400S2/1400S 本体装置内の外部インターフェース接続部 (背面)..... 45
PRIMEQUEST 1400S2 の設置諸元..... 10
PRIMEQUEST 1400S の設置諸元..... 15
PRIMEQUEST 1800E/1800L の設置諸元..... 19
PRIMEQUEST 1800E2/1800L2/1800E/1800L 上面..... 8
PRIMEQUEST 1800E2/1800L2/1800E/1800L 前面..... 7
PRIMEQUEST 1800E2/1800L2/1800E/1800L の冷却風および排気の流れ..... 27
PRIMEQUEST 1800E2/1800L2/1800E/1800L 背面..... 7
PRIMEQUEST 1800E2/1800L2/1800E/1800L 右側面.... 8
PRIMEQUEST 1800E2/1800L2 の設置諸元..... 13

[U]
UPC インターフェース..... 118
UPC インターフェースと信号ケーブル端子対応図.... 124
UPC インターフェースの概要..... 119
UPC ポートの位置 (PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1800E2/1800L2/1400E/1400L/1800E/1800L)..... 120
UPC ポートの位置 (PRIMEQUEST 1400S2/1400S).... 119

[あ]
安全対策..... 31
一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)..... 53 , 59 , 68
一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 二系統受電構成の場合..... 54 , 59 , 69
一般海外／欧州向け 200 ～ 240V 標準構成の場合 (一系統受電、冗長なし)..... 53 , 58 , 68
一般海外／欧州向け冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)..... 63

一般海外／欧州向け二系統受電構成の場合..... 64
一般海外／欧州向け標準構成の場合 (一系統受電、冗長なし) 63
一般海外向け 100 ～ 120V 構成の場合 (一系統受電、冗長なし)..... 54 , 60 , 70
一般海外向け 100 ～ 120V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)..... 55 , 60 , 70
インターフェースケーブル接続図 (基本インターフェースおよび周辺装置) (PRIMEQUEST 1400S/1400E/1400L/1800E/1800L)..... 41
インターフェースケーブル接続図 (基本インターフェースおよび周辺装置) (PRIMEQUEST 1400S2/1400E2/1400L2/1800E2/1800L2)..... 38
エレベーターへの積載条件..... 79

[か]
各装置の名称および構成内容..... 2
ケーブル一覧 (基本インターフェースおよび周辺装置) (PRIMEQUEST 1400S/1400E/1400L/1800E/1800L)..... 41
ケーブル一覧 (基本インターフェースおよび周辺装置) (PRIMEQUEST 1400S2/1400E2/1400L2/1800E2/1800L2) 39
ケーブルコネクター..... 124
ケーブルホルダーの位置..... 92
ケーブルホルダーの取外し (モデル 1640／モデル 1624) 93
ケーブルホルダーの取外し (モデル 1740)..... 92
顧客分電盤の遮断特性 (コンセントボックス接続時のみ)..... 76
顧客分電盤ブレーカの特性条件..... 76
コンセントボックスと分電盤間の電源ケーブル仕様.... 74

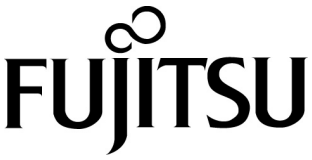
[さ]
地震対策..... 80
信号ケーブル..... 121
信号ケーブルの接続..... 37
信号線の定義..... 122
接続概要..... 33
接続資料..... 32
設置エリア..... 22
設置環境..... 29
設置工事の手配..... 82
設置諸元..... 10
設置資料..... 1
装置外観図..... 3
装置接続の概要 (PRIMEQUEST 1400S/1400E/1400L/1800E/1800L)..... 35
装置接続の概要 (PRIMEQUEST 1400S2/1400E2/1400L2/1800E2/1800L2)..... 33
装置接続の注記一覧 (PRIMEQUEST 1400S/1400E/1400L/1800E/1800L)..... 35
装置接続の注記一覧 (PRIMEQUEST 1400S2/1400E2/1400L2/1800E2/1800L2)..... 33
装置の構成内容..... 2
装置の冷却風および排気の流れ..... 25

[た]
電源ケーブルの接続..... 50
電源ケーブルのフリーアクセス床下での接続 (日本国内／一般海外のみ)..... 75
電源ケーブルをフリーアクセス床の下で接続する場合 (日本国内／一般海外のみ)..... 75
搭載推奨ラック..... 86

[な]
日本国内向け 100V 構成の場合 (一系統受電、冗長なし)..... 52 , 57 , 67
日本国内向け 100V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)..... 52 , 58 , 67
日本国内向け 200V 冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)..... 51 , 56 , 65
日本国内向け 200V 二系統受電構成の場合.... 51 , 57 , 66
日本国内向け 200V 標準構成の場合 (一系統受電、冗長なし)..... 50 , 56 , 65
日本国内向け冗長電源構成の場合 (一系統受電、冗長電源あり)..... 62
日本国内向け二系統受電構成の場合..... 62
日本国内向け標準構成の場合 (一系統受電、冗長なし) 61
入力電源の接続仕様..... 72

[は]
搬入・設置時の留意事項..... 78
引き出し式スタビライザーを搭載した場合の底面図 (スタンダードのみ)..... 116
富士通製 19 インチラック..... 97
腐食性ガスの許容基準..... 29
分電盤のブレーカ特性..... 77
本体装置と CVCF の接続..... 122
本体装置と CVCF の接続と信号線の定義..... 122

[ら]
ラック..... 81
ラック搭載時の注意..... 85
ラック搭載条件..... 85 , 87
ラック搭載条件 (PRIMEQUEST 1400E2/1400L2/1800E2/1800L2/1400E/1400L/1800E/1800L)..... 90
ラック搭載条件 (PRIMEQUEST 1400S2/1400S)..... 88
ラック搭載について..... 82
ラックの奥行条件..... 94
ラック柱の条件..... 95
連結時の 19 インチラックの底面図 (スタンダード).... 117
連結時の 19 インチラックの底面図 (スリム)..... 117


FUJITSU